

双葉町 住民意向調査 報告書

令和4年3月

復興庁
福島県
双葉町

双葉町 住民意向調査

報告書

目次

I 調査の概要	1
1-1 調査目的	3
1-2 調査内容	3
1-3 調査設計	3
1-4 回収結果	3
1-5 報告書の見方	3
II 調査結果（主要項目）	5
2-1 回答者の属性・状況	7
2-1-1 現在の職業（就業形態）（問6（1））	7
2-1-2 世帯人数（問5（1）・問5（2））	7
2-1-3 現在の避難先自治体（問4）	8
2-1-4 震災発生当時の住居形態（問3）	8
2-1-5 現在の住居形態（問7）	9
2-1-6 震災発生当時の双葉町内での事業（問15-1）	9
2-1-7 営んでいた事業の業種（問15-2）	10
2-2 調査結果	11
2-2-1 双葉町への帰還意向（問10）	11
2-2-2 避難指示解除後の双葉町への帰還時期（問11-1）	12
2-2-3 双葉町へ帰還する場合の家族（問11-2）	13
2-2-4 双葉町へ帰還した場合の世帯構成（問11-3）	13
2-2-5 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（問12-1）	14
2-2-6 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態 〔戻りたいと考えている方〕（問12-2）	15
2-2-7 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態 〔まだ判断がつかない方〕（問12-2）	15
2-2-8 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向 （問12-3）	16
2-2-9 JR双葉駅の西側に住宅地が整備された場合に希望する 住居形態（問12-4）	17

2-2-10	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設（問 12-5）	18
2-2-11	双葉町に戻らないと決めている理由（問 14-1）	19
2-2-12	双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援（問 14-2）	20
2-2-13	双葉町との「つながり」を保ちたいか（問 13-1）	21
2-2-14	双葉町を訪れたい頻度（問 13-2）	22
2-2-15	双葉町内への訪問（問 22-1）	23
2-2-16	双葉町を訪れる主な目的（問 22-3）	23
2-2-17	双葉町を訪れたいくなる取り組み・行事・イベント（問 13-3）	24
2-2-18	双葉町について、特に知りたい、関心のある情報（問 9）	25
2-2-19	双葉町内での就業意向（問 16-1）	25
2-2-20	避難指示解除後の事業再開や新事業へのチャレンジの意向（問 15-3）	26
2-2-21	双葉町内での事業再開の希望時期（問 15-4）	26
2-2-22	今後の新事業へのチャレンジの意向（問 15-5）	27
2-2-23	双葉町内に保有する家屋の利用意向（問 17）	27
2-2-24	双葉町内に保有する宅地の利用意向（問 18）	28
2-2-25	双葉町内に保有する農地の利用意向（問 21-1）	28
III	調査結果（全項目）	29
3-1	回答者の属性	31
3-1-1	年齢	31
3-2	東日本大震災発生時の状況	32
3-2-1	震災発生当時の住まいの行政区	32
3-2-2	震災発生当時の住まいの区域	32
3-2-3	震災発生当時の住居形態	33
3-3	現在の状況	34
3-3-1	現在の避難先自治体	34
3-3-2	震災発生当時の世帯構成・人数	35
3-3-3	現在の世帯構成・人数	36
3-3-4	現在の職業（就業形態）	37
3-3-5	現在の業種	38
3-3-6	現在の住居形態	39
3-3-7	双葉町からの情報の入手経路	39
3-3-8	所有している情報端末機器	40
3-3-9	特に知りたい、関心のある情報	40

3-4	将来の意向	41
3-4-1	双葉町への帰還意向	41
3-4-2	避難指示解除後の双葉町への帰還時期	44
3-4-3	双葉町へ帰還する場合の家族	45
3-4-4	双葉町へ家族一部で帰還した場合の世帯構成・人数	46
3-4-5	双葉町への帰還を判断するために必要なこと	47
3-4-6	双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態	49
3-4-7	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向	50
3-4-8	JR双葉駅の西側に住宅地が整備された場合に希望する住居形態	51
3-4-9	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設	51
3-4-10	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス	52
3-4-11	双葉町との「つながり」を保ちたいか	53
3-4-12	双葉町を訪れたい頻度	54
3-4-13	双葉町を訪れたいくなる取り組み・行事・イベント	55
3-4-14	双葉町に戻らないと決めている理由	56
3-4-15	双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援	57
3-5	双葉町内での事業の実施	58
3-5-1	震災発生当時の双葉町内での事業	58
3-5-2	営んでいた事業の業種	58
3-5-3	避難指示解除後の事業再開や新事業へのチャレンジの意向	59
3-5-4	双葉町内での事業再開の希望時期	59
3-5-5	今後の新事業へのチャレンジの意向	60
3-5-6	事業再開や新事業へのチャレンジを実施する場所	60
3-5-7	事業再開や新事業へのチャレンジにおいて必要な支援	61
3-5-8	事業再開にあたっての町への要望	61
3-6	双葉町内での就業意向	62
3-6-1	双葉町内での就業意向	62
3-6-2	就業を希望する業種	62
3-6-3	就業を希望する雇用形態	63
3-7	不動産の取り扱い	64
3-7-1	双葉町内に保有する家屋の利用意向	64
3-7-2	双葉町内に保有する宅地の利用意向	64
3-7-3	「空地・空き家バンク」の登録意向	65

3-7-4	双葉町が実施している被害状況の調査	65
3-7-5	被害状況の調査が済んでいない理由	65
3-7-6	双葉町内に保有する農地の利用意向	66
3-7-7	農地保全を目的とする組合への加入意向	66
3-8	町の交通アクセスの向上・立入規制の緩和	67
3-8-1	双葉町内への訪問	67
3-8-2	双葉町への訪問頻度	67
3-8-3	双葉町を訪れる主な目的	68
3-8-4	双葉町内を訪問して必要だと思ったもの	69
3-8-5	双葉町内を訪問していない理由	70
3-9	双葉町産業交流センター	71
3-9-1	双葉町産業交流センターへの訪問経験	71
3-9-2	双葉町産業交流センターへの訪問意向〔訪問経験がある方〕	71
3-9-3	双葉町産業交流センターへの訪問意向〔訪問経験がない方〕	71
3-9-4	双葉町産業交流センターへ訪問したくない理由・改善点	72
3-10	復興公営住宅	73
3-10-1	福島県営の復興公営住宅への入居意向	73
3-10-2	福島県営の復興公営住宅への入居を希望する市町村	73
3-11	意見・要望	74
3-11-1	双葉町の復興を進めていくにあたっての意見・要望	74
3-11-2	避難期間中の生活で困っていること・改善を求めること	77
3-11-3	将来の双葉町の姿	80
IV	●参考資料	83
4-1	使用調査票	85

I 調査の概要

1-1 調査目的

本調査は、双葉町住民の生活環境の整備や、帰還に向けた諸施策を適切に実施するための基礎資料とすることを目的とする。

1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

1-3 調査設計

(1) 調査地域	双葉町
(2) 調査対象と標本数	世帯の代表者 3,126世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	令和3年8月23日（月）～令和3年9月6日（月）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、双葉町
(6) 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

1-4 回収結果

有効回収数 1,494世帯（有効回収率47.8%）

1-5 報告書の見方

- ・調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ・「その他」に内訳を記載している項目に関しては、個別の項目を合算して構成比を改めて算出している。従って、内訳の回答比率の合計が、グラフ記載の「その他」の回答比率と合致しない場合がある。
- ・図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・調査数（ n 値）が少数（概ね30を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。
- ・Ⅱ調査結果（主要項目）の設問ごとのコメントについては、令和3年度年について述べている。
（令和2年度の結果は、参考値として掲載）

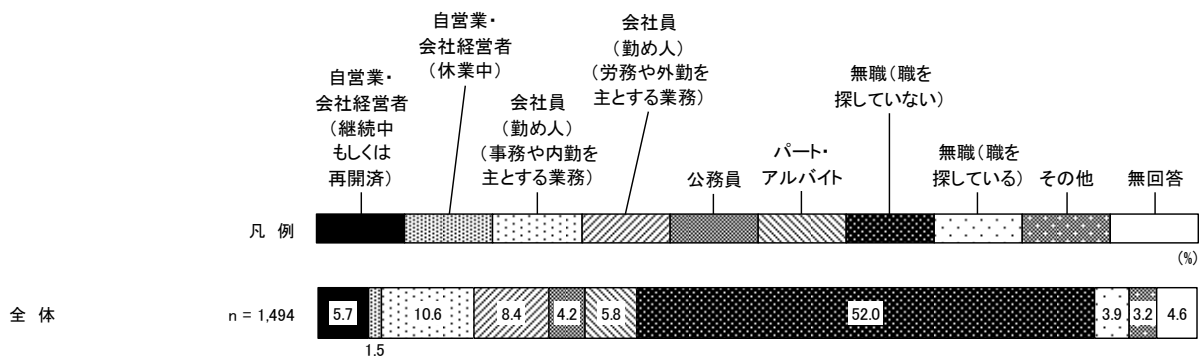
II 調査結果（主要項目）

2-1 回答者の属性・状況

2-1-1 現在の職業（就業形態）（問6（1））

現在の職業（就業形態）については、「無職（職を探していない）」（52.0%）以外では、「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」が 10.6%と最も高く、次いで「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が 8.4%となっている。

<図表2-1-1 現在の職業（就業形態）>

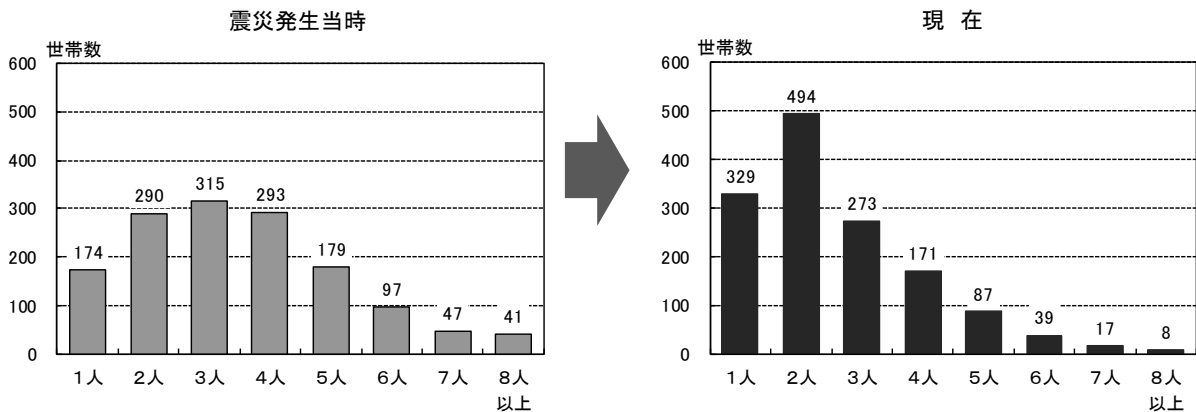


2-1-2 世帯人数（問5（1）・問5（2））

震災発生当時の世帯人数は、「3人」が 315 世帯と最も多く、次いで「4人」が 293 世帯、「2人」が 290 世帯となっている。

現在の世帯人数は、「2人」が 494 世帯と最も多く、次いで「1人」が 329 世帯、「3人」が 273 世帯となっている。

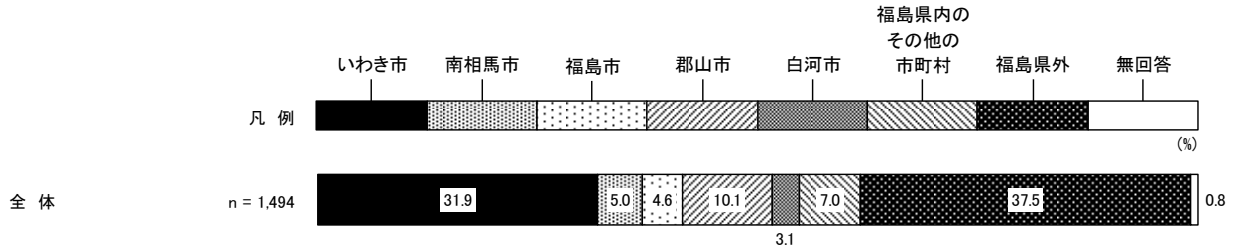
<図表2-1-2 世帯人数>



2-1-3 現在の避難先自治体（問4）

現在の避難先自治体については、「福島県外」が37.5%と最も高く、次いで「いわき市」が31.9%、「郡山市」が10.1%となっている。

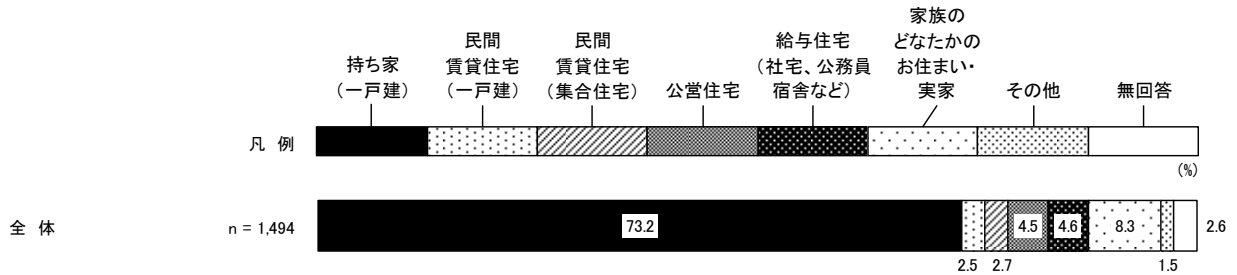
<図表2-1-3 現在の避難先自治体>



2-1-4 震災発生当時の住居形態（問3）

震災発生当時の住居形態については、「持ち家（一戸建）」が73.2%と最も高く、次いで「家族のどなたかのお住まい・実家」が8.3%、「給与住宅（社宅、公務員宿舎など）」が4.6%となっている。

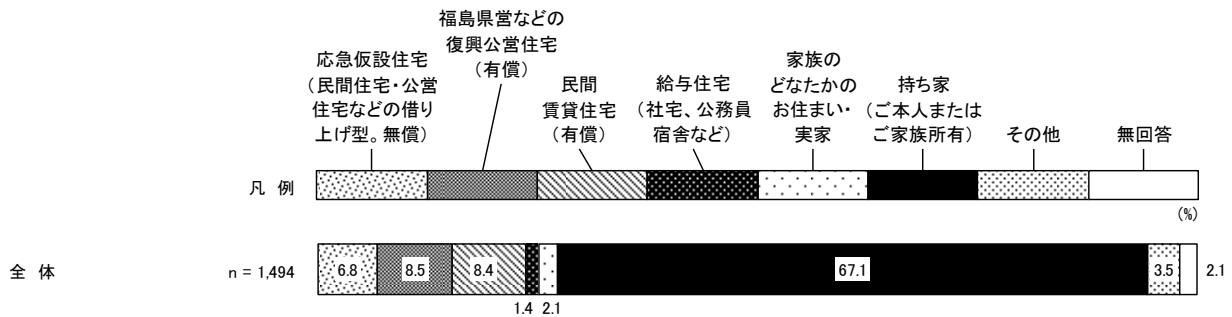
<図表2-1-4 震災発生当時の住居形態>



2-1-5 現在の住居形態（問7）

現在の住居形態については、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が67.1%と最も高く、次いで「福島県営などの復興公営住宅（有償）」が8.5%、「民間賃貸住宅（有償）」が8.4%となっている。

<図表2-1-5 現在の住居形態>



2-1-6 震災発生当時の双葉町内での事業（問15-1）

震災発生当時の双葉町内での事業については、「営んでいた」が26.1%、「営んでいない」が66.1%となっている。

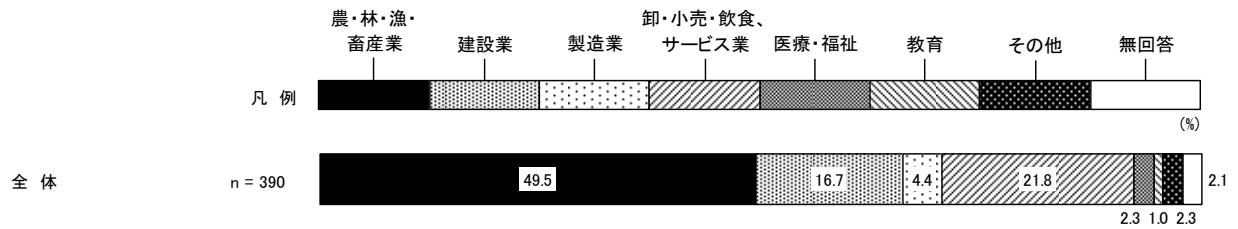
<図表2-1-6 震災発生当時の双葉町内での事業>



2-1-7 営んでいた事業の業種（問 15-2）

営んでいた事業の業種については、「農・林・漁・畜産業」が49.5%と最も高く、次いで「卸・小売・飲食、サービス業」が21.8%、「建設業」が16.7%となっている。

<図表2-1-7 営んでいた事業の業種>



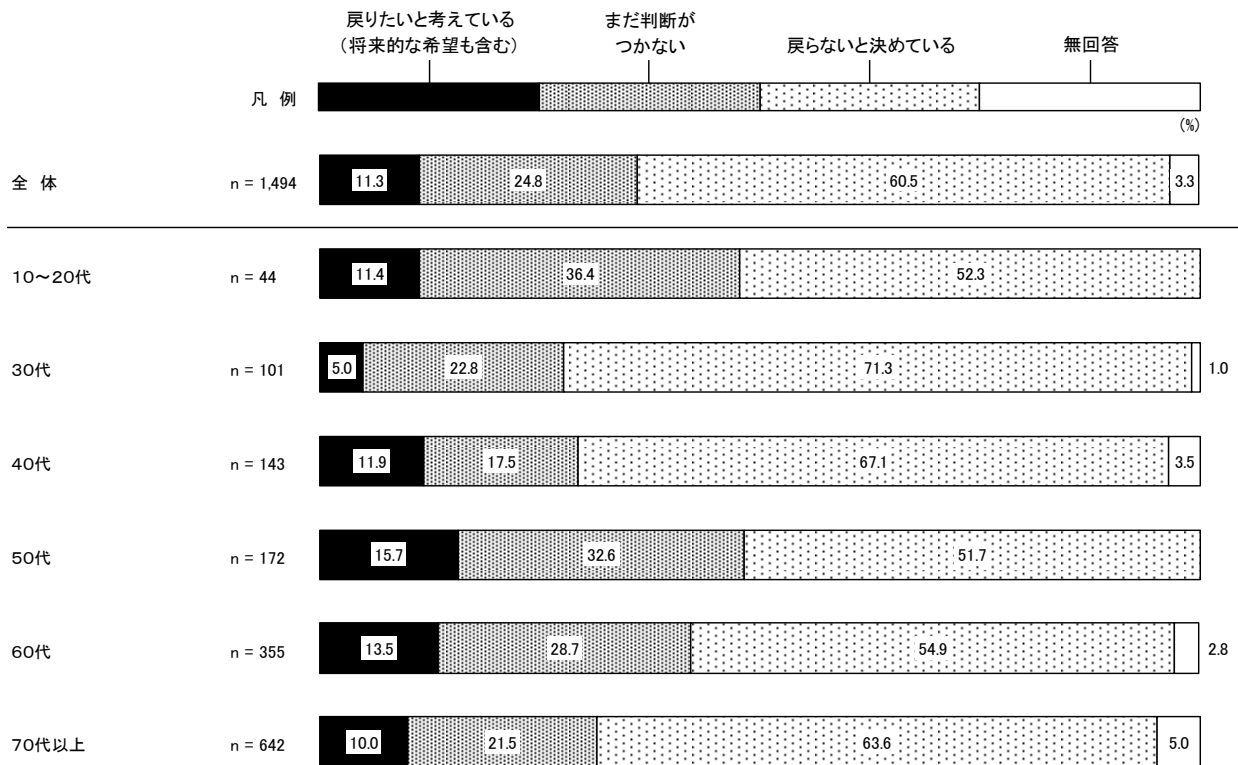
2-2 調査結果

2-2-1 双葉町への帰還意向（問 10）

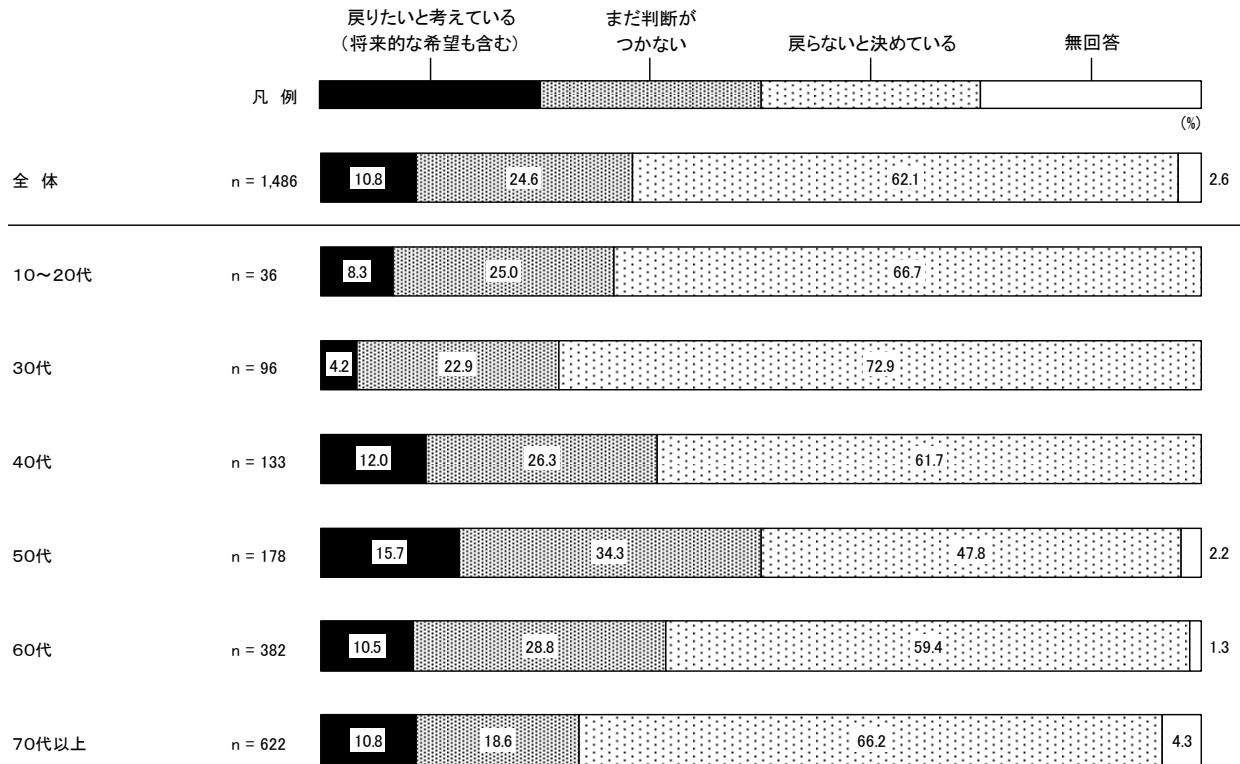
双葉町への帰還意向については、全体では「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」が 11.3%、「まだ判断がつかない」が 24.8%、「戻らないと決めている」が 60.5%となっている。

回答者の年齢別にみると、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」は50代で 15.7%と最も高くなっている。

<図表2-2-1-1 双葉町への帰還意向：令和3年度（年齢別）>



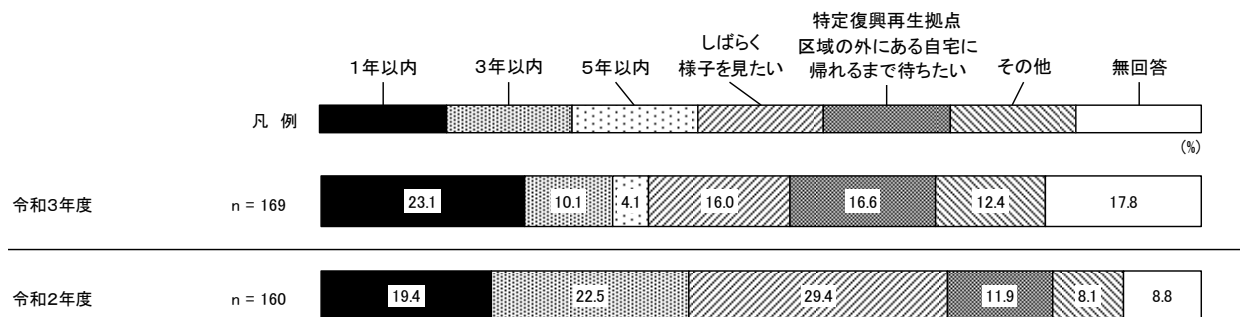
<図表2-2-1-2 双葉町への帰還意向：令和2年度（年齢別）>



2-2-2 避難指示解除後の双葉町への帰還時期（問11-1）

避難指示解除後の双葉町への帰還時期については、「1年以内」が23.1%と最も高く、次いで「特定復興再生拠点区域の外にある自宅に帰れるまで待ちたい」が16.6%、「しばらく様子を見たい」が16.0%となっている。

<図表2-2-2 避難指示解除後の双葉町への帰還時期>

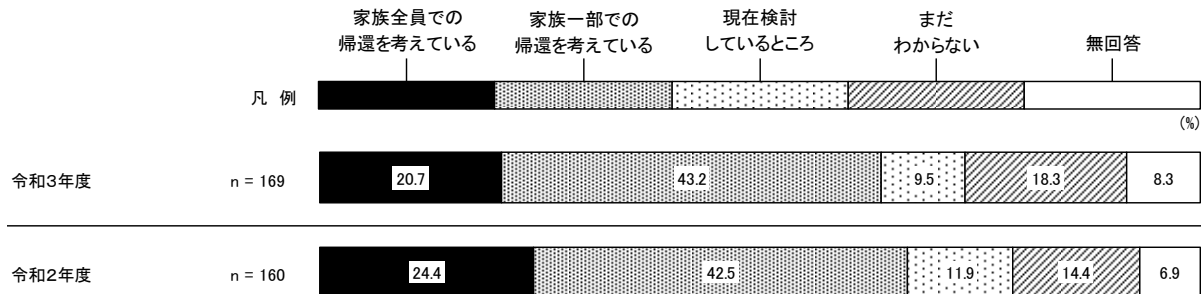


※問10で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ
 ※令和3年度から「5年以内」を追加

2-2-3 双葉町へ帰還する場合の家族（問 11-2）

双葉町へ帰還する場合の家族については、「家族一部での帰還を考えている」が43.2%と最も高く、次いで「家族全員での帰還を考えている」が20.7%、「まだわからない」が18.3%となっている。

＜図表2-2-3 双葉町へ帰還する場合の家族＞

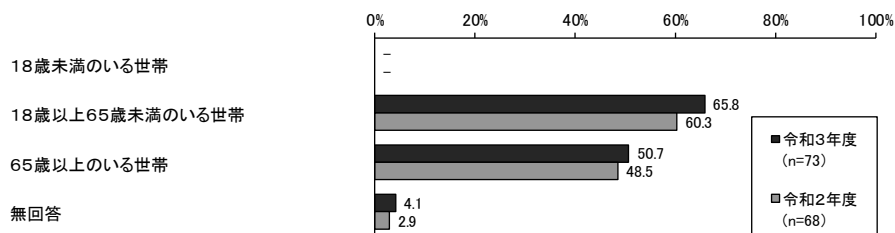


※問 10 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-2-4 双葉町へ帰還した場合の世帯構成（問 11-3）

双葉町へ帰還した場合の世帯構成については、「18歳以上65歳未満のいる世帯」が65.8%、「65歳以上のいる世帯」が50.7%となっている。

＜図表2-2-4 双葉町へ帰還した場合の世帯構成＞



※問 11-2 で「家族一部での帰還を考えている」と回答した方のみ

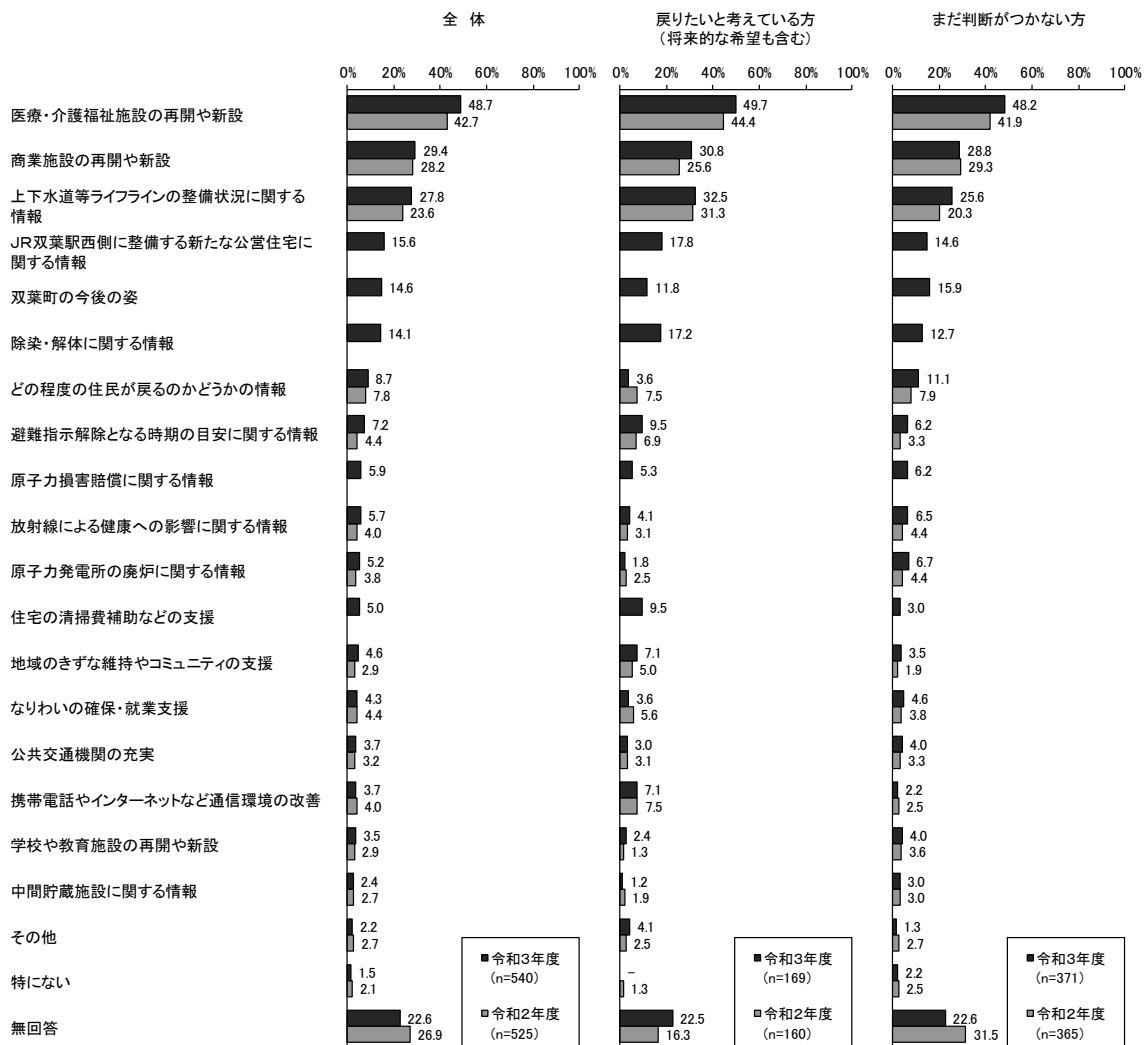
2-2-5 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（問 12-1）

双葉町への帰還を判断するために必要なことについては、全体では「医療・介護福祉施設の再開や新設」が48.7%と最も高く、次いで「商業施設の再開や新設」が29.4%、「上下水道等ライフラインの整備状況に関する情報」が27.8%となっている。

帰還意向別にみると、戻りたいと考えている方では、「医療・介護福祉施設の再開や新設」が49.7%と最も高く、次いで「上下水道等ライフラインの整備状況に関する情報」が32.5%、「商業施設の再開や新設」が30.8%となっている。

まだ判断がつかない方では、「医療・介護福祉施設の再開や新設」が48.2%と最も高く、次いで「商業施設の再開や新設」が28.8%、「上下水道等ライフラインの整備状況に関する情報」が25.6%となっている。

<図表 2-2-5 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（帰還意向別）>

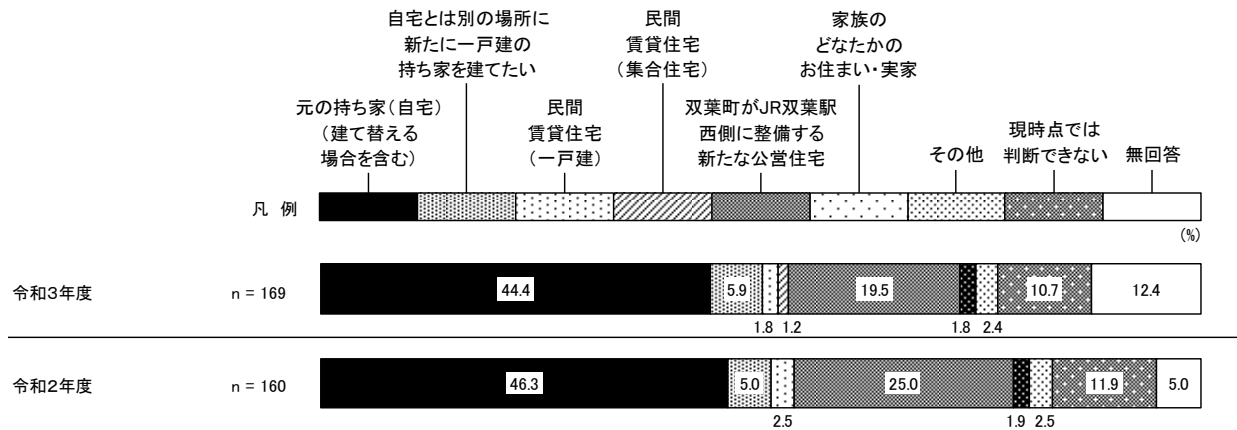


※問 10 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「まだ判断がつかない」と回答した方のみ
 ※優先順位 1 番目から 3 番目を積算して算出
 ※令和 3 年度からの新規回答項目については、令和 3 年度結果のみ掲載

2-2-6 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態〔戻りたいと考えている方〕 （問 12-2）

双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態で、戻りたいと考えている方についてみると、「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」が44.4%と最も高く、次いで「双葉町がJR双葉駅西側に整備する新たな公営住宅」が19.5%、「現時点では判断できない」が10.7%となっている。

<図表2-2-6 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態〔戻りたいと考えている方〕>

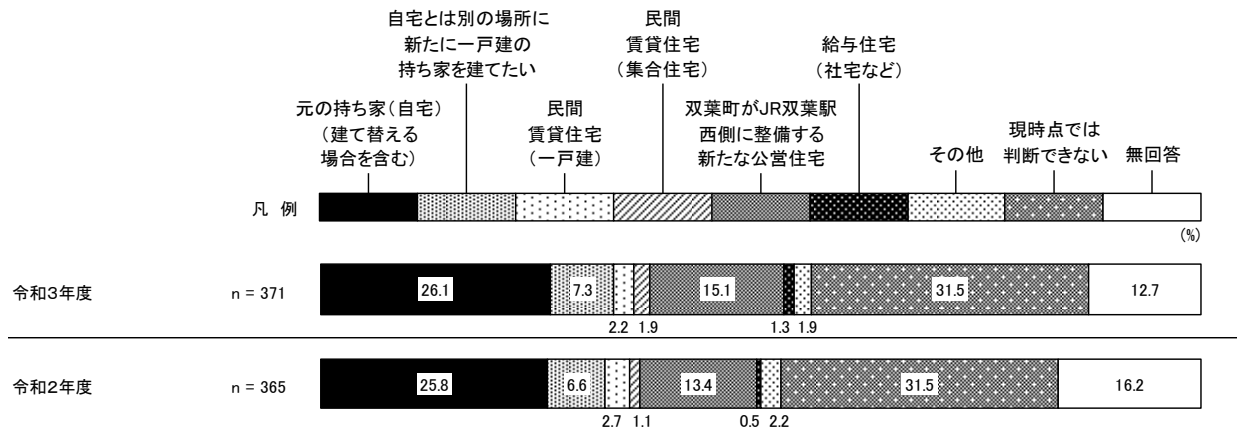


※問 10 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-2-7 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態〔まだ判断がつかない方〕 （問 12-2）

双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態で、まだ判断がつかない方についてみると、「現時点では判断できない」が31.5%と最も高く、次いで「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」が26.1%、「双葉町がJR双葉駅西側に整備する新たな公営住宅」が15.1%となっている

<図表2-2-7 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態〔まだ判断がつかない方〕>



※問 10 で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ

2-2-8 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向（問 12-3）

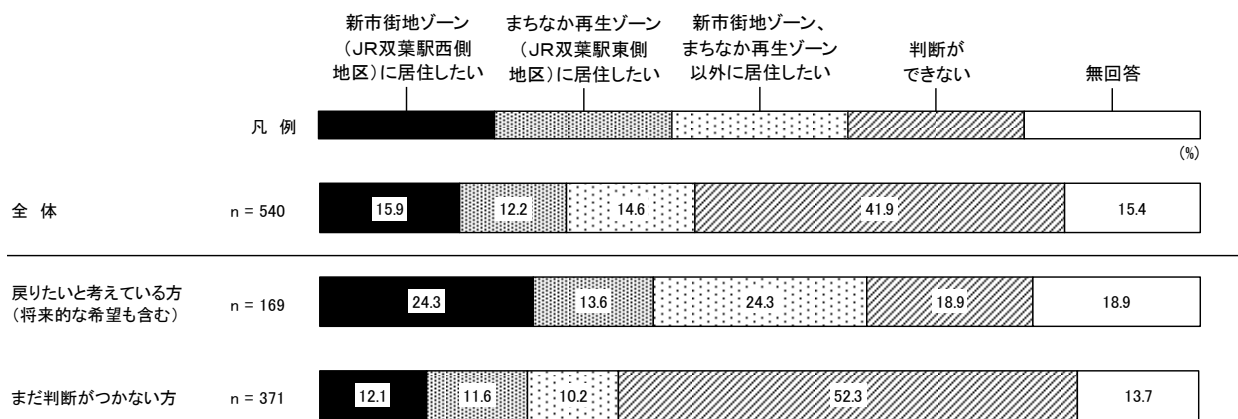
現在、JR 双葉駅西側において、令和4年春頃の解除目標に向けた新たなまちづくりを進めている（新市街地ゾーン（JR双葉駅西側地区））ほか、従来の中心市街地も「まちなか再生ゾーン（JR双葉駅東側地区）」と位置づけ、賑わいの再生を図っていくことを目標としています。

「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向については、「新市街地ゾーン（JR双葉駅西側地区）に居住したい」が15.9%、「まちなか再生ゾーン（JR双葉駅東側地区）に居住したい」が12.2%となっている。最も高いのは「判断ができない」で41.9%となっている。

帰還意向別にみると、戻りたいと考えている方では、「新市街地ゾーン（JR双葉駅西側地区）に居住したい」と「新市街地ゾーン、まちなか再生ゾーン以外に居住したい」がともに24.3%と最も高くなっている。

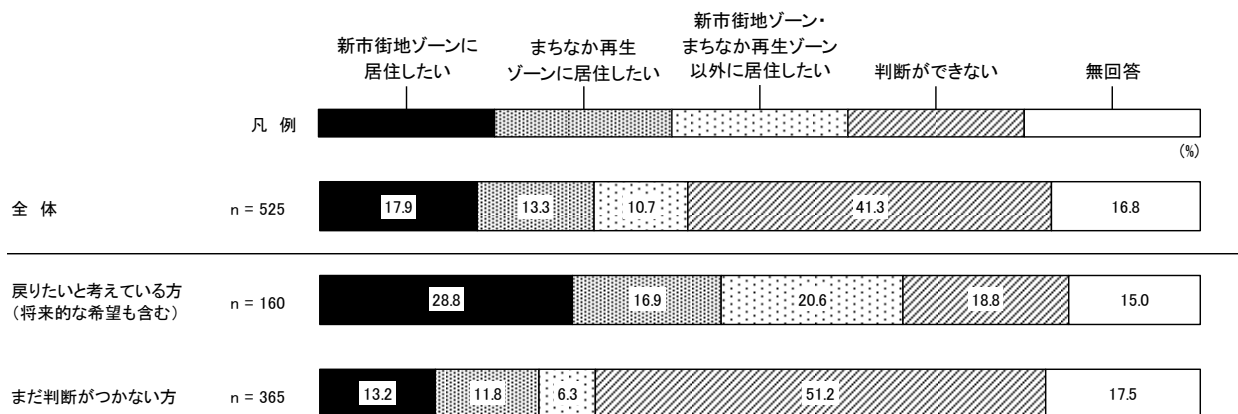
まだ判断がつかない方では、「新市街地ゾーン（JR双葉駅西側地区）に居住したい」が12.1%、「まちなか再生ゾーン（JR双葉駅東側地区）に居住したい」が11.6%となっている。最も高いのは「判断ができない」で52.3%となっている。

<図表2-2-8-1 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向：令和3年度（帰還意向別）>



※問 10 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「まだ判断がつかない」と回答した方のみ

<図表2-2-8-2 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向：令和2年度（帰還意向別）>

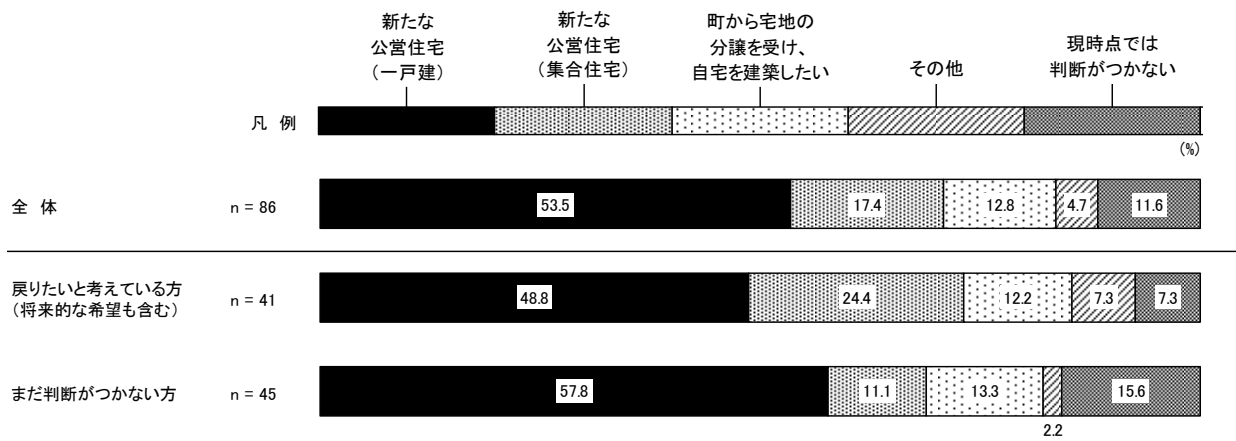


2-2-9 JR双葉駅の西側に住宅地が整備された場合に希望する住居形態（問12-4）

JR双葉駅の西側に住宅地が整備された場合に希望する住居形態については、「新たな公営住宅（一戸建）」が53.5%と最も高く、次いで「新たな公営住宅（集合住宅）」が17.4%、「町から宅地の分譲を受け、自宅を建築したい」が12.8%となっている。

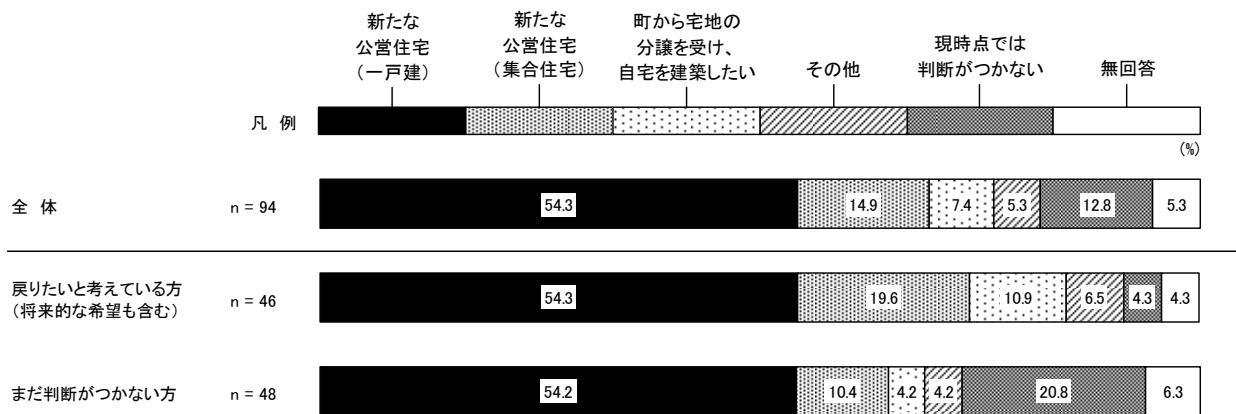
帰還意向別にみると、戻りたいと考えている方、まだ判断がつかない方のいずれにおいても、「新たな公営住宅（一戸建）」が最も高くなっている。

<図表2-2-9-1 JR双葉駅の西側に住宅地が整備された場合に希望する住居形態：令和3年度（帰還意向別）>



※問12-3で「新市街地ゾーン（JR双葉駅西側地区）に居住したい」と回答した方のみ

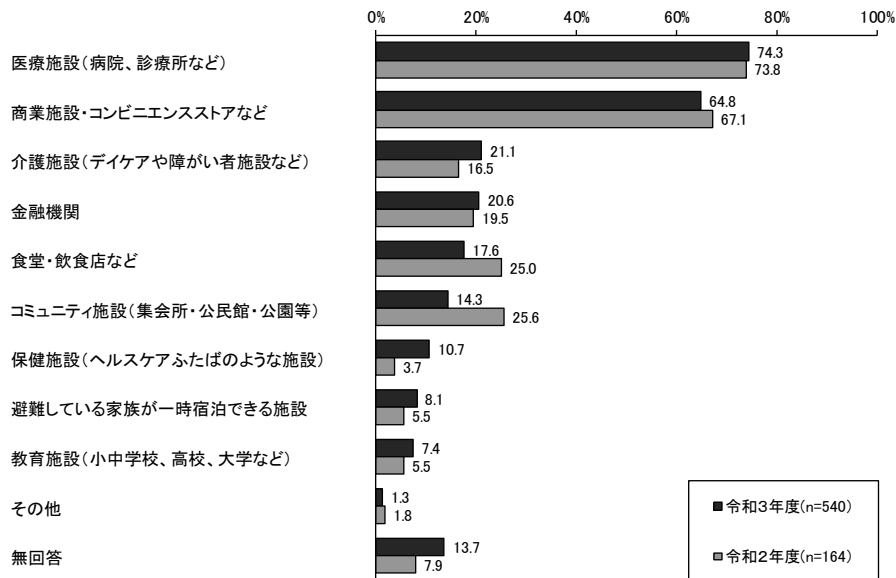
<図表2-2-9-2 JR双葉駅の西側に住宅地が整備された場合に希望する住居形態：令和2年度（帰還意向別）>



2-2-10 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設
（問 12-5）

「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設については、「医療施設（病院、診療所など）」が74.3%と最も高く、次いで「商業施設・コンビニエンスストアなど」が64.8%、「介護施設（デイケアや障がい者施設など）」が21.1%となっている。

<図表2-2-10 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設>

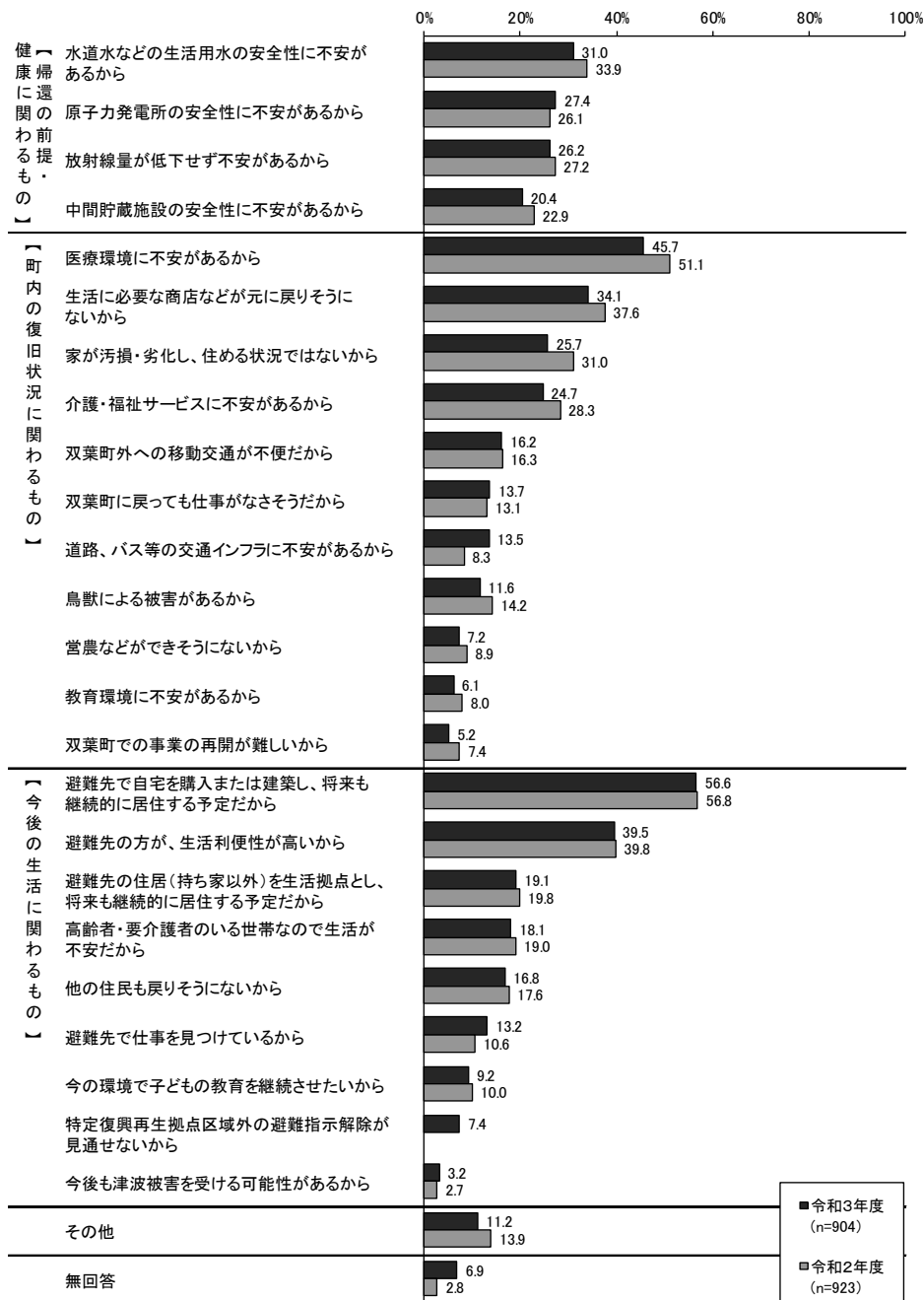


※問 10 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「まだ判断がつかない」と回答した方のみ
※回答は3つまで

2-2-11 双葉町に戻らないと決めている理由（問 14-1）

双葉町に戻らないと決めている理由については、「避難先で自宅を購入または建築し、将来も継続的に居住する予定だから」が56.6%と最も高く、次いで「医療環境に不安があるから」が45.7%、「避難先の方が、生活利便性が高いから」が39.5%となっている。

＜図表 2-2-11 双葉町に戻らないと決めている理由＞



※問 10 で「戻らないと決めている」と回答した方のみ

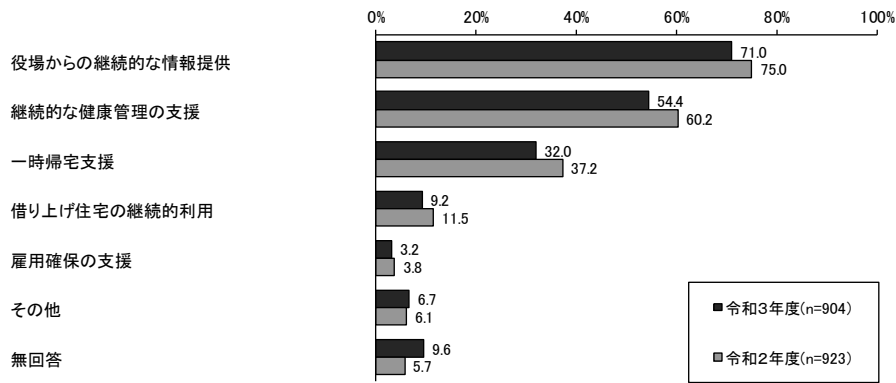
※複数回答可

※令和3年度からの新規回答項目については、令和3年度結果のみ掲載

2-2-12 双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援（問 14-2）

双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援については、「役場からの継続的な情報提供」が71.0%と最も高く、次いで「継続的な健康管理の支援」が54.4%、「一時帰宅支援」が32.0%となっている。

<図表2-2-12 双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援>



※問 10 で「戻らないと決めている」と回答した方のみ
 ※複数回答可

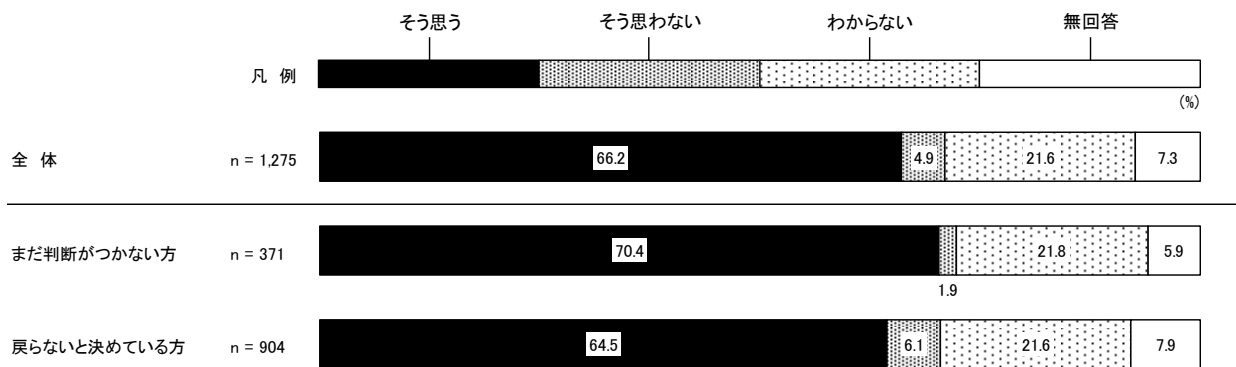
2-2-13 双葉町との「つながり」を保ちたいか（問 13-1）

双葉町との「つながり」を保ちたいかについては、「そう思う」が66.2%、「そう思わない」が4.9%、「わからない」が21.6%となっている。

帰還意向別にみると、まだ判断がつかない方では、「そう思う」が70.4%、「そう思わない」が1.9%、「わからない」が21.8%となっている。

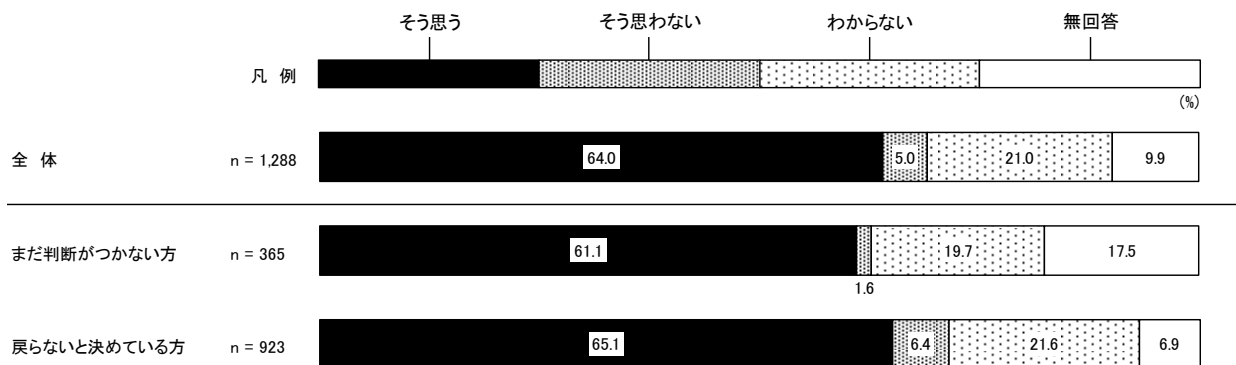
戻らないと決めている方では、「そう思う」が64.5%、「そう思わない」が6.1%、「わからない」が21.6%となっている。

<図表2-2-13-1 双葉町との「つながり」を保ちたいか：令和3年度（帰還意向別）>



※問 10 で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

<図表2-2-13-2 双葉町との「つながり」を保ちたいか：令和2年度（帰還意向別）>



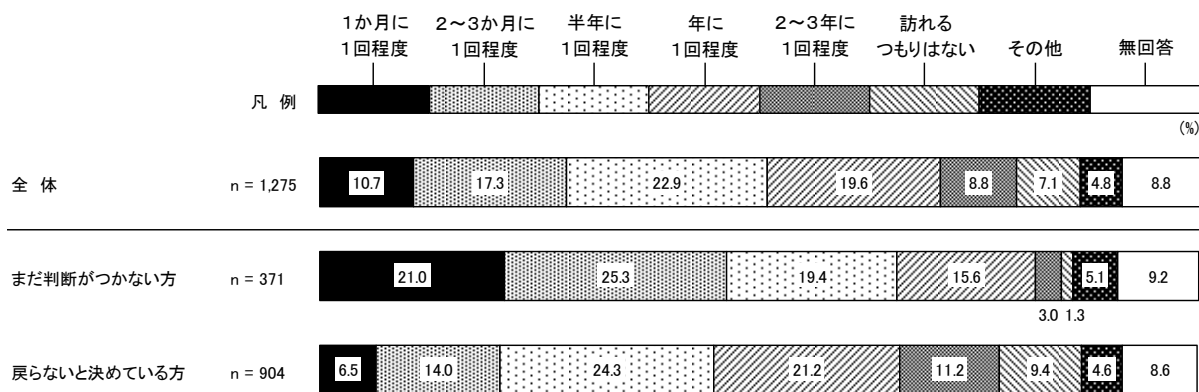
2-2-14 双葉町を訪れたい頻度（問 13-2）

双葉町を訪れたい頻度については、「半年に1回程度」が22.9%と最も高く、次いで「年に1回程度」が19.6%、「2～3か月に1回程度」が17.3%となっている。

帰還意向別にみると、まだ判断がつかない方では、「2～3か月に1回程度」が25.3%と最も高く、次いで「1か月に1回程度」が21.0%、「半年に1回程度」が19.4%となっている。

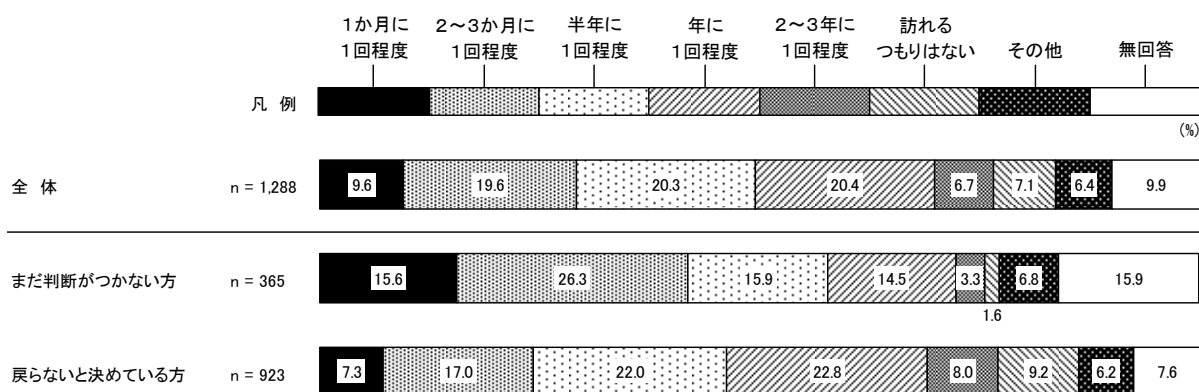
戻らないと決めている方では、「半年に1回程度」が24.3%と最も高く、次いで「年に1回程度」が21.2%、「2～3か月に1回程度」が14.0%となっている。

<図表2-2-14-1 双葉町を訪れたい頻度：令和3年度（帰還意向別）>



※問 10 で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

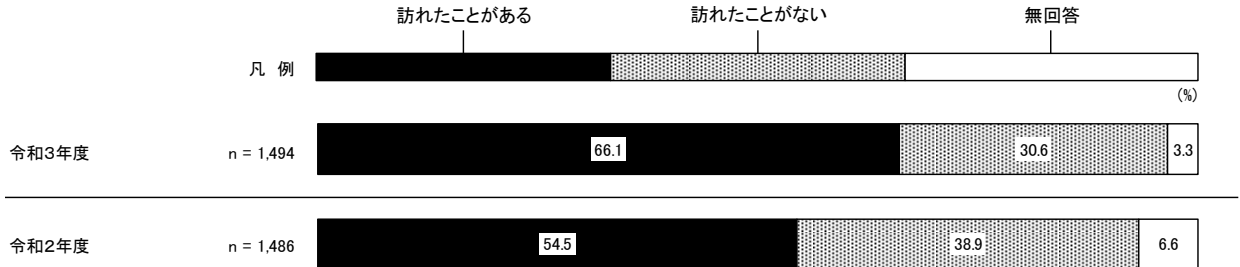
<図表2-2-14-2 双葉町を訪れたい頻度：令和2年度（帰還意向別）>



2-2-15 双葉町内への訪問（問 22-1）

令和2年3月以降の双葉町への訪問については、「訪れたことがある」が66.1%、「訪れたことがない」が30.6%となっている。

<図表2-2-15 双葉町内への訪問>

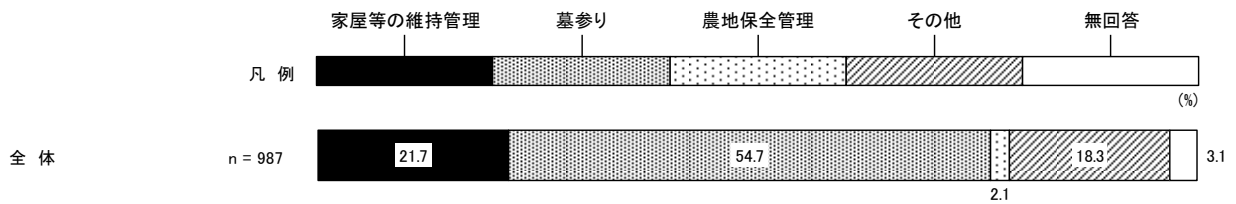


※令和2年3月～各年度の調査実施における訪問の有無

2-2-16 双葉町を訪れる主な目的（問 22-3）

双葉町を訪れる主な目的については、「墓参り」が54.7%と最も高く、次いで「家屋等の維持管理」が21.7%となっている。

<図表2-2-16 双葉町を訪れる主な目的>



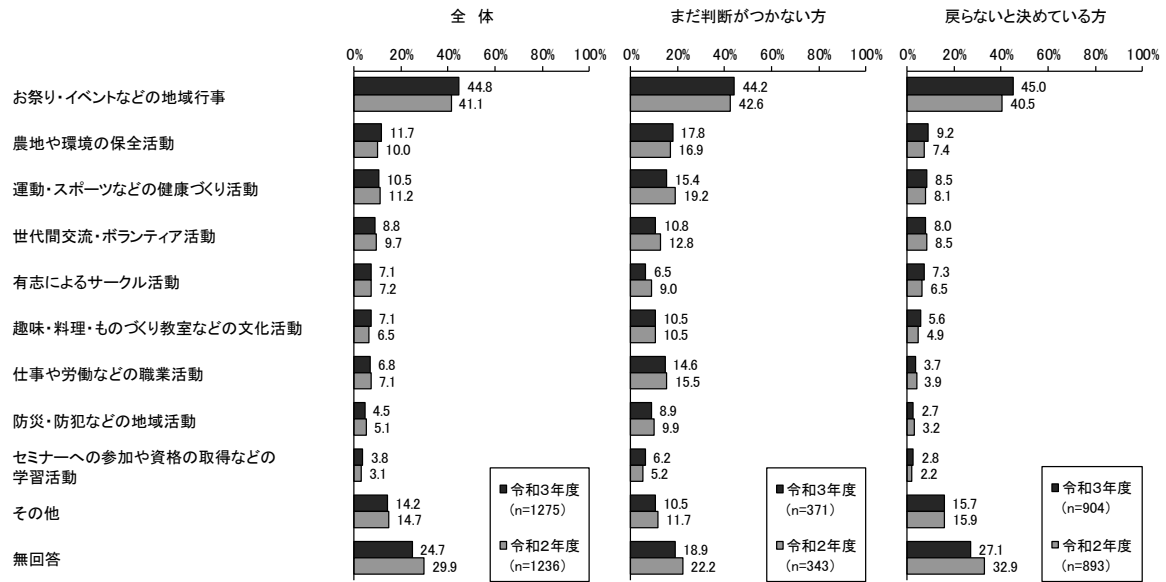
※問 22-1 で「訪れたことがある」と回答した方のみ
 ※令和3年度からの新規設問

2-2-17 双葉町を訪れたくなる取り組み・行事・イベント（問 13-3）

双葉町を訪れたくなる取り組み・行事・イベントについては、「お祭り・イベントなどの地域行事」が44.8%と最も高く、次いで「農地や環境の保全活動」が11.7%、「運動・スポーツなどの健康づくり活動」が10.5%となっている。

帰還意向別にみると、まだ判断がつかない方、戻らないと決めている方のいずれにおいても、全体と同じ項目が上位に並んでいる。

<図表2-2-17 双葉町を訪れたくなる取り組み・行事・イベント（帰還意向別）>

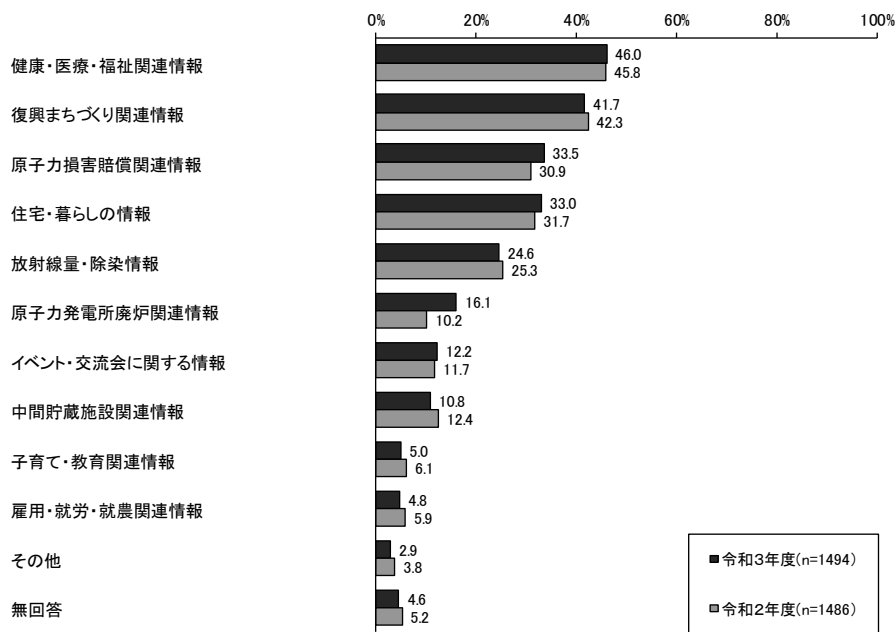


※問 10 で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-2-18 双葉町について、特に知りたい、関心のある情報（問9）

双葉町について、特に知りたい、関心のある情報については、「健康・医療・福祉関連情報」が46.0%と最も高く、次いで「復興まちづくり関連情報」が41.7%、「原子力損害賠償関連情報」が33.5%となっている。

<図表2-2-18 双葉町について、特に知りたい、関心のある情報>

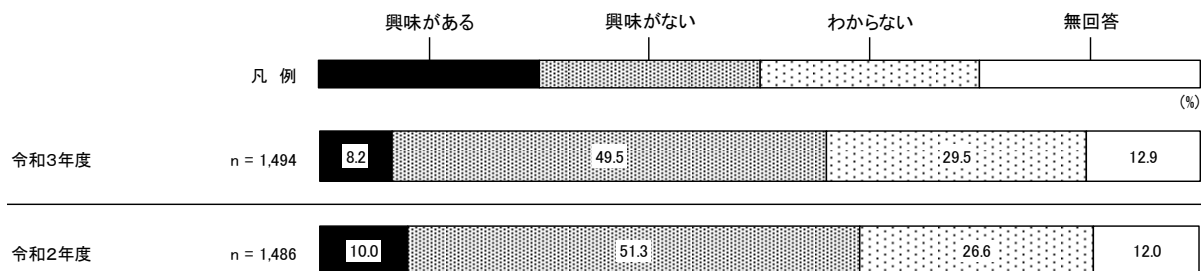


※回答は3つまで

2-2-19 双葉町内での就業意向（問16-1）

双葉町内での就業意向については、「興味がある」が8.2%、「興味がない」が49.5%、「わからない」が29.5%となっている。

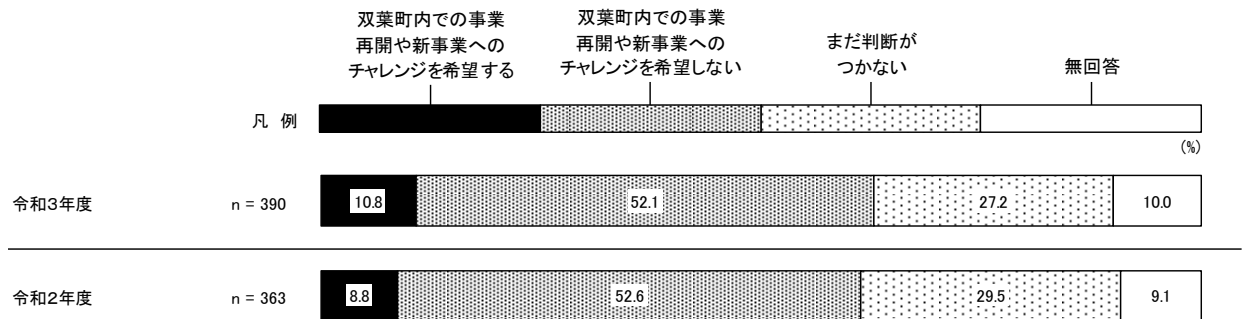
<図表2-2-19 双葉町内での就業意向>



2-2-20 避難指示解除後の事業再開や新事業へのチャレンジの意向（問 15-3）

避難指示解除後の事業再開や新事業へのチャレンジの意向については、「双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する」が10.8%、「双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望しない」が52.1%、「まだ判断がつかない」が27.2%となっている。

<図表2-2-20 避難指示解除後の事業再開や新事業へのチャレンジの意向>

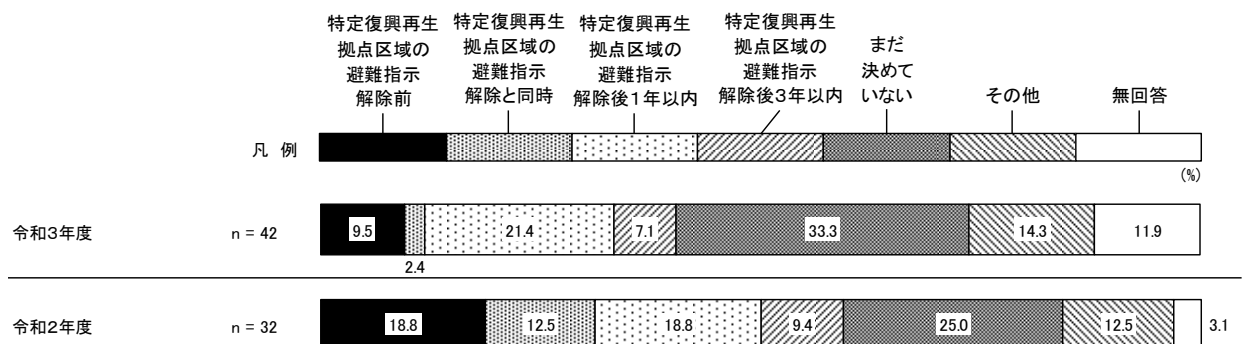


※問 15-1 で「営んでいた」と回答した方のみ

2-2-21 双葉町内での事業再開の希望時期（問 15-4）

双葉町内での事業再開の希望時期については、「まだ決めていない」が33.3%と最も高く、次いで「特定復興再生拠点区域の避難指示解除後1年以内」が21.4%、「特定復興再生拠点区域の避難指示解除前」が9.5%となっている。

<図表2-2-21 双葉町内での事業再開の希望時期>

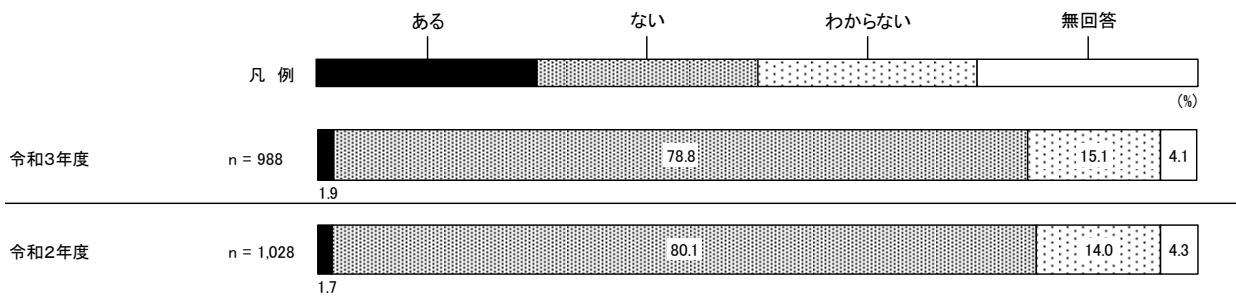


※問 15-3 で「双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する」と回答した方のみ

2-2-22 今後の新事業へのチャレンジの意向（問 15-5）

今後の新事業へのチャレンジの意向については、「ある」が1.9%、「ない」が78.8%、「わからない」が15.1%となっている。

<図表 2-2-22 今後の新事業へのチャレンジの意向>

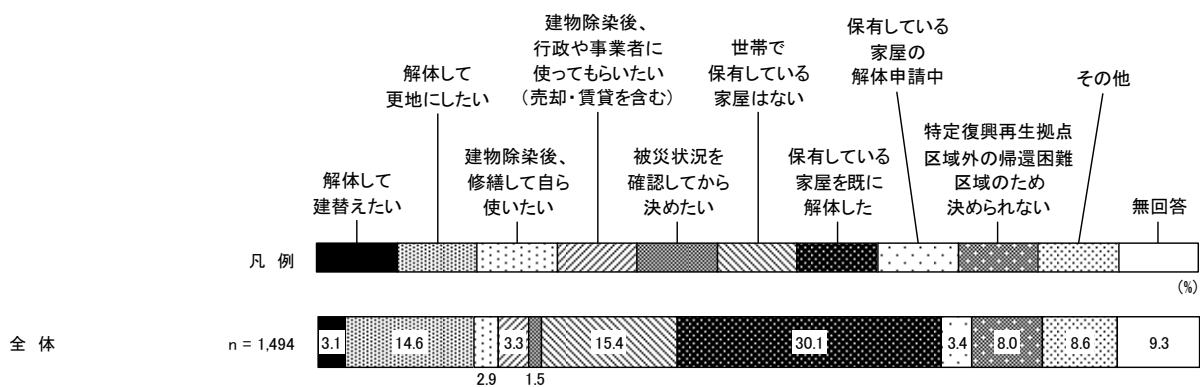


※問 15-1 で「営んでいない」と回答した方のみ

2-2-23 双葉町内に保有する家屋の利用意向（問 17）

双葉町内に保有する家屋の利用意向については、「保有している家屋をすでに解体した」が30.1%と最も高く、次いで「世帯で保有している家屋はない」が15.4%、「解体して更地になりたい」が14.6%となっている。

<図表 2-2-23 双葉町内に保有する家屋の利用意向>

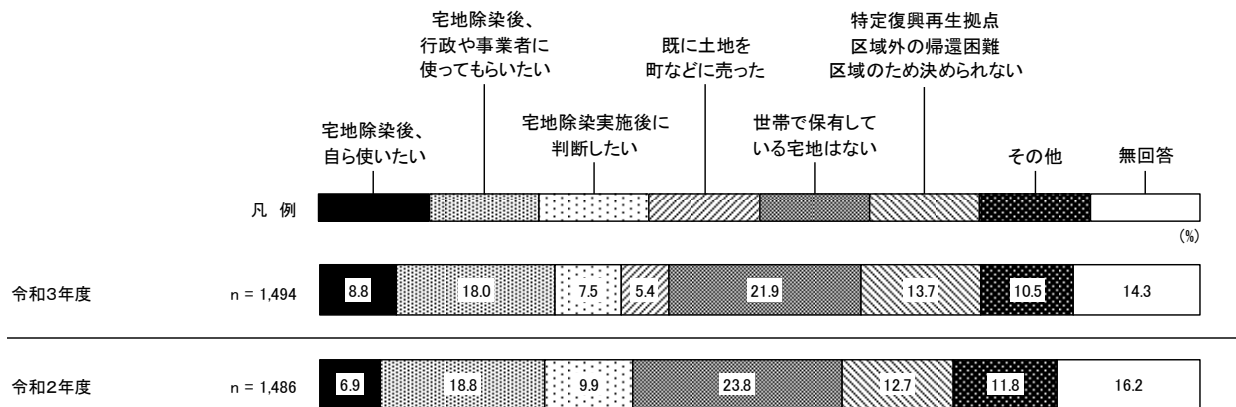


※令和2年度とは回答項目が一部異なるため、令和3年度のみ掲載

2-2-24 双葉町内に保有する宅地の利用意向（問18）

双葉町内に保有する宅地の利用意向については、「世帯で保有している宅地はない」が21.9%と最も高く、次いで「宅地除染後、行政や事業者に使ってほしい」が18.0%、「特定復興再生拠点区域外の帰還困難区域のため決められない」が13.7%となっている。

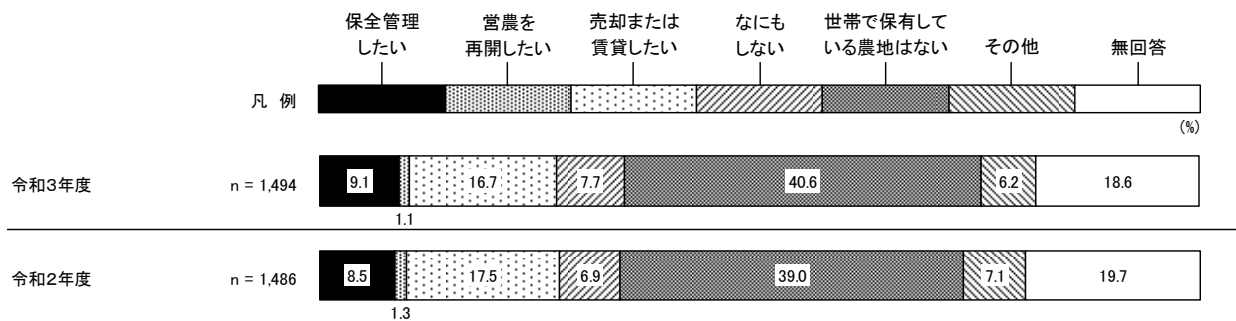
<図表2-2-24 双葉町内に保有する宅地の利用意向>



2-2-25 双葉町内に保有する農地の利用意向（問21-1）

双葉町内に保有する農地の利用意向については、「世帯で保有している農地はない」が40.7%と最も高く、次いで「売却または賃貸したい」が16.7%、「保全管理したい」が9.1%となっている。

<図表2-2-25 双葉町内に保有する農地の利用意向>



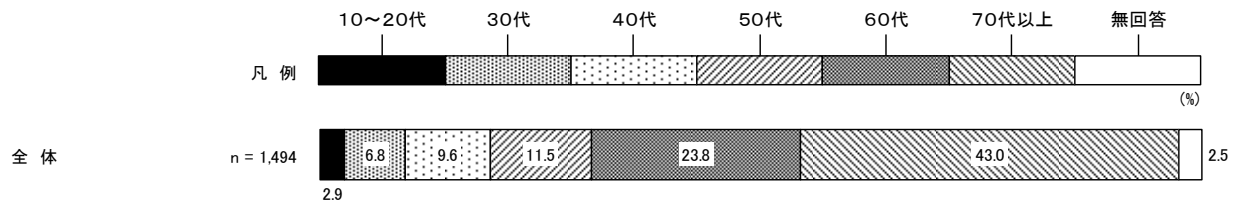
Ⅲ 調査結果（全項目）

3-1 回答者の属性

3-1-1 年齢

問1 現在のあなたの年齢を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-1-1 年齢>

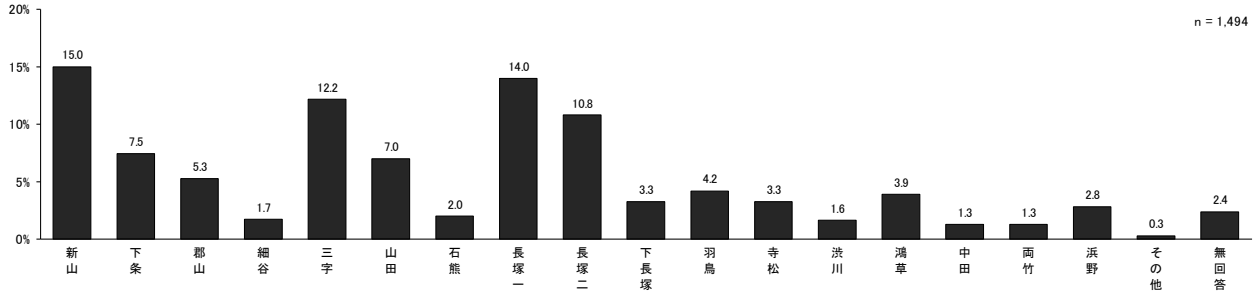


3-2 東日本大震災発生時の状況

3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区

問2-1 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。（〇は1つ）

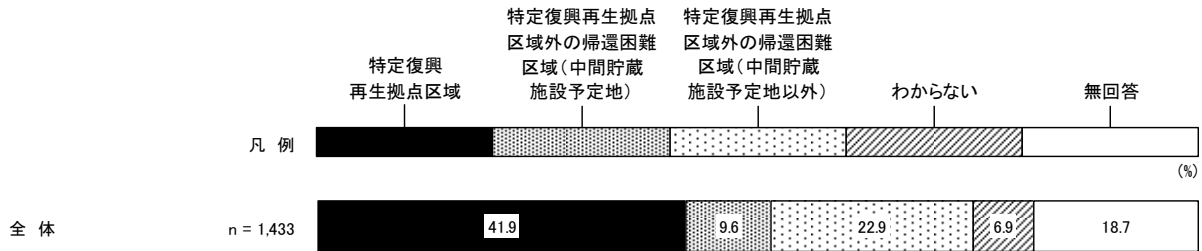
<図表3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区>



3-2-2 震災発生当時の住まいの区域

【問2-1で「16. 両竹」「17. 浜野」以外を回答した方に伺います。】
 問2-2 震災発生当時のお住まいが、現在、以下の各区域のどこに該当するかを教えてください。（〇は1つ）

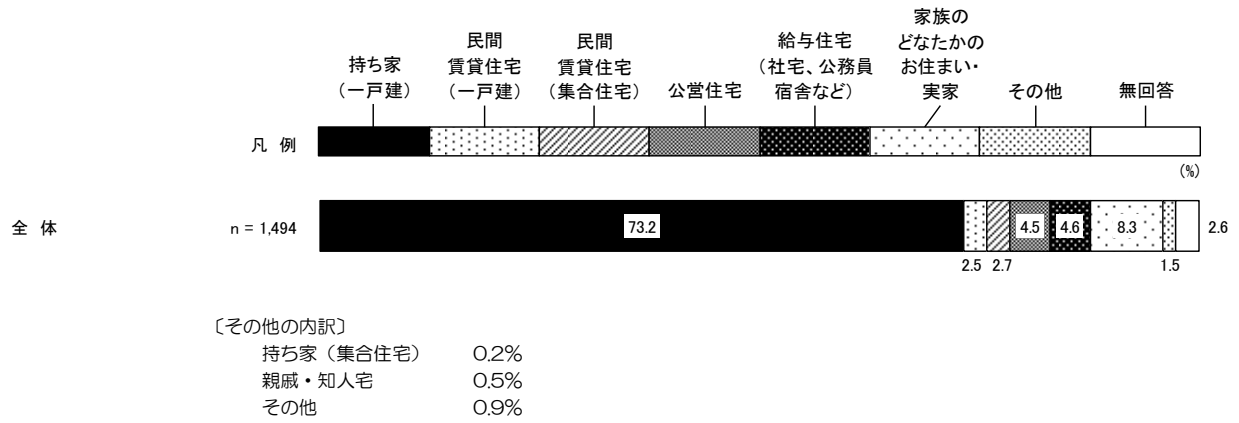
<図表3-2-2 震災発生当時の住まいの区域>



3-2-3 震災発生当時の住居形態

問3 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。（〇は1つ）

<図表3-2-3 震災発生当時の住居形態>

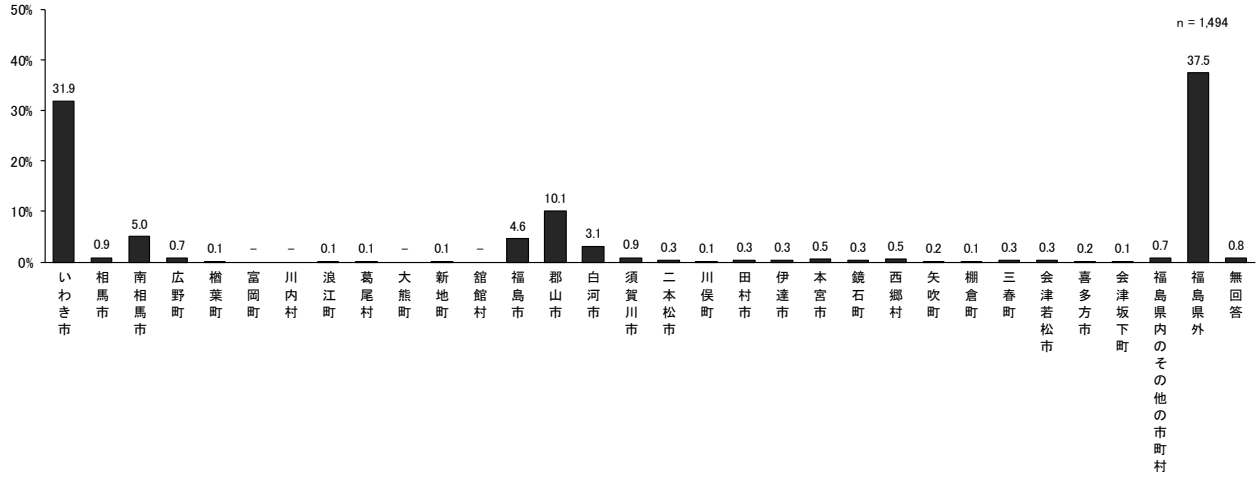


3-3 現在の状況

3-3-1 現在の避難先自治体

問4 あなたが現在避難されている自治体を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-3-1 現在の避難先自治体>



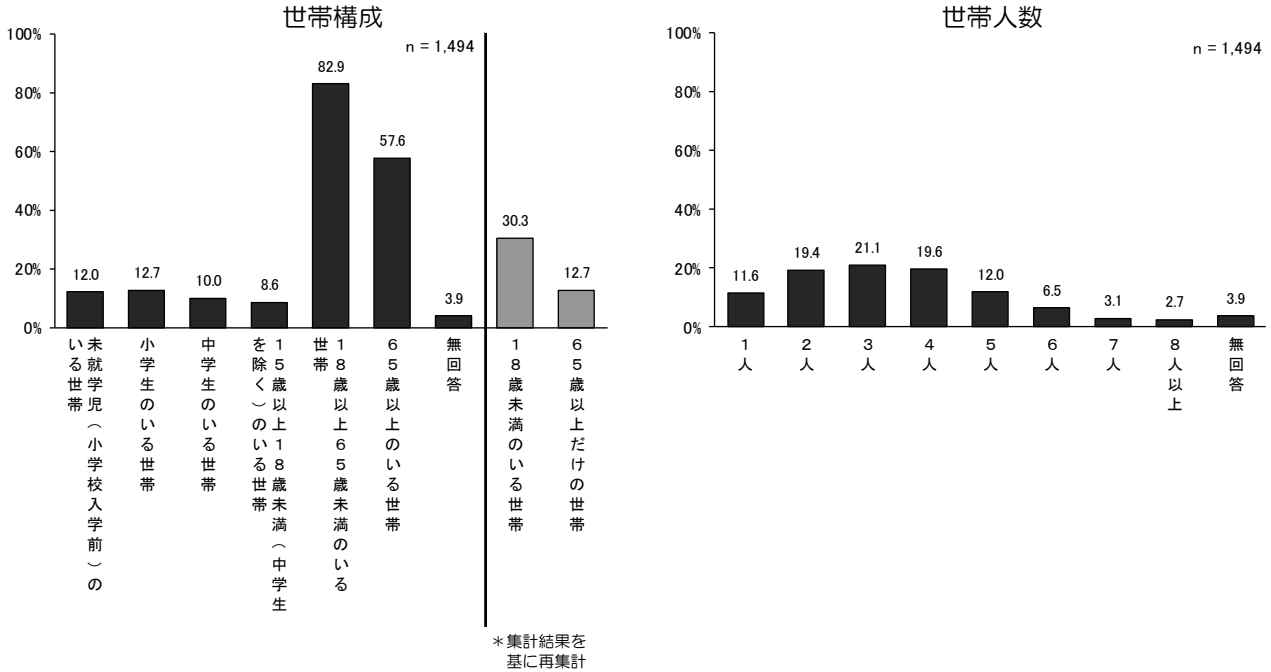
3-3-2 震災発生当時の世帯構成・人数

問5 震災発生当時と現在の世帯構成についてうかがいます。

(1)「震災発生当時」に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、「当時の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

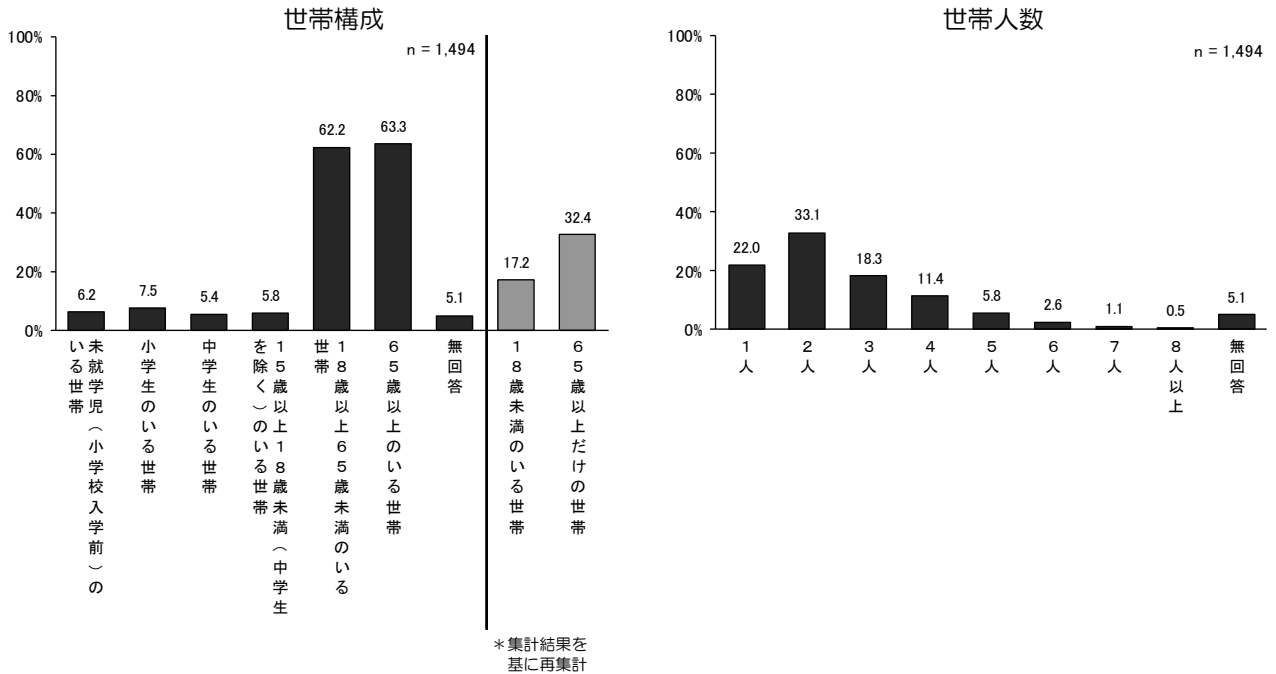
<図表3-3-2 震災発生当時の世帯構成・人数>



3-3-3 現在の世帯構成・人数

問5 震災発生当時と現在の世帯構成についてうかがいます。
 (2)「現在」、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。
 あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

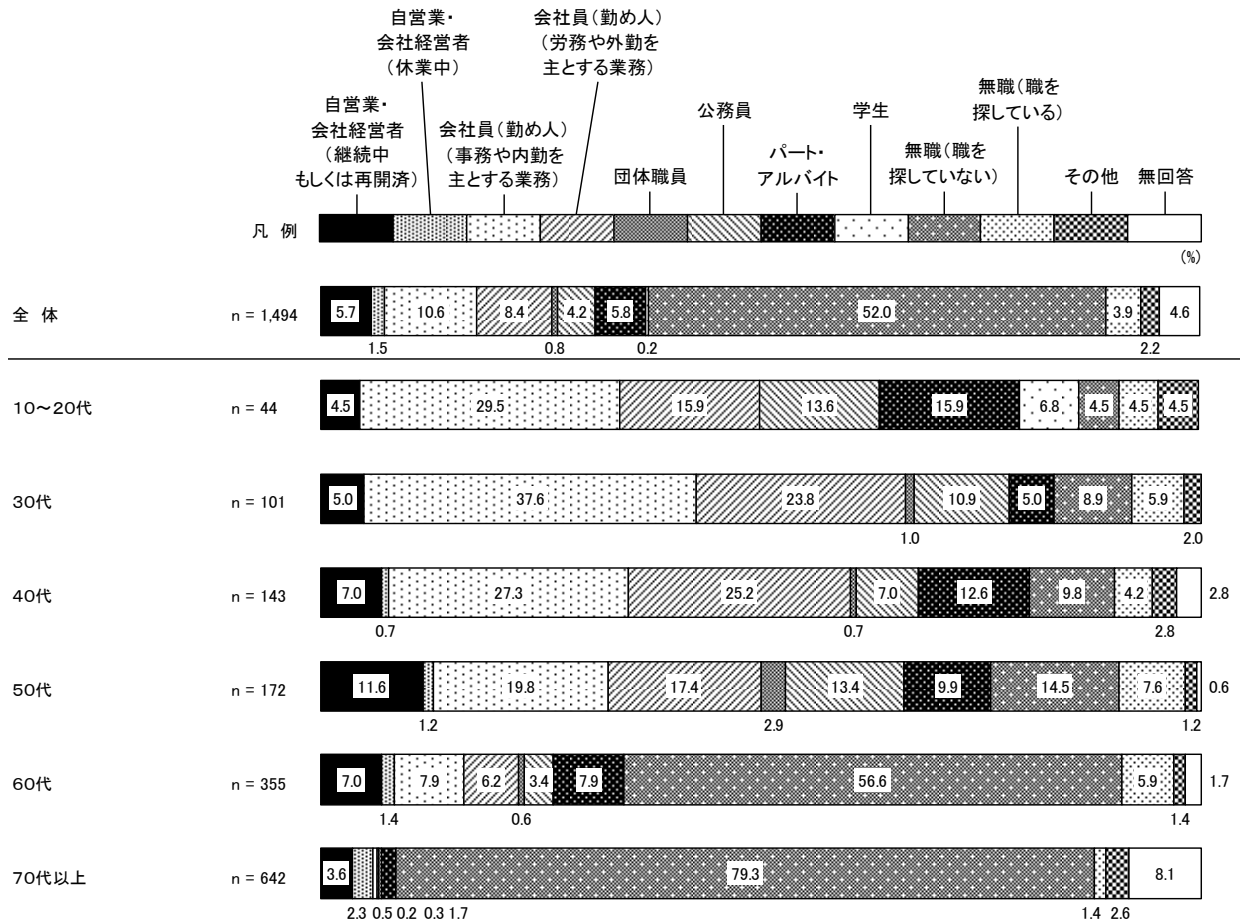
<図表3-3-3 現在の世帯構成・人数>



3-3-4 現在の職業（就業形態）

問6 現在のあなたの職業を教えてください。
 仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。
 (1) 職業（就業形態）（○は1つ）

<図表3-3-4 現在の職業（就業形態）（年齢別）>



3-3-5 現在の業種

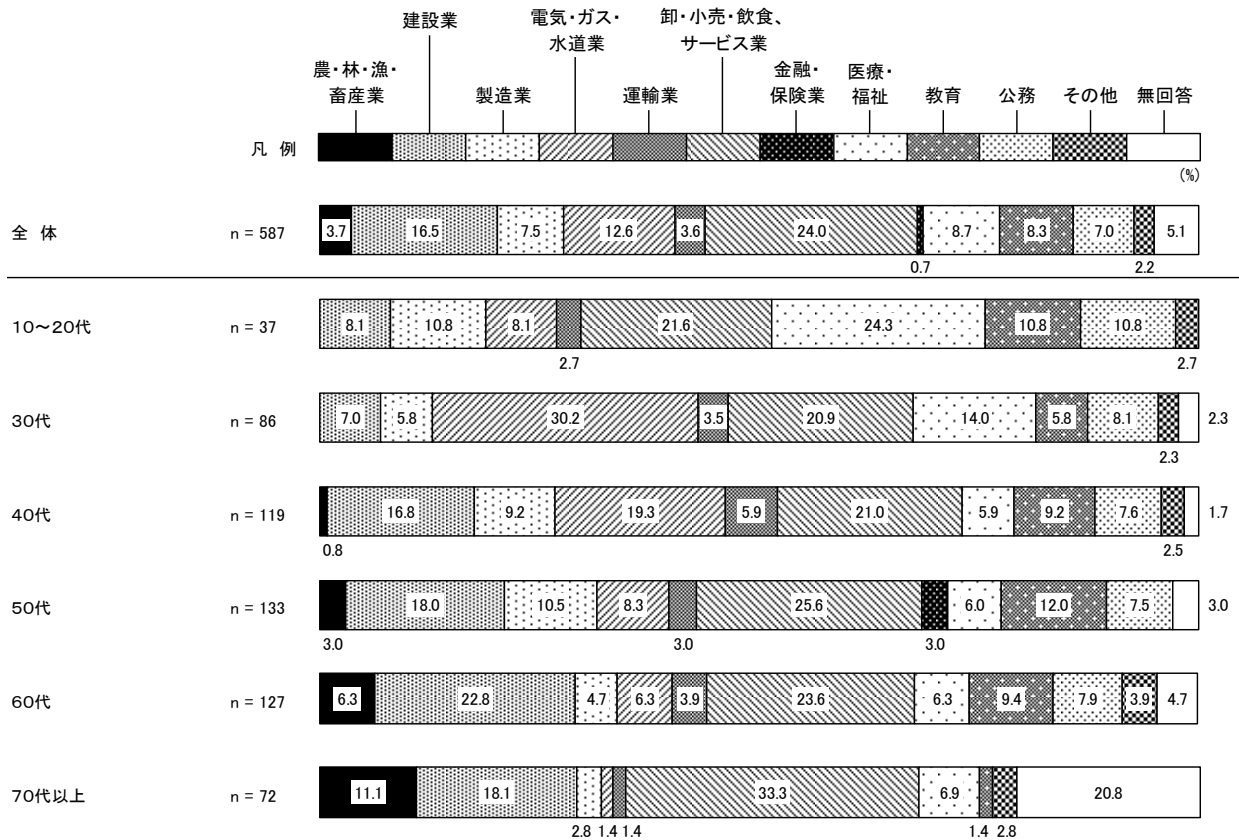
【仕事に就いている方（*問6（1）で「1」から「7」、「11」と回答した方）にうかがいます。】

問6 現在のあなたの職業を教えてください。
仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

(2) 業種（〇は1つ）

- *問6（1）：1. 自営業・会社経営者（継続中もしくは再開済） 2. 自営業・会社経営者（休業中）
3. 会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務） 4. 会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）
5. 団体職員 6. 公務員
7. パート・アルバイト 11. その他

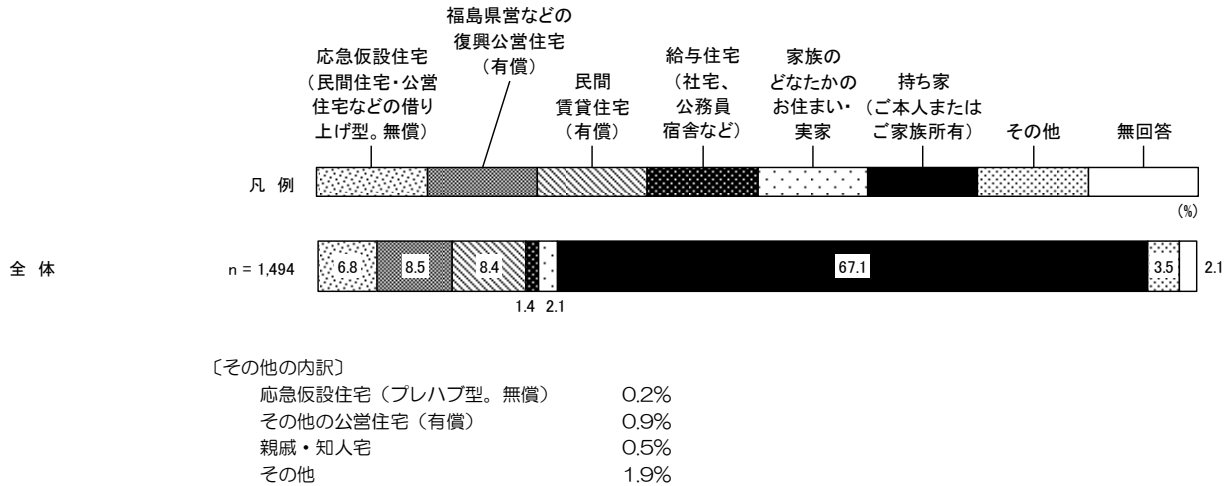
<図表3-3-5 現在の業種（年齢別）>



3-3-6 現在の住居形態

問7 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。（〇は1つ）

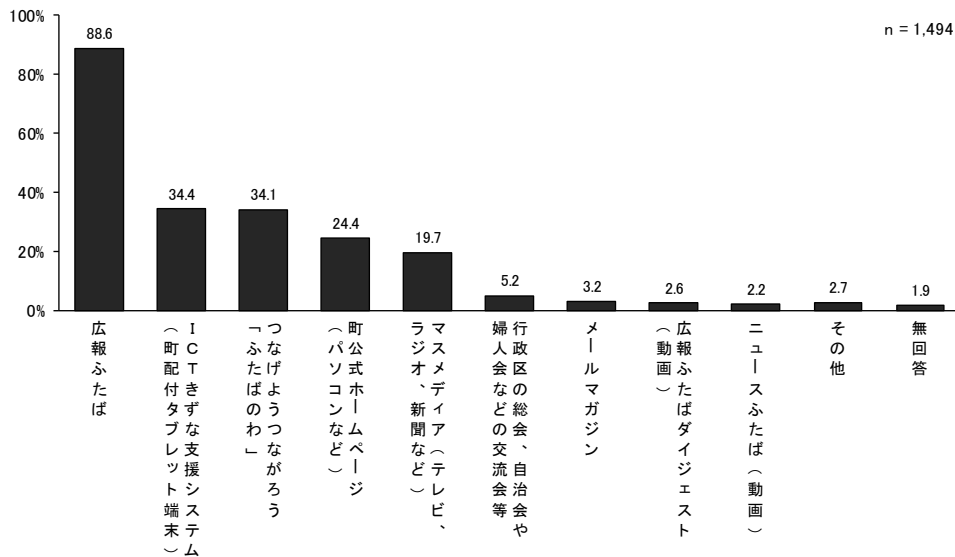
<図表3-3-6 現在の住居形態>



3-3-7 双葉町からの情報の入手経路

問8-1 あなたは町からの情報を主にどのような方法で入手していますか。（〇は3つまで）

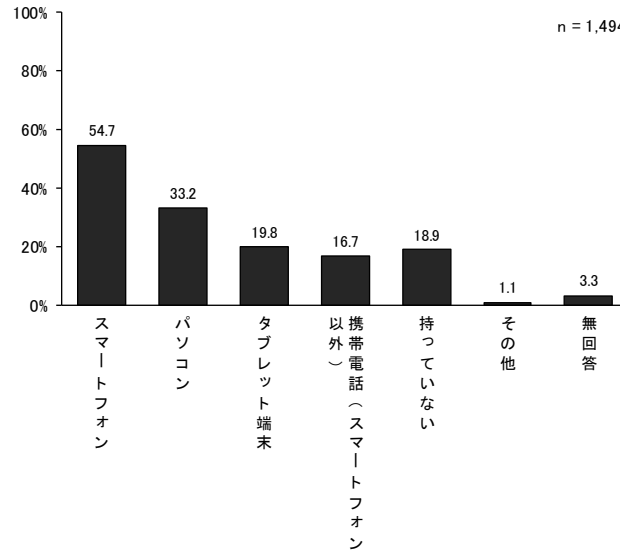
<図表3-3-7 双葉町からの情報の入手経路>



3-3-8 所有している情報端末機器

問8-2 あなたは町が配布している「ICTきずな支援システム（タブレット端末）」他にどのような情報端末機器をお持ちですか。（〇はいくつでも）

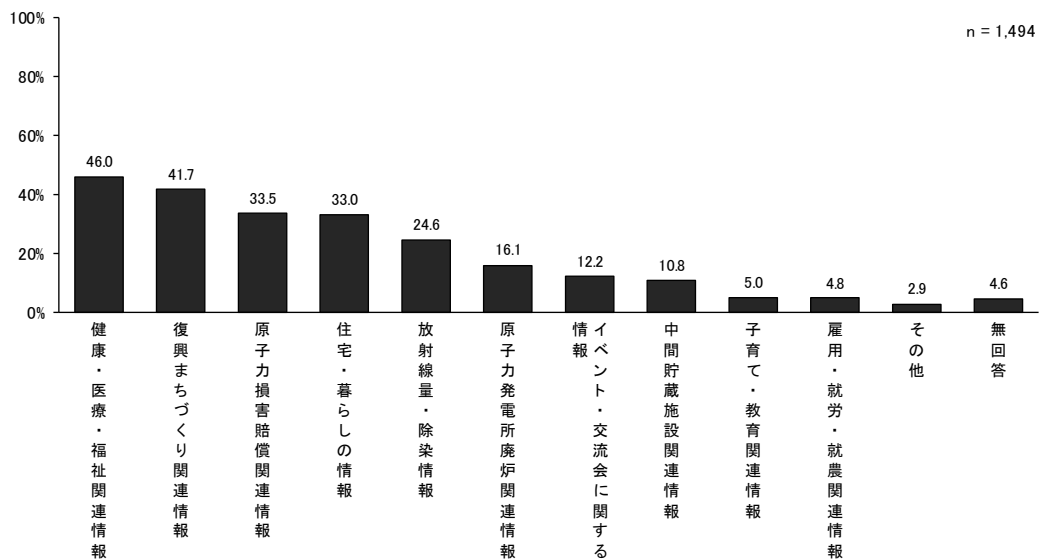
<図表3-3-8 所有している情報端末機器>



3-3-9 特に知りたい、関心のある情報

問9 あなたが特に知りたい、関心がある情報は何か。（〇は3つまで）

<図表3-3-9 特に知りたい、関心のある情報>

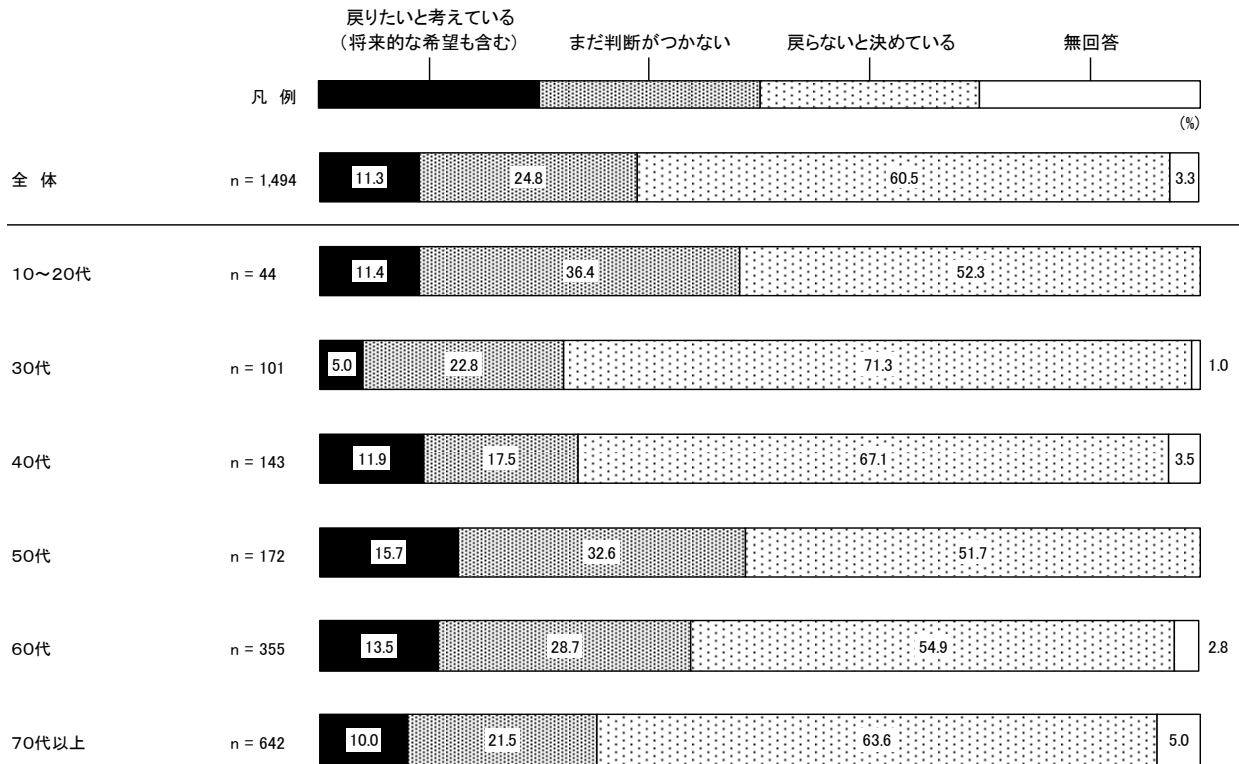


3-4 将来の意向

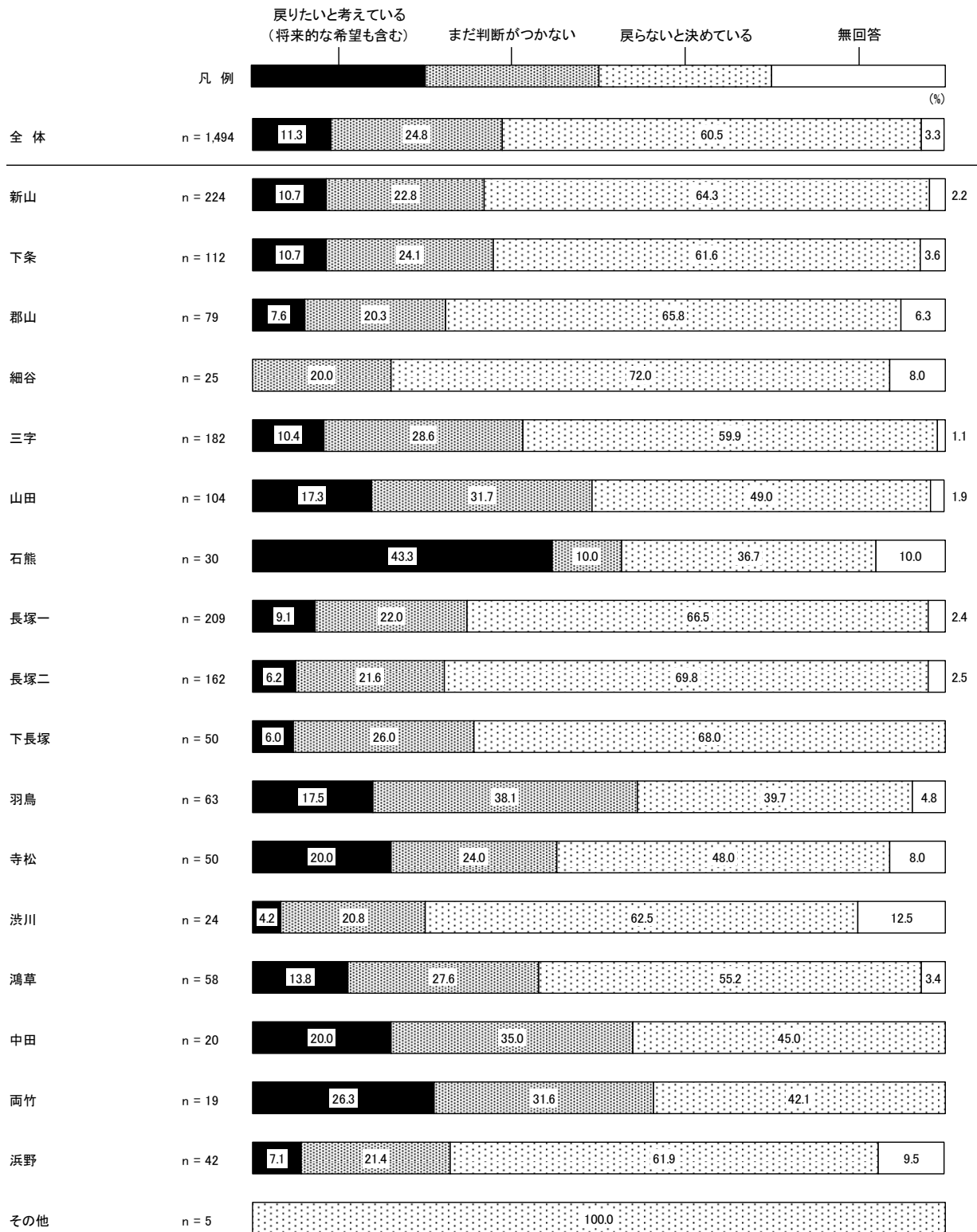
3-4-1 双葉町への帰還意向

問10 今後、特定復興再生拠点区域の避難指示が解除された場合の双葉町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。（〇は1つ）

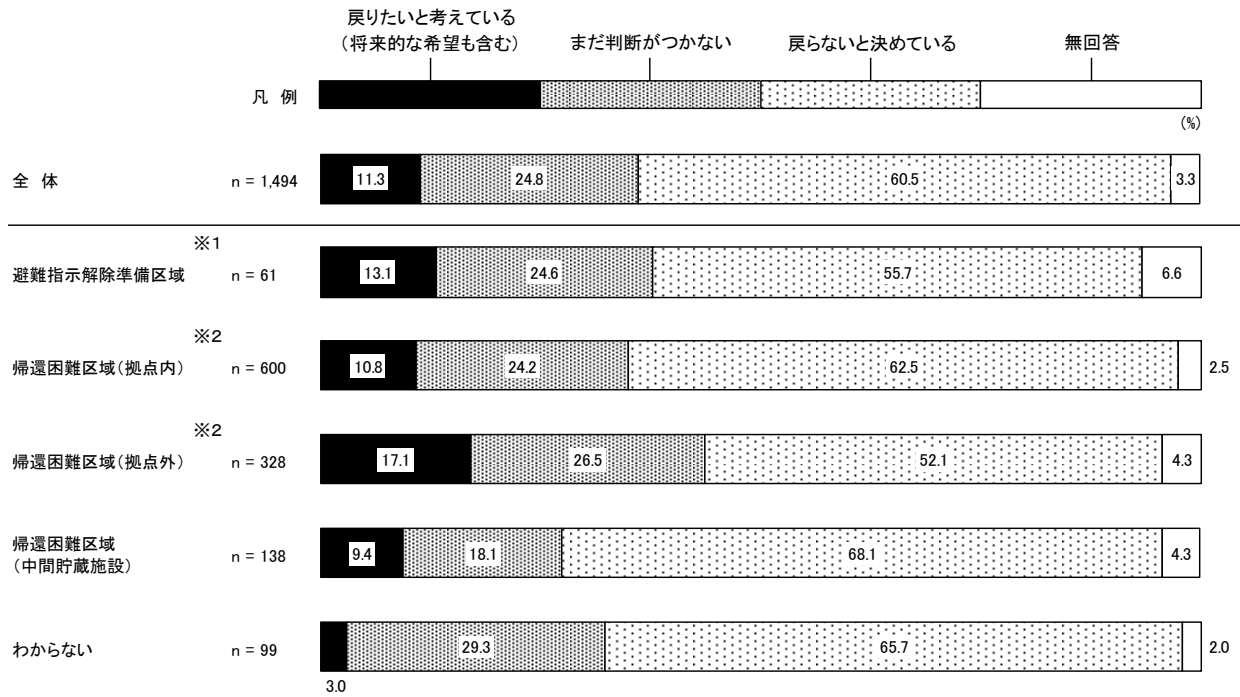
<図表3-4-1-1 双葉町への帰還意向（年齢別）>



<図表3-4-1-2 双葉町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）>



<図表3-4-1-3 双葉町への帰還意向（避難指示区域別）>

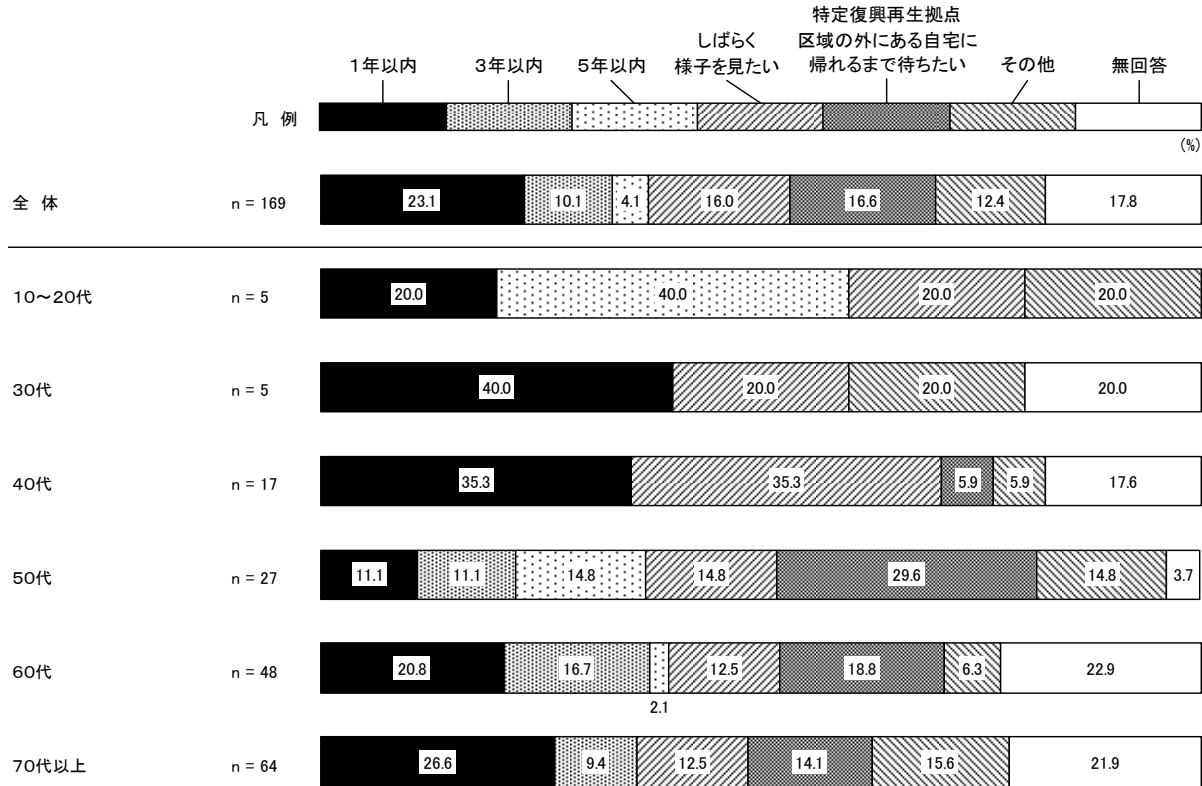


※1 令和2年3月4日に避難指示解除済み
 ※2 「拠点」とは特定復興再生拠点のこと

3-4-2 避難指示解除後の双葉町への帰還時期

【問10で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。
 問11-1 特定再生復興拠点区域内の避難指示が解除されたときから、何年以内に戻りたいと考えていますか。
 （〇は1つ）

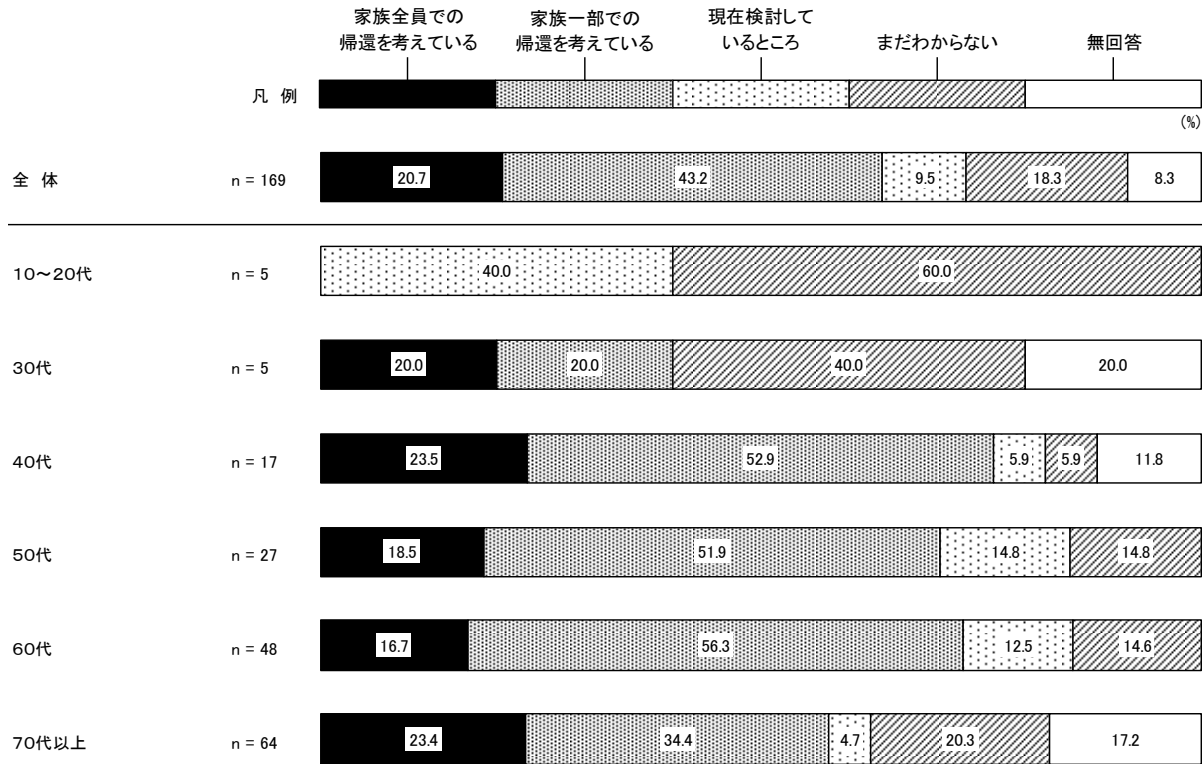
<図表3-4-2 避難指示解除後の双葉町への帰還時期（年齢別）>



3-4-3 双葉町へ帰還する場合の家族

【問10で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。
問11-2 戻る場合に家族の全員なのか、又は一部なのかについて教えてください。（〇は1つ）

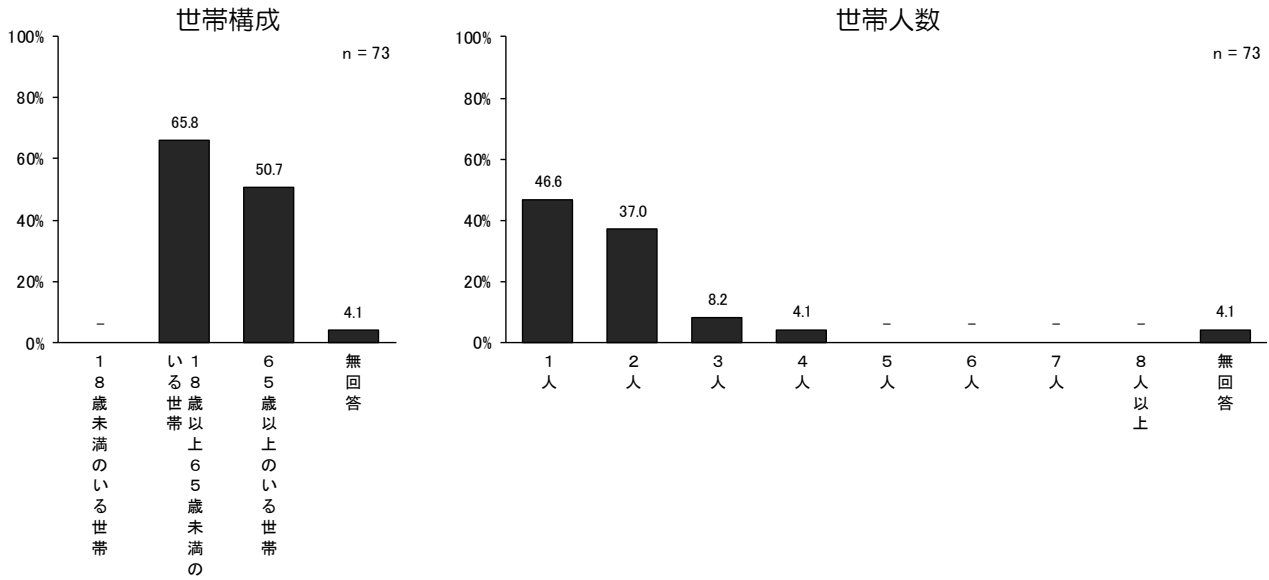
<図表3-4-3 双葉町へ帰還する場合の家族（年齢別）>



3-4-4 双葉町へ家族一部で帰還した場合の世帯構成・人数

【問11-2で「2. 家族一部での帰還を考えている」と回答した方にかがいます。】
 問11-3 帰還した場合にはどのような家族構成になると考えていますか。あなた自身を含めて、「現在の」年齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

<図表3-4-4 双葉町へ家族一部で帰還した場合の世帯構成・人数>

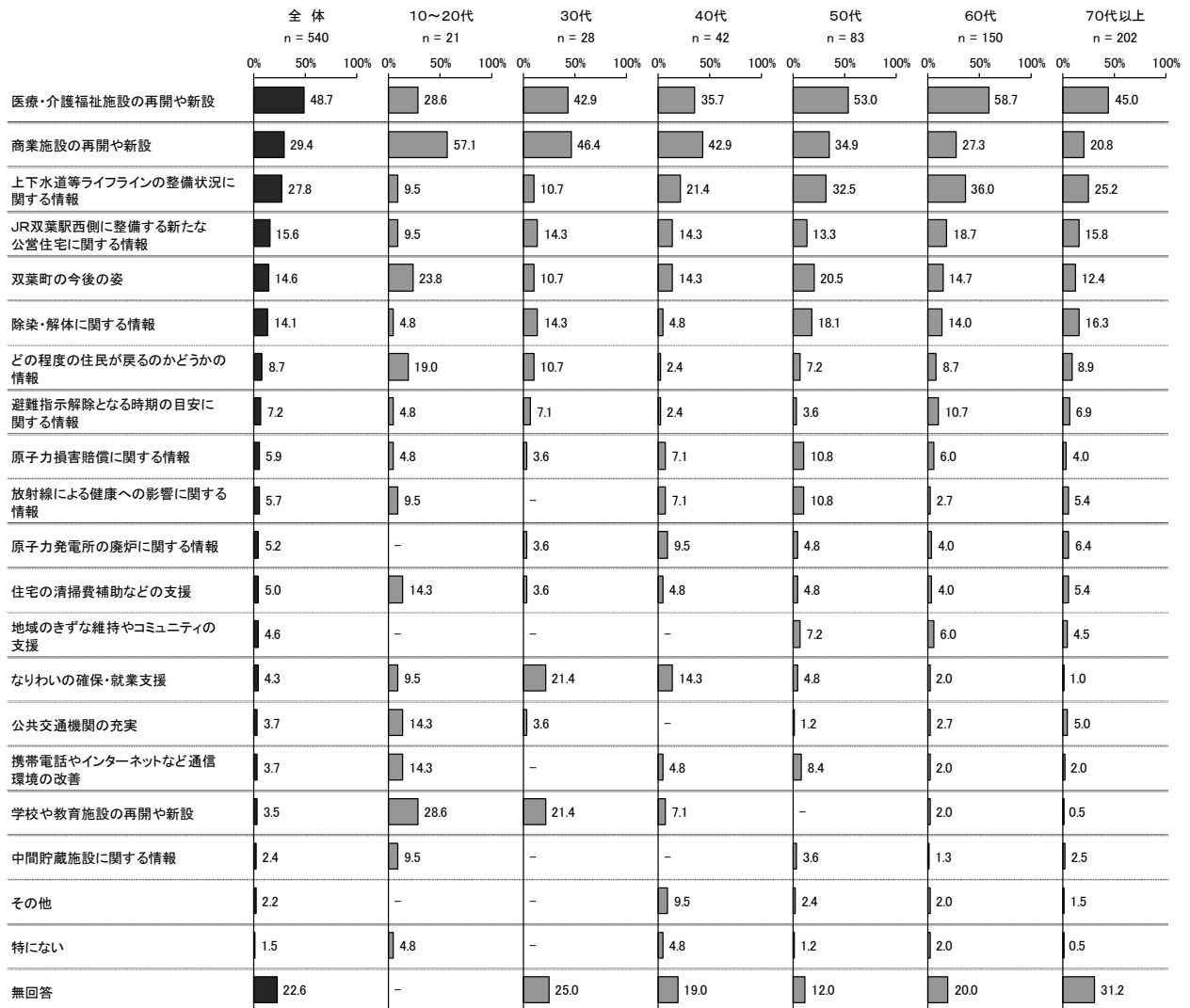


3-4-5 双葉町への帰還を判断するために必要なこと

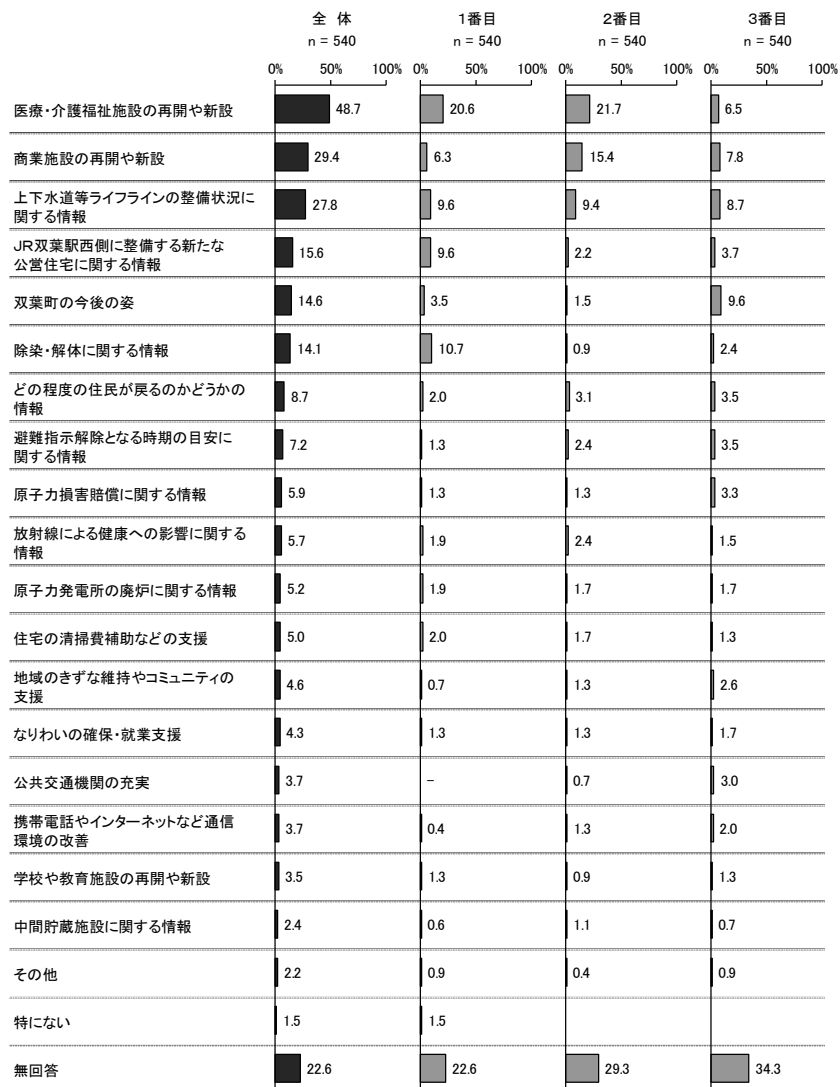
【問10で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問12-1 双葉町へ帰還することを判断するためにどのような支援や情報が必要と考えますか。重視したいものから順に選択肢番号欄に3つまで選び、具体的な内容欄に必要と考える支援や情報内容をご記入ください。

<図表3-4-5-1 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（年齢別）>



＜図表3-4-5-2 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（優先順位別）＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【医療・介護福祉施設の再開や新設】

- ・ 遠くの病院に行かなくてもすむ、様々な診療が可能な病院の新設。（10～20代）
- ・ 双葉厚生病院の再開。（30代）
- ・ 小児科の再開。（40代）
- ・ 医療介護福祉施設の再開や新設。（70代以上）

【商業施設の再開や新設】

- ・ 今便利な所に住んでしまっているので、どのくらいお店が出来るのか。（10～20代）
- ・ スーパー、コンビニ等の開業。（30代）
- ・ 新たな商業施設のオープン。（40代）
- ・ 食料品や日用雑貨、ホームセンターなど。（60代）

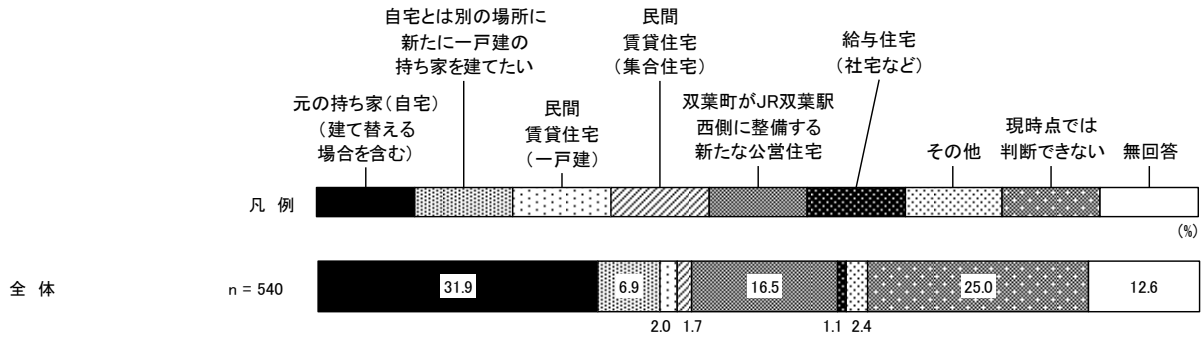
【上下水道等ライフラインの整備状況に関する情報】

- ・ 水道や電気、ガスなどのライフラインの整備。（10～20代）
- ・ 上下水道の復旧時期。（50代）
- ・ 安心・安全で使用できる生活用水（飲料水も）。（60代）

3-4-6 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態

【問10で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にかがいます。】
 問12-2 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。（〇は1つ）

<図表3-4-6 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態>



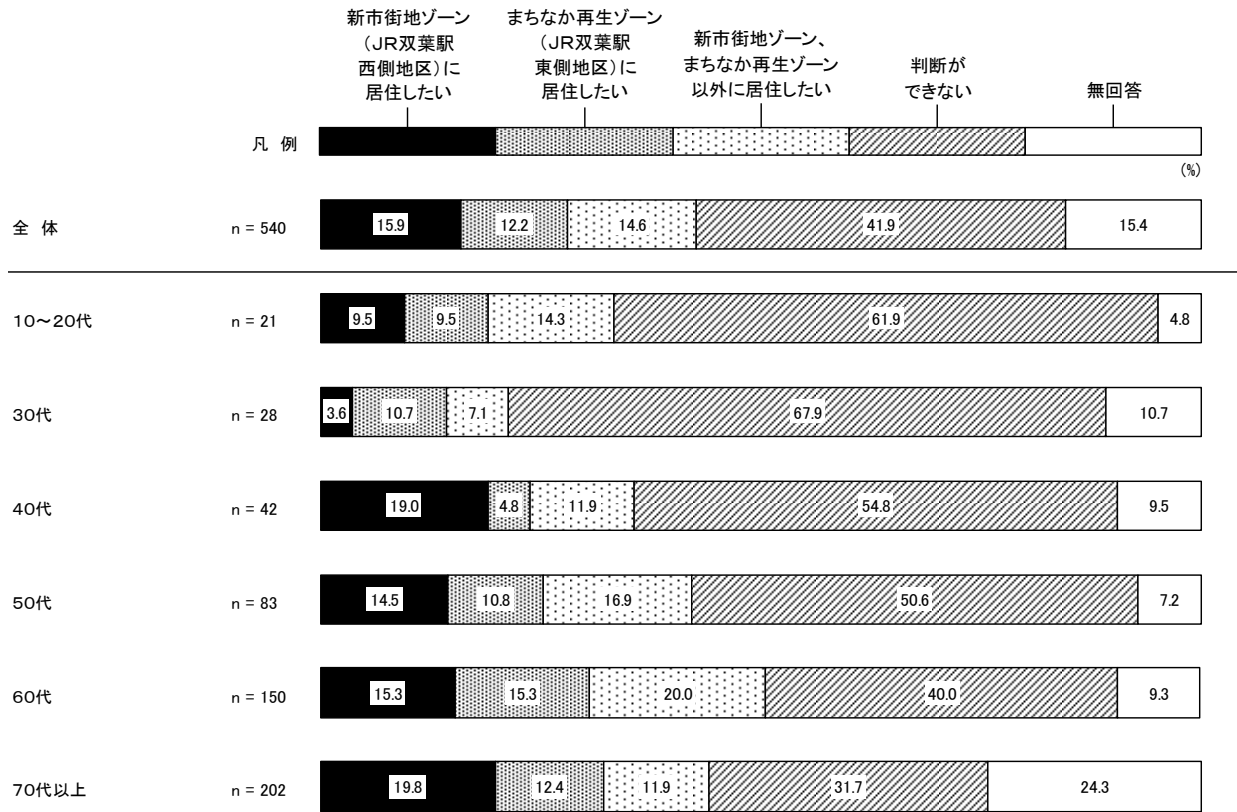
〔その他の内訳〕

自宅とは別の場所に集合住宅を購入したい	0.4%
家族のどなたかのお住まい・実家	0.7%
親戚・知人宅	-
その他	1.3%

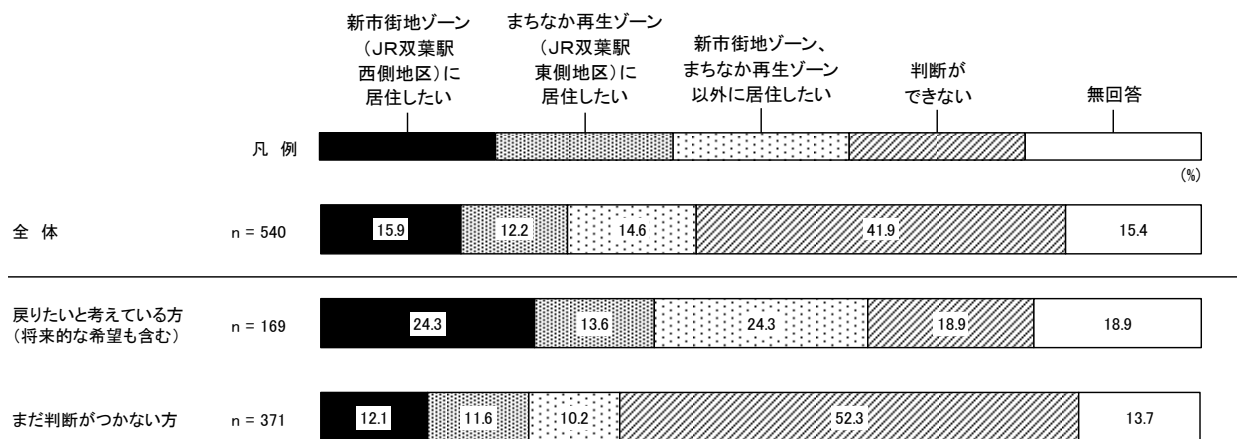
3-4-7 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向

【問10で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にかがいます。】
 問12-3 現在、JR双葉駅西側において、令和4年春頃の解除目標に向けた新たなまちづくりを進めている（新市街地ゾーン（JR双葉駅西側地区））ほか、従来の中心市街地も「まちなか再生ゾーン（JR双葉駅東側地区）」と位置づけ、賑わいの再生を図っていくことを目標としています。「新市街地ゾーン（JR双葉駅西側地区）」や「まちなか再生ゾーン（JR双葉駅東側地区）」への居住に関する意向について、もっとも近いものはどれですか。（〇は1つ）

<図表3-4-7-1 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向（年齢別）>



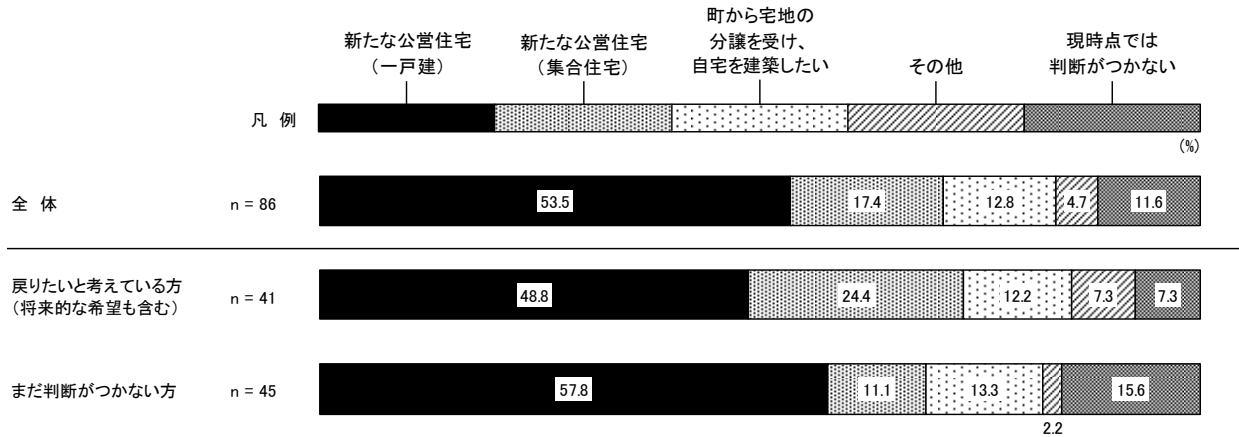
<図表3-4-7-2 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向（帰還意向別）>



3-4-8 JR双葉駅の西側に住宅地が整備された場合に希望する住居形態

【問12-3で「1. 新市街地ゾーン（JR双葉駅西側地区）に住居したい」と回答した方にうかがいます。
 問12-4 町により、JR双葉駅の西側に住宅地が整備された場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。（〇は1つ）

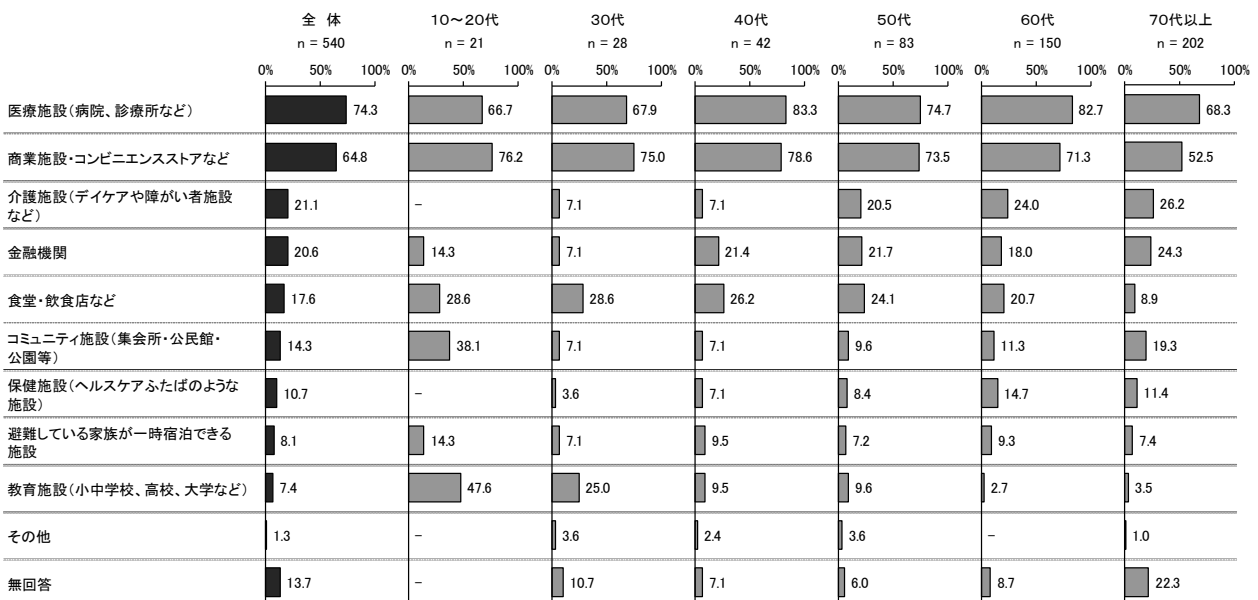
＜図表3-4-8 JR双葉駅の西側に住宅地が整備された場合に希望する住居形態（帰還意向別）＞



3-4-9 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設

【問10で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。
 問12-5 「新市街地ゾーン（JR双葉駅西側地区）」及び「まちなか再生ゾーン（JR双葉駅東側地区）」に、特に必要と考える、生活関連施設を教えてください。（〇は3つまで）

＜図表3-4-9 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設（年齢別）＞

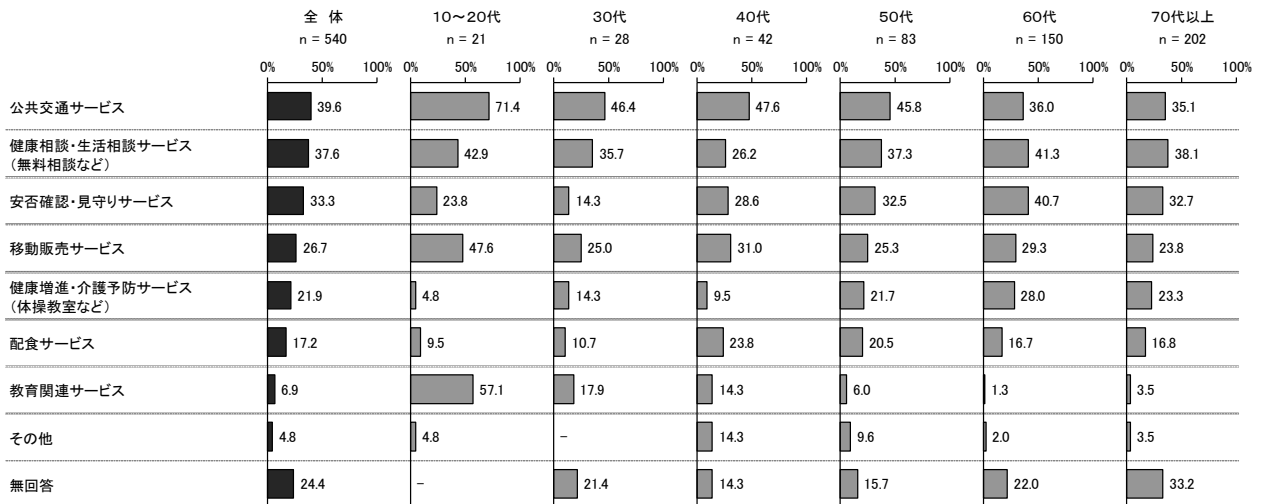


3-4-10 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス

【問10で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にかがいます。】

問12-6 「新市街地ゾーン（JR双葉駅西側地区）」及び「まちなか再生ゾーン（JR双葉駅東側地区）」に、特に必要と考える、生活関連サービスを教えてください。（〇は3つまで）

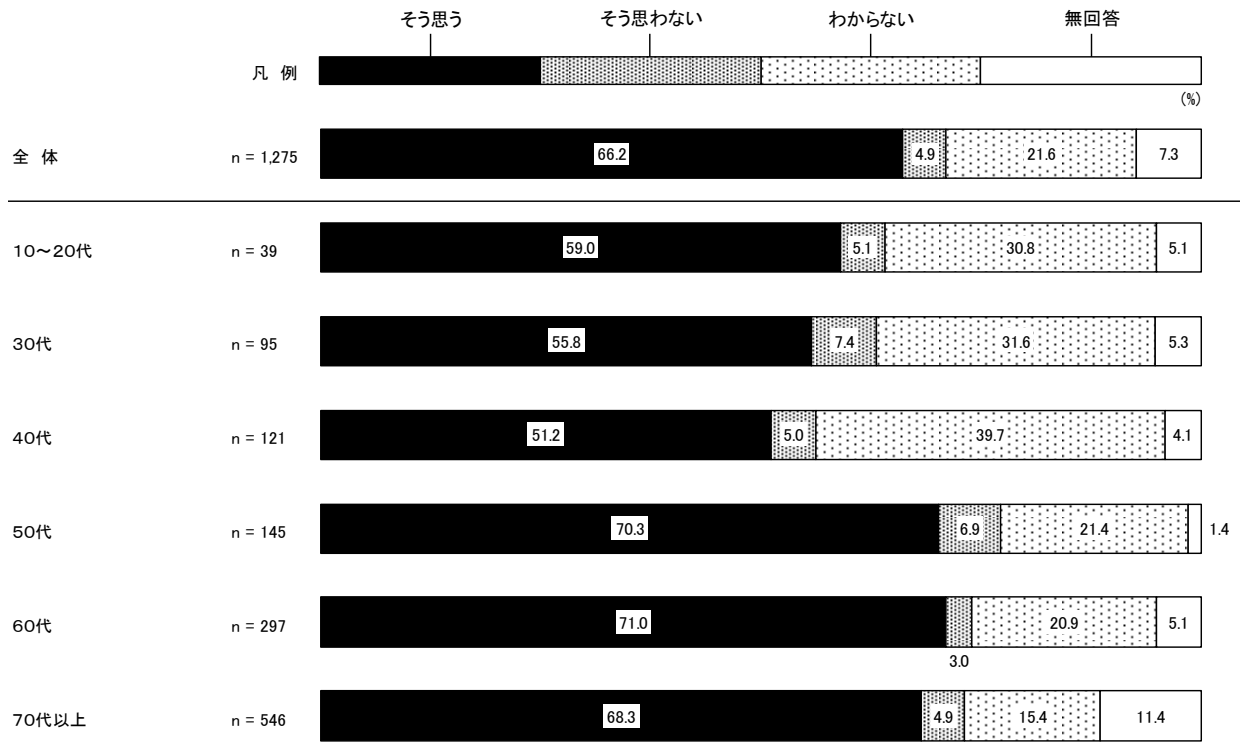
<図表3-4-10 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス（年齢別）>



3-4-11 双葉町との「つながり」を保ちたいか

【問10で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にかがいます。】
 問13-1 双葉町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(〇は1つ)

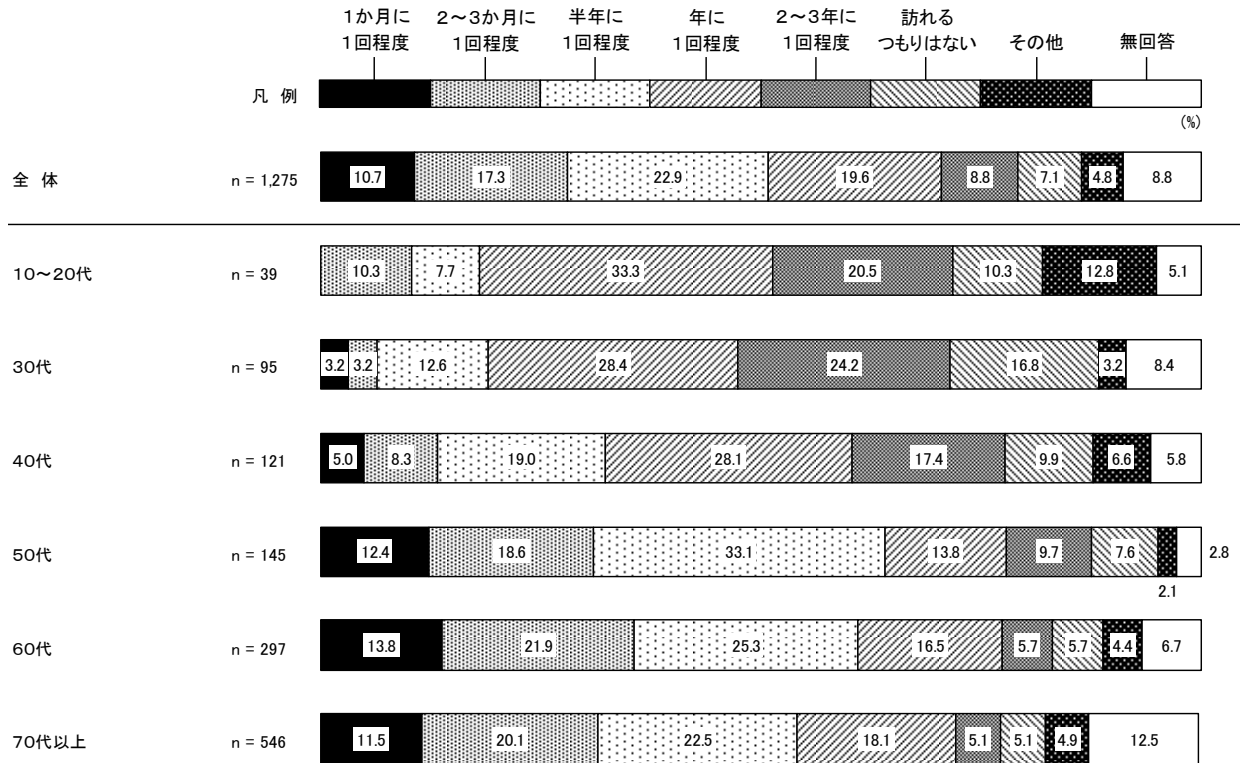
<図表3-4-14 双葉町との「つながり」を保ちたいか（年齢別）>



3-4-12 双葉町を訪れたい頻度

【問10で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。
 問13-2 双葉町をどのくらいの頻度で訪れたいと思いますか。（〇は1つ）

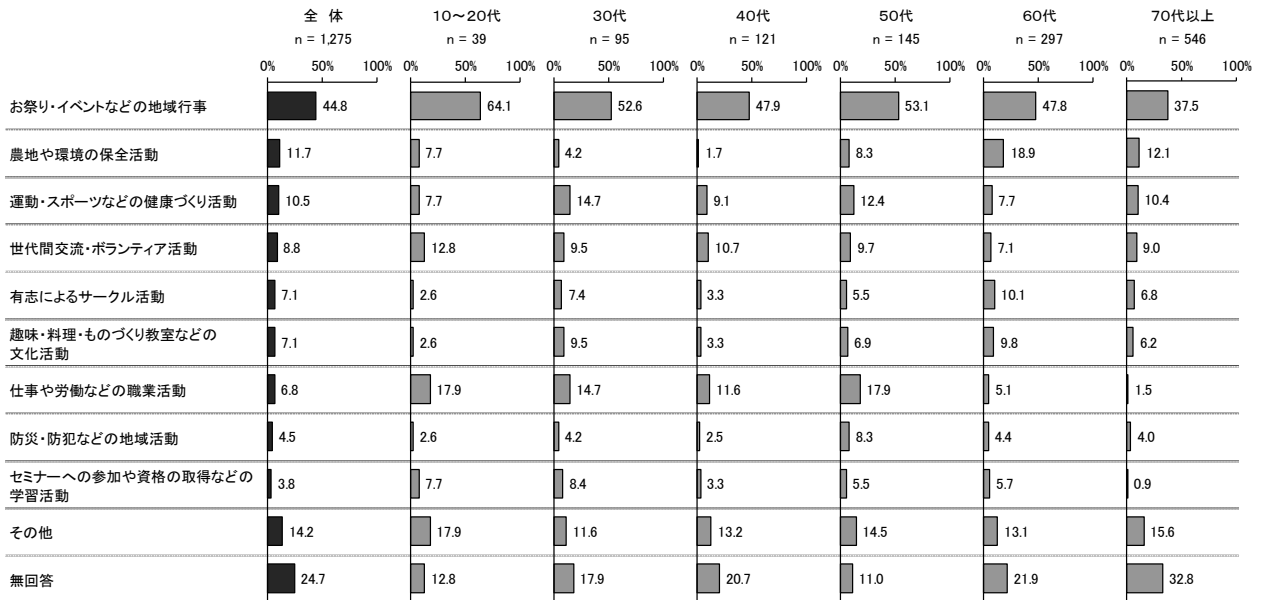
<図表3-4-12 双葉町を訪れたい頻度（年齢別）>



3-4-13 双葉町を訪れたくなる取り組み・行事・イベント

【問10で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にかがいます。】
 問13-3 どのような取り組みや行事、イベントなどがあれば、双葉町を訪れたいと思いますか。
 (〇はいくつでも)

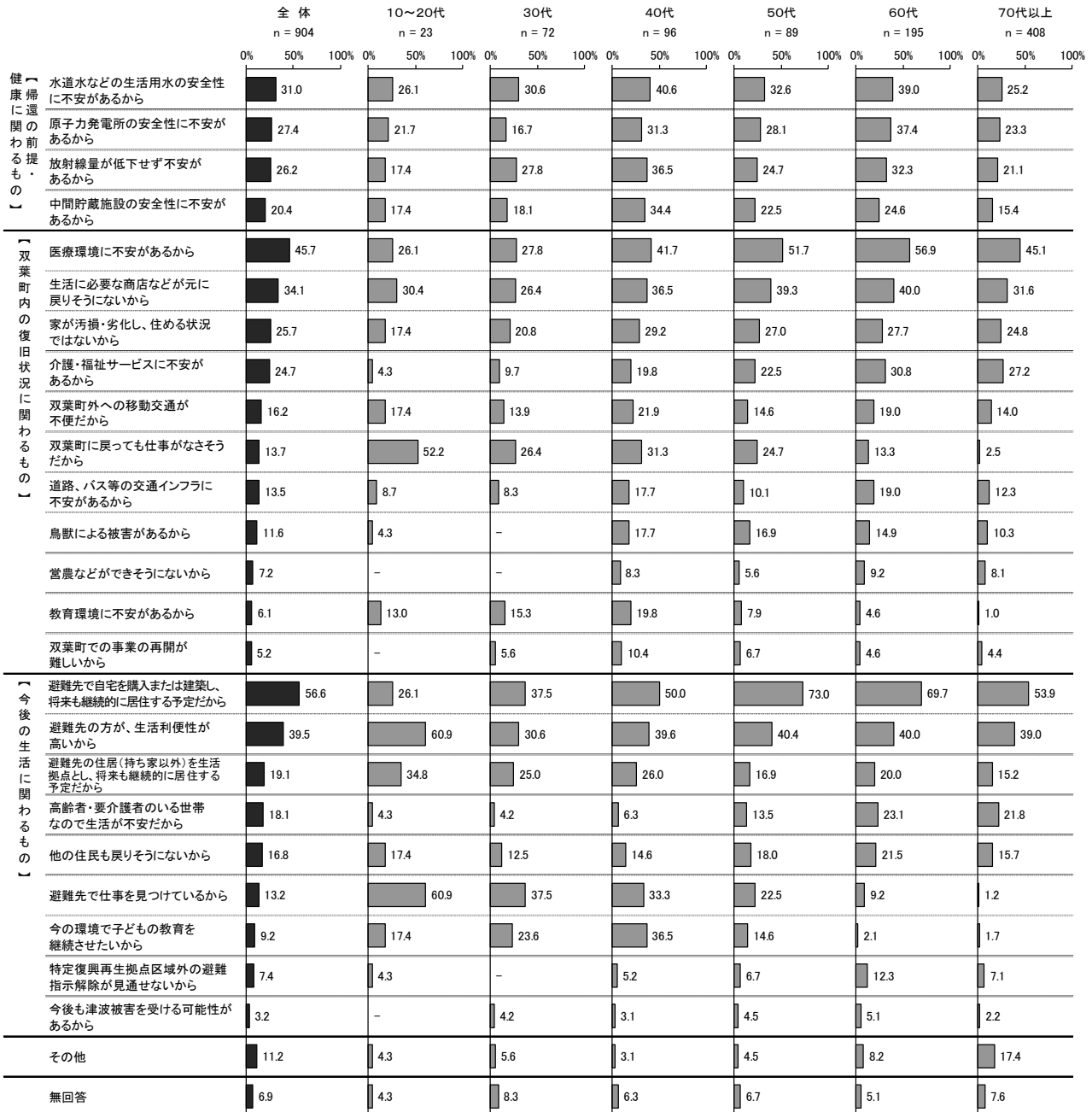
<図表3-4-13 双葉町を訪れたくなる取り組み・行事・イベント（年齢別）>



3-4-14 双葉町に戻らないと決めている理由

【問10で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問14-1 現時点で戻らないと決めている理由はどのようなことですか。（〇はいくつでも）

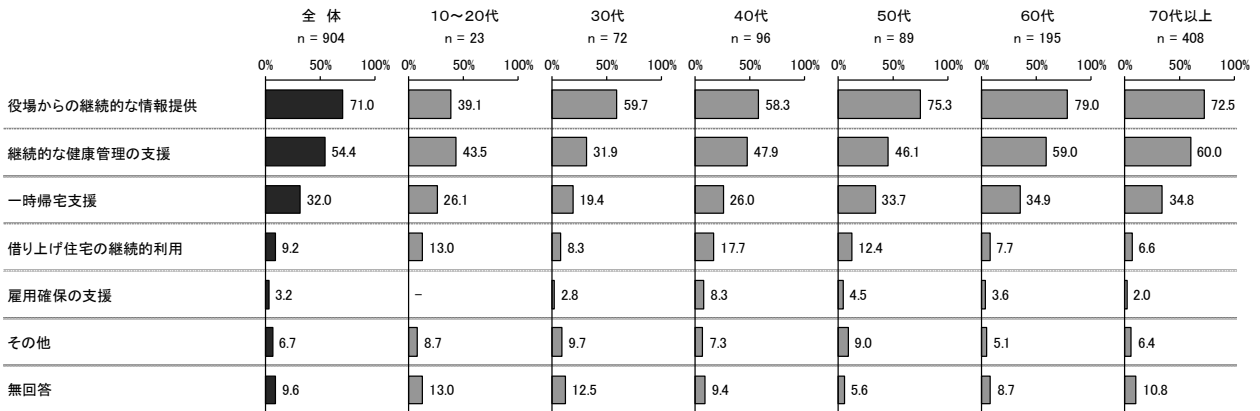
<図表3-4-14 双葉町に戻らないと決めている理由（年齢別）>



3-4-15 双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援

問10で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。
 問14-2 帰還しない場合に、今後の生活においてどのような支援を求めますか。（〇はいくつでも）

<図表3-4-15 双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援（年齢別）>



3-5 双葉町内での事業の実施

3-5-1 震災発生当時の双葉町内での事業

問15-1 あなたは震災発生当時、双葉町内で事業（*問15-2で挙げられているような事業など）を営んでいましたか。（〇は1つ）

*問15-2 : 1. 農・林・漁・畜産業 2. 建設業 3. 製造業
 4. 運輸業 5. 卸・小売・飲食、サービス業 6. 金融・保険業
 7. 医療・福祉 8. 教育 9. その他

<図表3-5-1 震災発生当時の双葉町内での事業>

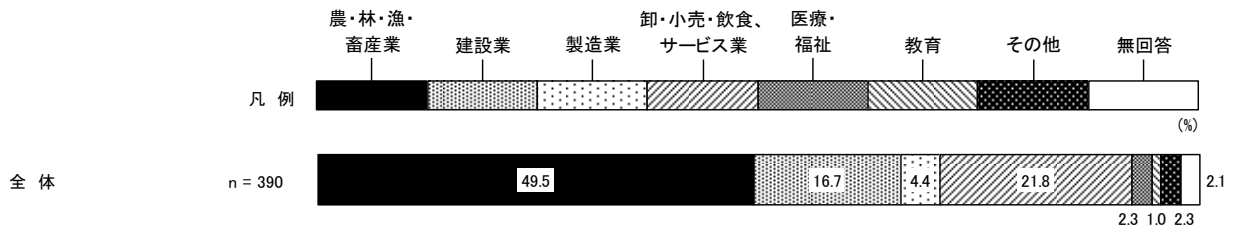


3-5-2 営んでいた事業の業種

【問15-1で「1. 営んでいた」と回答した方にうかがいます。】

問15-2 双葉町内で営んでいた事業の業種を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-5-2 営んでいた事業の業種>



〔その他の内訳〕

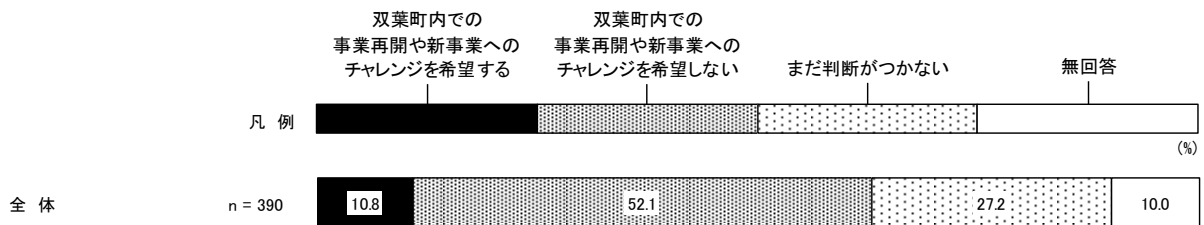
運輸業	0.5%
金融・保険業	0.3%
その他	1.5%

3-5-3 避難指示解除後の事業再開や新事業へのチャレンジの意向

【問15-1で「1. 営んでいた」と回答した方にうかがいます。】

問15-3 今後、特定再生復興拠点区域の避難指示が解除された場合の双葉町内での事業再開や、新事業へのチャレンジについて、どのようにお考えですか。（〇は1つ）

<図表3-5-3 避難指示解除後の事業再開や新事業へのチャレンジの意向>

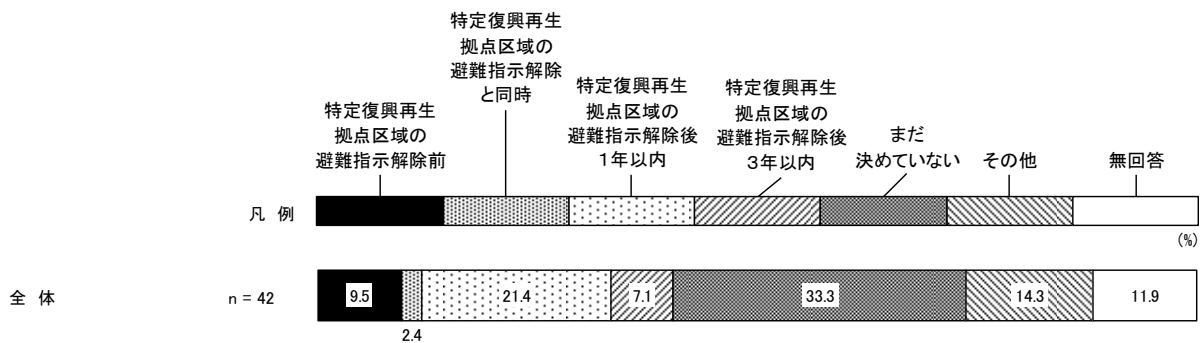


3-5-4 双葉町内での事業再開の希望時期

【問15-3で「1. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する」と回答した方にうかがいます。】

問15-4 双葉町内で事業を再開する希望時期はいつですか。（〇は1つ）

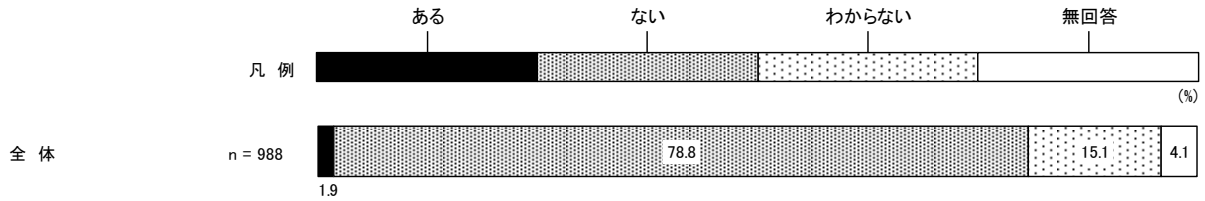
<図表3-5-4 双葉町内での事業再開の希望時期>



3-5-5 今後の新事業へのチャレンジの意向

【問15-1で「2. 営んでいない」と回答した方にかがいます。】
 問15-5 今後、双葉町内で新たな事業へのチャレンジに取り組まれる希望はありますか。（〇は1つ）

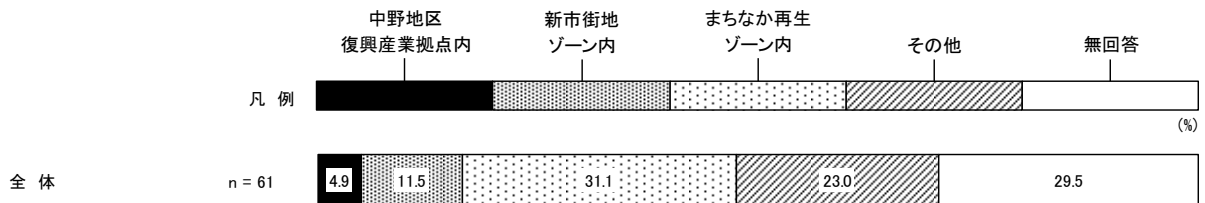
<図表3-5-5 今後の新事業へのチャレンジの意向>



3-5-6 事業再開や新事業へのチャレンジを実施する場所

【問15-3で「1. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する」と回答した方、もしくは問15-5で「1. ある」と回答した方にかがいます。】
 問15-6 双葉町内で事業再開または新たな事業にチャレンジをするにあたり、どの場所での事業実施を希望しますか。（〇は1つ）

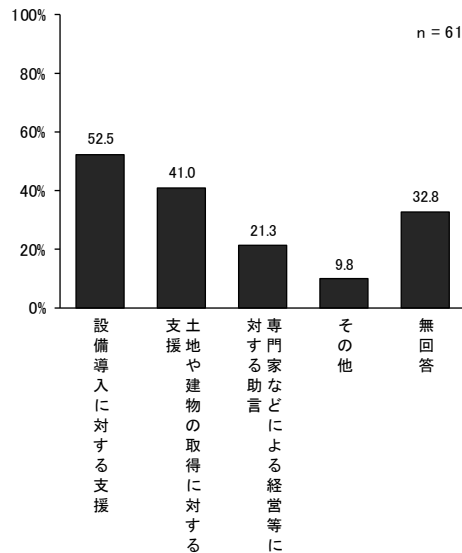
<図表3-5-6 事業再開や新事業へのチャレンジを実施する場所>



3-5-7 事業再開や新事業へのチャレンジにおいて必要な支援

【問15-3で「1. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する」と回答した方もしくは問15-5で「1. ある」と回答した方にかかいます。】
 問15-7 双葉町内で事業再開または新たな事業にチャレンジをするにあたり、どのような支援を求めますか。
 （〇はいくつでも）

<図表3-5-7 事業再開や新事業へのチャレンジにおいて必要な支援>



3-5-8 事業再開にあたっての町への要望

【問15-3で「1. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する」と回答した方もしくは問15-5で「1. ある」と回答した方にかかいます。】
 問15-8 その他に双葉町内で事業を再開するにあたり、町に求めることなどがあればご自由にお書きください。

主な意見は以下のとおり。

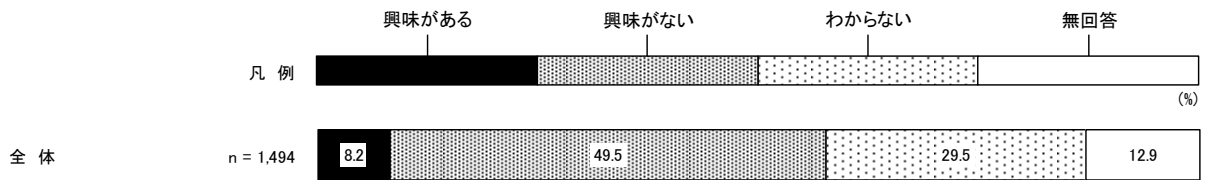
- 今水道業の仕事をしており、双葉町のインフラがわからないので、水道の仕事などあれば仕事がしたいです。（10～20代）
- 塗装業をやっているので、塗装で一般の住宅等の塗装のお手伝いが出来れば良いなと思います。（30代）
- 事業を始めるにあたって、人口数が少なく収入が見込めないの、人口回復までの間、家賃等の資金面でのサポートがほしい（飲食・サービス業など）。（40代）
- 中野地区復興産業拠点と同等の、町内での事業再開及び新事業への補助金、助成金の拡充。（50代）
- 旧耕作地に果樹や有用樹を植える予定。適性果樹や有用樹で、当地に適するものに関する情報や、技術指導を求めたい（桐などの植樹は可能か）。（70代以上）

3-6 双葉町内での就業意向

3-6-1 双葉町内での就業意向

問16-1 中野地区復興産業拠点において、地元を含む多くの企業の立地が決定し、すでに操業している企業もあります。また、双葉町産業交流センターには貸事務所もあり、多くの企業が入居しています。このように、双葉町内で働く環境が整ってきておりますが、今後、双葉町内で働くことに興味はありますか。（〇は1つ）

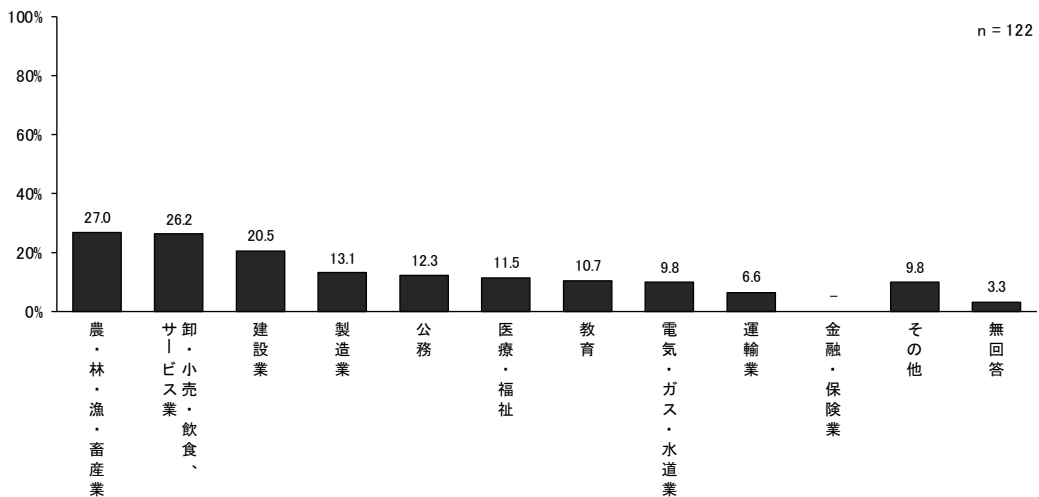
<図表3-6-1 双葉町内での就業意向>



3-6-2 就業を希望する業種

【問16-1で「1. 興味がある」と回答した方にうかがいます。】
 問16-2 希望する業種は何ですか。（〇はいくつでも）

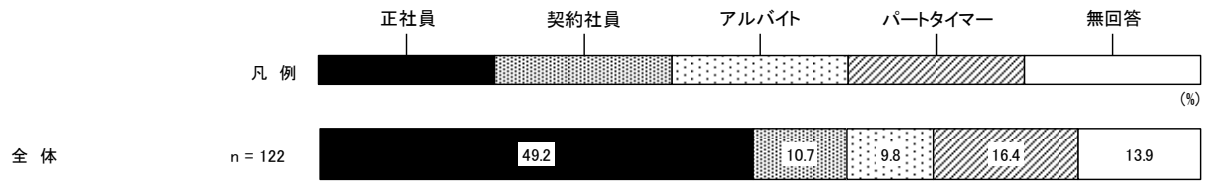
<図表3-6-2 就業を希望する業種>



3-6-3 就業を希望する雇用形態

【問16-1で「1. 興味がある」と回答した方にうかがいます。
 問16-3 希望する雇用形態は何ですか。（〇は1つ）

<図表3-6-3 就業を希望する雇用形態>

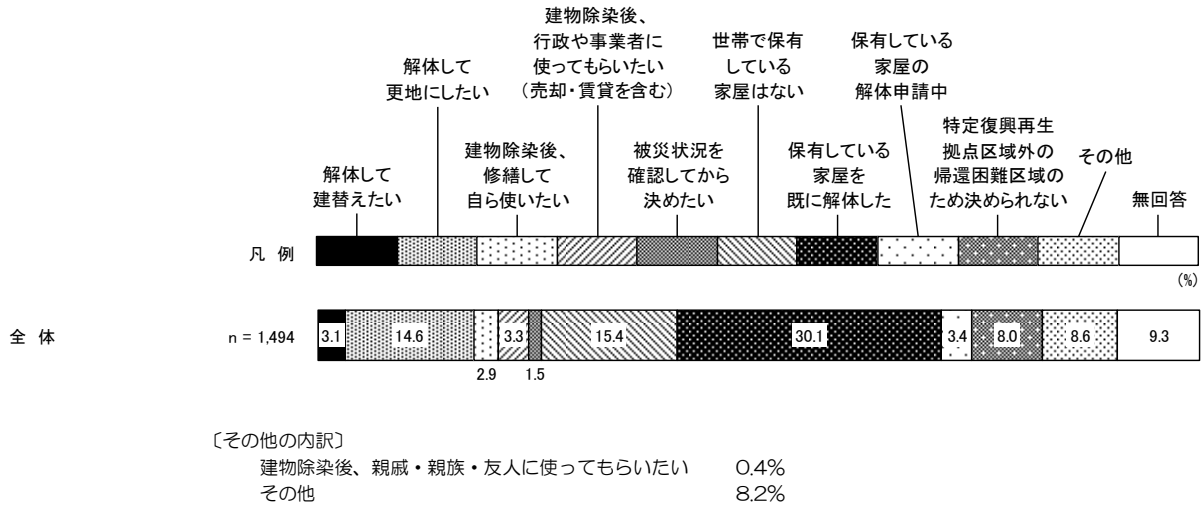


3-7 不動産の取り扱い

3-7-1 双葉町内に保有する家屋の利用意向

問17 町内に保有している家屋の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（〇は1つ）

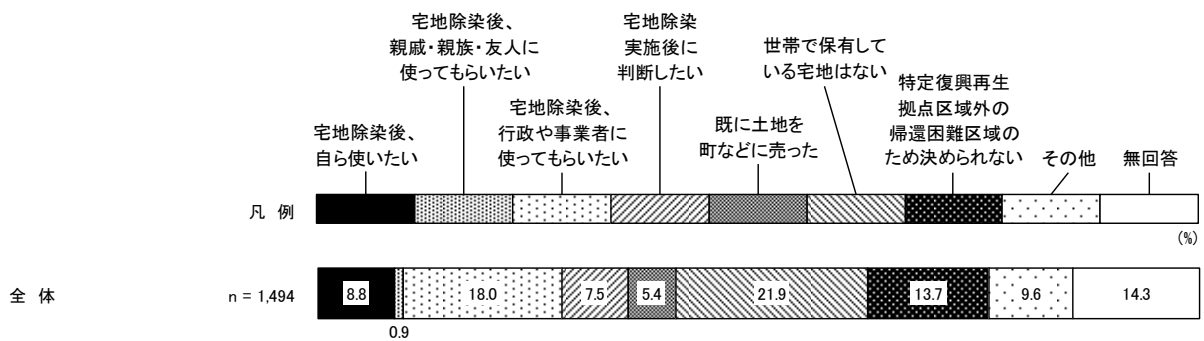
<図表3-7-1 双葉町内に保有する家屋の利用意向>



3-7-2 双葉町内に保有する宅地の利用意向

問18 町内に保有している宅地の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（〇は1つ）

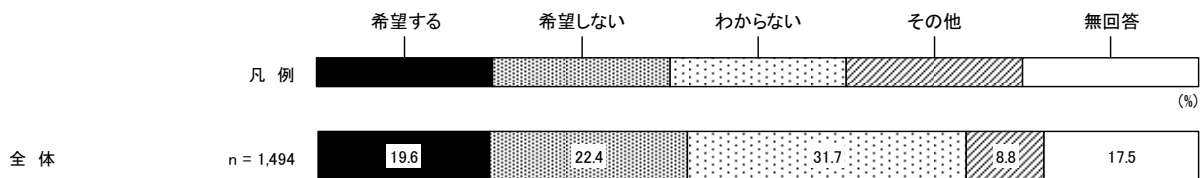
<図表3-7-2 双葉町内に保有する宅地の利用意向>



3-7-3 「空地・空き家バンク」の登録意向

問19 町内に保有している宅地・家屋の利用意向についてうかがいます。
 町では現在、双葉町での生活再建に向けて空き地・空き家を有効活用するため、不動産を貸したい方・売りたい方に物件情報を登録いただき、空き地・空き家の情報を紹介する「空き地・空き家バンク」の運用を検討しています。
 今後、空き地・空き家バンクが出来たら、町内に保有している宅地・家屋の登録を希望しますか。（〇は1つ）

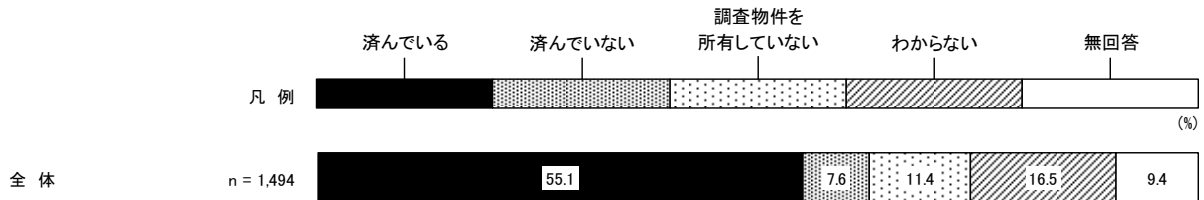
＜図表3-7-3 「空地・空き家バンク」の登録意向＞



3-7-4 双葉町が実施している被害状況の調査

問20-1 双葉町が実施している、ご自宅などの被害状況の調査はお済みですか。（〇は1つ）

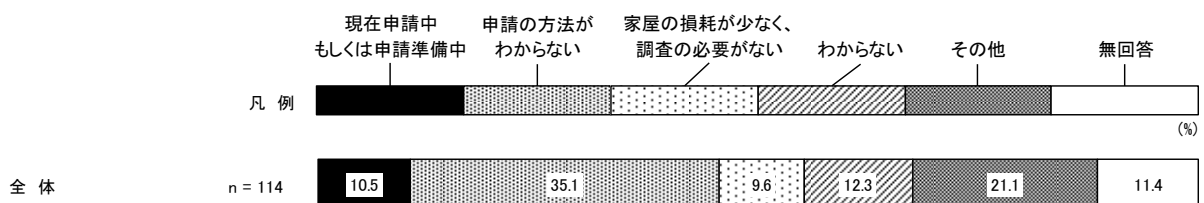
＜図表3-7-4 双葉町が実施している被害状況の調査＞



3-7-5 被害状況の調査が済んでいない理由

【問20-1で「2. 済んでいない」と回答した方にかがいます。】
 問20-2 ご自宅などの被害状況の調査がお済みでない理由を教えてください。（〇は1つ）

＜図表3-7-5 被害状況の調査が済んでいない理由＞

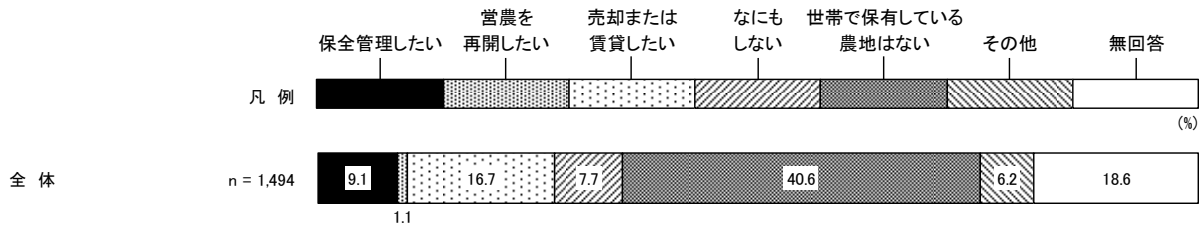


〔内訳〕
 建物の所有者等と連絡がつかない等の理由で申請できない -
 建物の所有者が調査に同意しない -

3-7-6 双葉町内に保有する農地の利用意向

問21-1 所有している農地を今後どのように利用されますか。現時点でのお考えをお聞かせください。（〇は1つ）

<図表3-7-6 双葉町内に保有する農地の利用意向>



3-7-7 農地保全を目的とする組合への加入意向

【問21-1で「1. 保安全管理したい」と回答した方にうかがいます。】
 問21-2 町では、両竹地区、上羽鳥地区、下羽鳥・長塚地区、三字地区、下長塚地区、中田地区において農地保安全管理組合を立ち上げ、除染後の農地の保全を行っています。今後、農地除染が進む地区においても組合等組織により保安全管理を行う予定です。このような組合への加入について、現時点でのお考えをお聞かせください。（〇は1つ）

<図表3-7-7 農地保全を目的とする組合への加入意向>

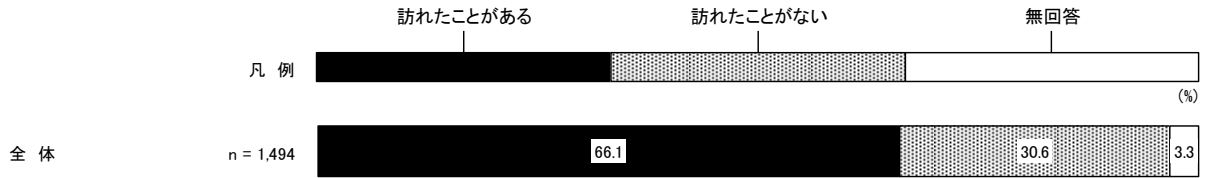


3-8 町の交通アクセスの向上・立入規制の緩和

3-8-1 双葉町内への訪問

問22-1 昨年3月以降に双葉町内に訪れたことはありますか。(〇は1つ)

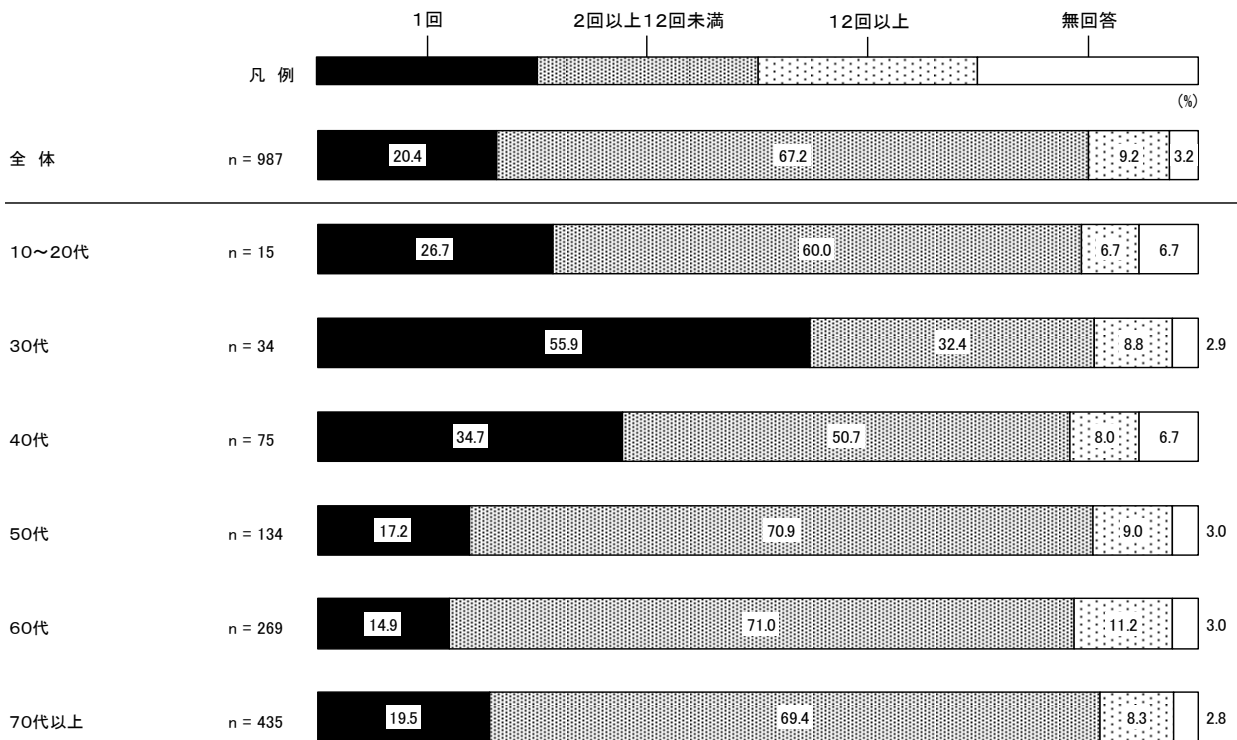
<図表3-8-1 双葉町内への訪問>



3-8-2 双葉町への訪問頻度

【問22-1で「1. 訪れたことがある」と回答した方にうかがいます。】
 問22-2 1年間で双葉町を訪れる頻度はどれくらいですか。(〇は1つ)

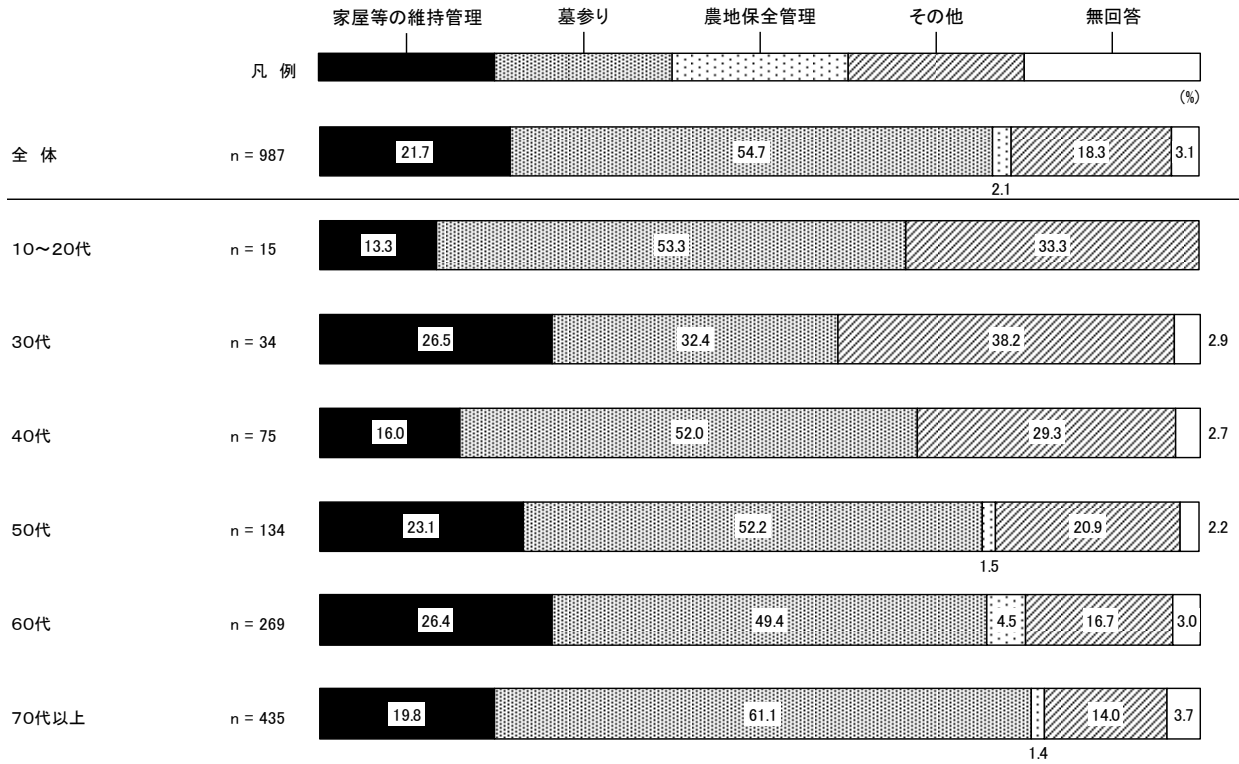
<図表3-8-2 双葉町内への訪問頻度（年齢別）>



3-8-3 双葉町を訪れる主な目的

【問22-1で「1. 訪れたことがある」と回答した方にうかがいます。】
 問22-3 双葉町を訪れる主な目的は何ですか。（〇は1つ）

<図表3-8-3 双葉町を訪れる主な目的（年齢別）>

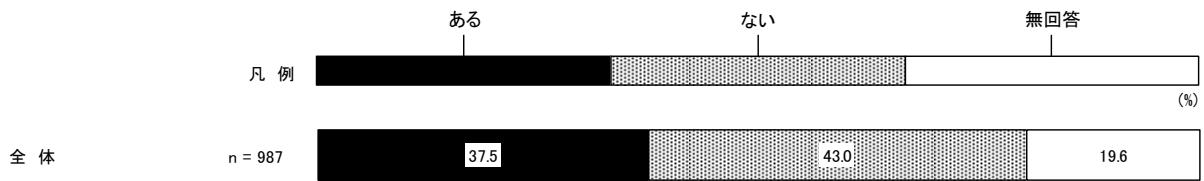


3-8-4 双葉町内を訪問して必要だと思ったもの

【問22-1で「1. 訪れたことがある」と回答した方にうかがいます。】

問22-4 実際に双葉町内を訪れて、必要だと思ったものはありますか。また、ある場合、それはどのようなもので、必要と思った理由は何ですか。（〇は1つ）

＜図表3-8-4 双葉町を訪問して必要だと思ったもの＞



双葉町内を訪れて必要だと思ったものについて、代表的なものは以下のとおり。

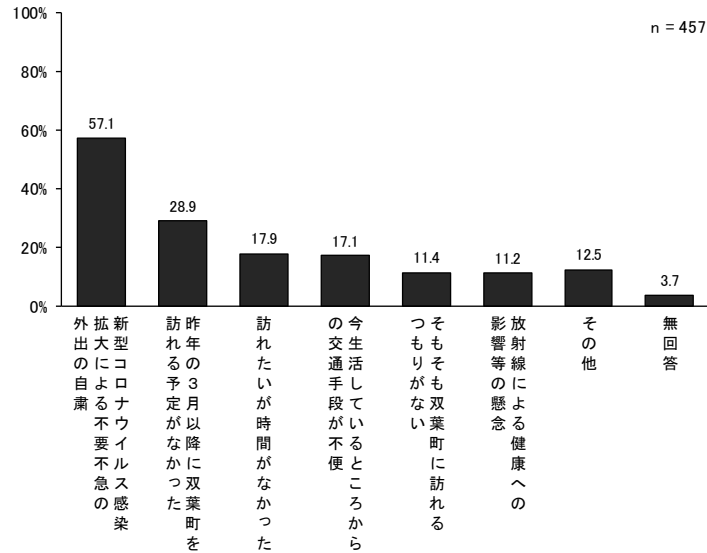
【双葉町内を訪れて必要だと思ったもの】

- ・コンビニエンスストア、自動販売機。(63件)
- ・電気、ガス、水道等のインフラ。(58件)
- ・トイレ。(50件)
- ・除染。(20件)
- ・飲食店。(18件)
- ・商業施設。(17件)
- ・休憩所。(16件)
- ・道路整備。(14件)
- ・家屋の手入れ、管理。(14件)
- ・墓所の手入れ。(14件)

3-8-5 双葉町内を訪問していない理由

【問22-1で「2. 訪れたことがない」と回答した方にかがいます。】
 問22-5 双葉町内を訪れたことがない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

<図表3-8-5 双葉町内を訪問していない理由>

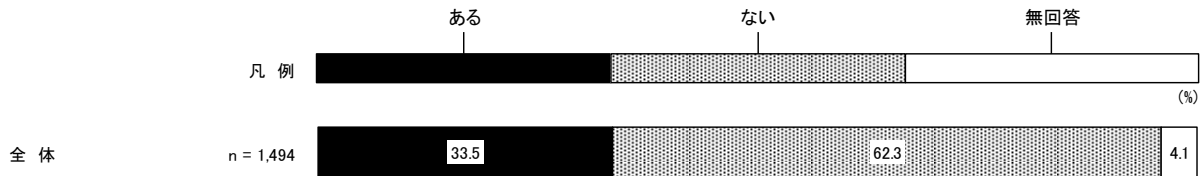


3-9 双葉町産業交流センター

3-9-1 双葉町産業交流センターへの訪問経験

問23-1 昨年10月に開所した双葉町産業交流センター内では、レストランやフードコートなどの食事をする場所があります。また、貸会議室もあり集会やイベントなども行うことが可能です。双葉町産業交流センターに訪れたことがありますか。（〇は1つ）

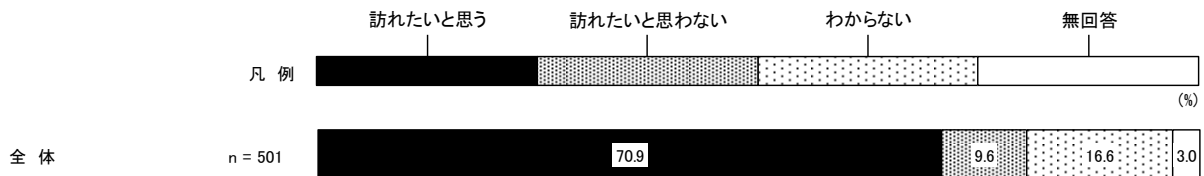
<図表3-9-1 双葉町産業交流センターへの訪問経験>



3-9-2 双葉町産業交流センターへの訪問意向〔訪問経験がある方〕

【問23-1で「1. あり」と回答した方にうかがいます。】
 問23-2 今後も双葉町産業交流センターに訪れたいと思いますか。（〇は1つ）

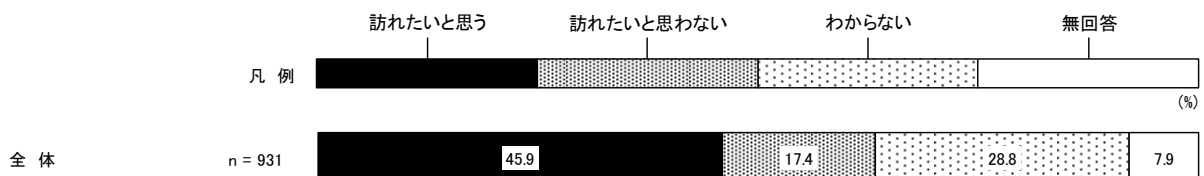
<図表3-9-2 双葉町産業交流センターへの訪問意向〔訪問経験がある方〕>



3-9-3 双葉町産業交流センターへの訪問意向〔訪問経験がない方〕

【問23-1で「2. ない」と回答した方にうかがいます。】
 問23-3 今後、双葉町産業交流センターに訪れてみたいですか。（〇は1つ）

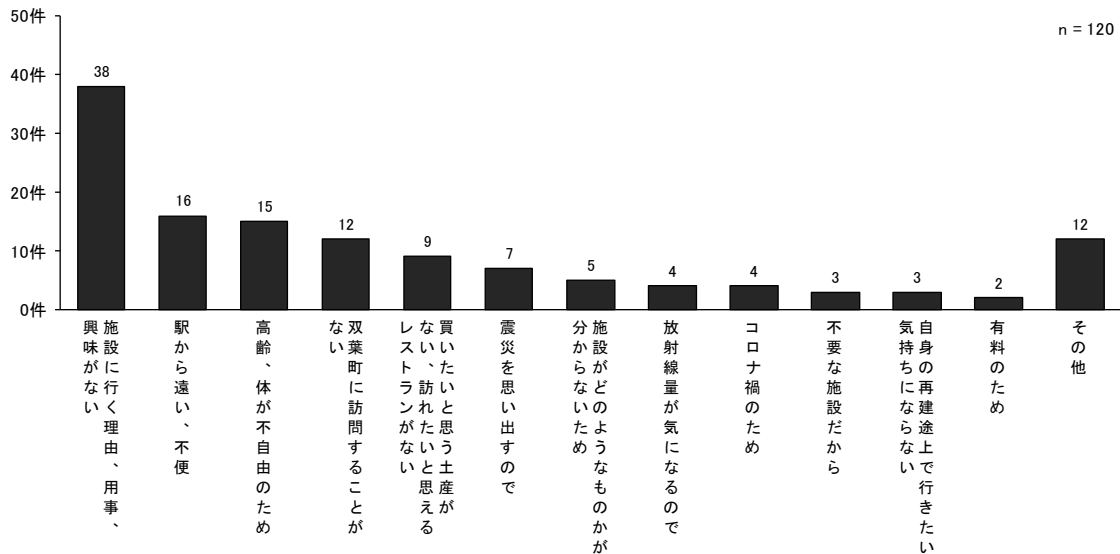
<図表3-9-3 双葉町産業交流センターへの訪問意向〔訪問経験がない方〕>



3-9-4 双葉町産業交流センターへ訪問したくない理由・改善点

【問23-2もしくは問23-3で「2. 訪れたいと思わない」と回答した方にうかがいます。】
 問23-4 双葉町産業交流センターに訪れたいと思わない理由、または改善すべき点をお書きください。

＜図表3-9-4 双葉町産業交流センターへ訪問したくない理由・改善点＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【施設に行く理由、用事、興味がない】

- ・行く目的がない。（30代）
- ・用がない。魅力もない。伝承館と連携すべき。（30代）
- ・あまり興味がない。（60代）

【駅から遠い、不便】

- ・自宅から遠く、必要としていない。（50代）
- ・家から遠いし、利用したいと思う店がない。（60代）
- ・駅から遠すぎる（JRで行くと、足がない）。（70代以上）

【高齢、体が不自由のため】

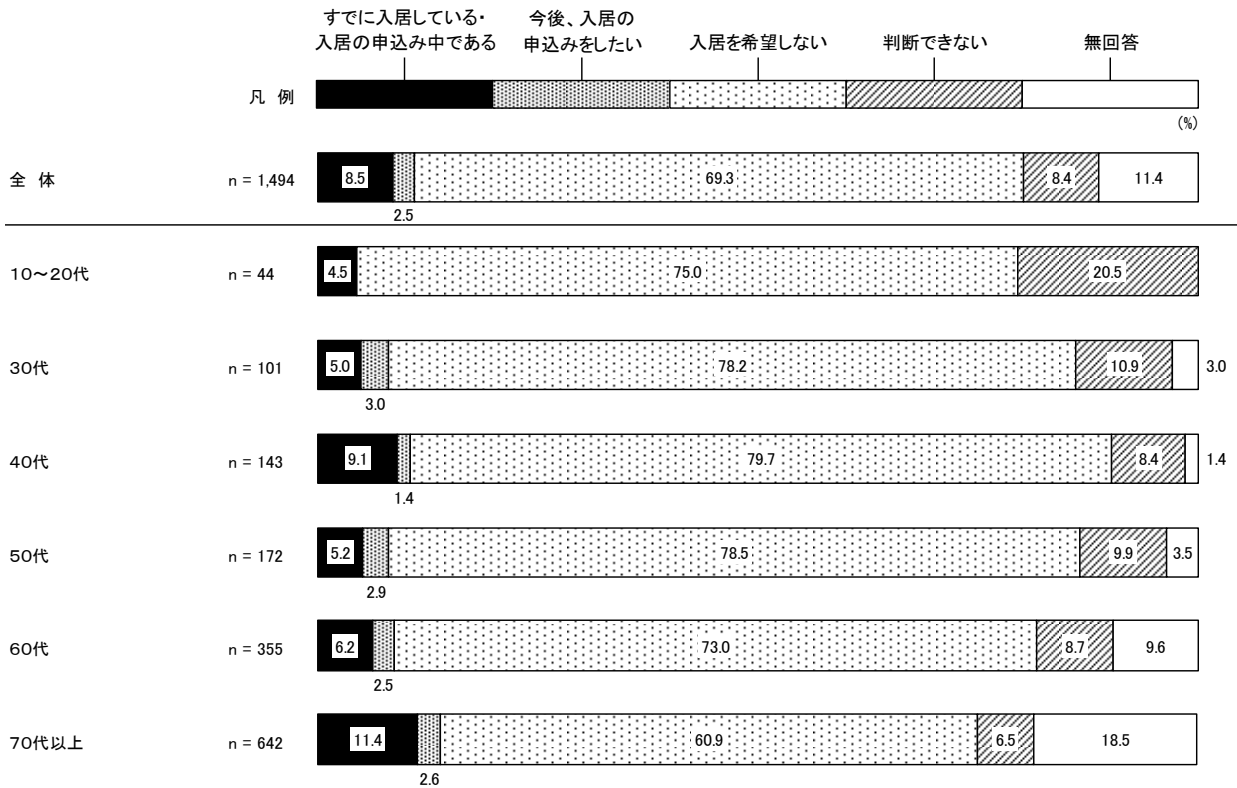
- ・身体が不自由で行くのが無理。（60代）
- ・高齢で、一度訪ねた際、風が強く歩く事が出来なかった。私には無理ですので、訪れたいとは思わないです。（70代以上）
- ・高齢で移動が困難。車に乗っているだけでも疲れてしまう。（70代以上）

3-10 復興公営住宅

3-10-1 福島県営の復興公営住宅への入居意向

問 24-1 福島県営の復興公営住宅への入居意向について教えてください（〇は1つ）

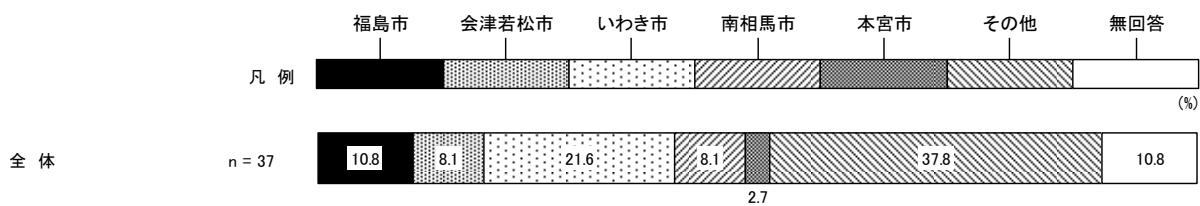
<図表3-10-1 福島県営の復興公営住宅への入居意向（年齢別）>



3-10-2 福島県営の復興公営住宅への入居を希望する市町村

【問24-1で「2. 今後、入居の申込みをしたい」と回答した方にうかがいます。】
問 24-2 入居を希望する市町村について教えてください。（〇は1つ）

<図表3-10-2 福島県営の復興公営住宅への入居を希望する市町村>



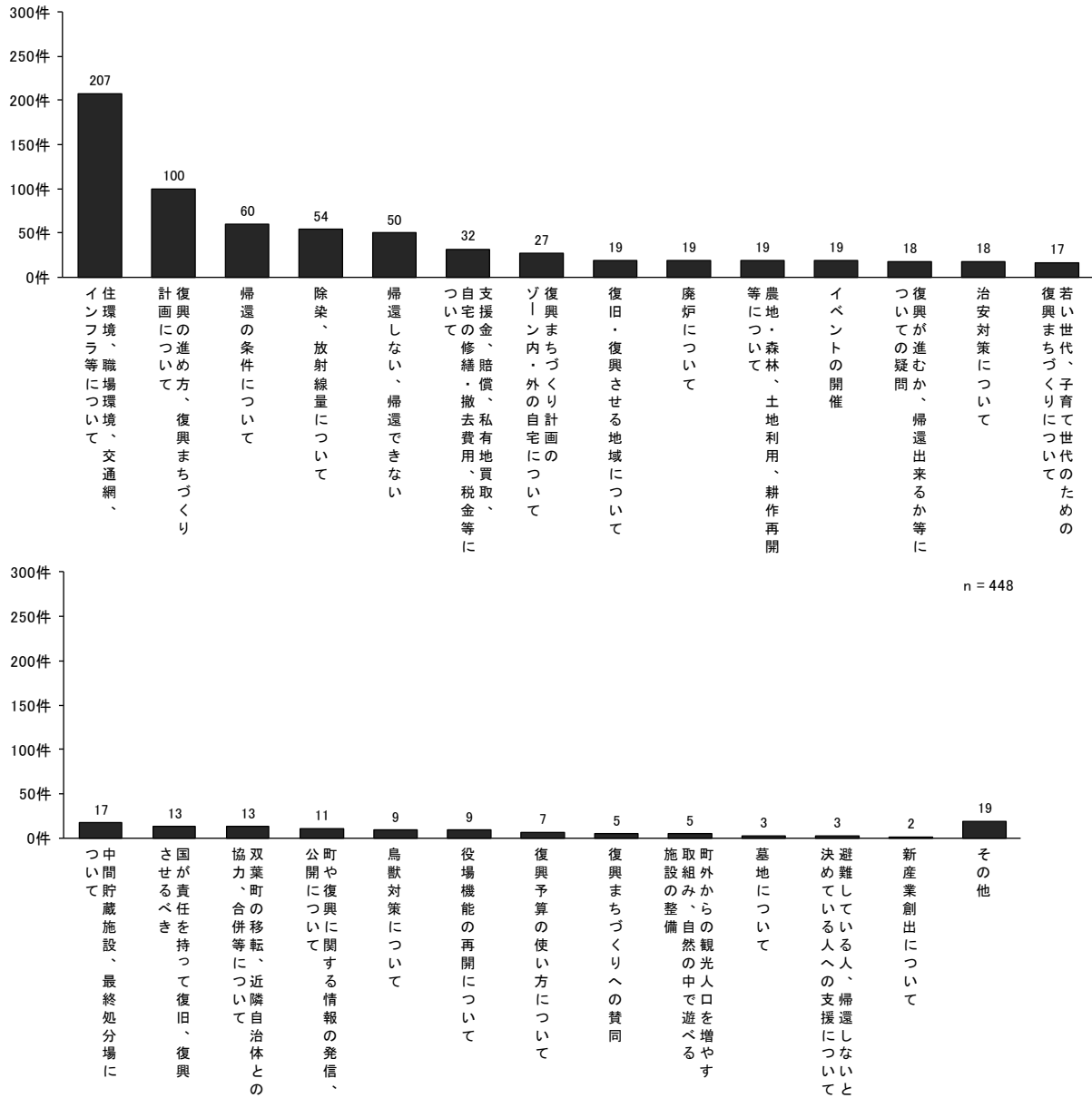
〔その他の内訳〕
郡山市 -
白河市 -
二本松市 -
田村市 -
その他 37.8%

3-11 意見・要望

3-11-1 双葉町の復興を進めていくにあたっての意見・要望

問25 今後、町が町内の復興を進めていくにあたり、帰還後に必要なもの、取り組んでほしいことなど、あなたのご意見・ご感想をご自由にお書きください。

＜図表3-11-1 双葉町の復興を進めていくにあたっての意見・要望＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

〔住環境、職場環境、交通網、インフラ等について〕

- 帰還時、自宅はしばらく使えない状態なので、一時的に住む場所が必要。ユーチューブにチャンネルがあるので、元住民以外にもPR出来ると、興味をもってもらえる機会が増える可能性があるのかなと思いました。（10～20代）
- 道路や交通整備やコンビニ、飲食店、医療の発展。若者や子供がいる家族が、復帰または移住するような取り組み、イベント、住宅の確保。（10～20代）
- 住居の確保について、双葉町に帰還を希望する人全員が帰還できる分の、住環境の確保を希望します。若年層が帰還したいと思わせるような、商業、娯楽、施設や学校、職場の確保。例えばショッピングモール、映画館、小中高一貫校、定年まで労働可能な職場を希望します。私は農業に興味があります。町の基幹産業である農業が、大きく復活してほしいと感じます。（30代）
- 生活インフラの回復を優先してほしい。住む所はできても、生活できないと意味がない。復興後、戻りたいと思う方は高齢者が多いと思うので、車ありきの町づくりはやめてほしい。免許を返納しても生活できるよう、公共機関にも力を入れてもらいたい。（40代）
- ダルマ市や町民大会など、元々あった行事を行ってほしい。雇用を生み出す商業施設、双葉町でしかできないような技術等があれば、帰りたい人が増えるのではないかと。（40代）
- 今後、避難住民は高齢化が進むと思います。時間を争う高度な医療が必要な場合、診療所レベルや離れた町にある病院では安心できません。今、便利な町に住んでいる高齢者が帰れない理由のひとつではないでしょうか。旧大野病院クラスの病院を作る必要はありません。医療ヘリポートを作ってもらえたらと思います。救急医療の判断のできる医者と、専用ヘリがあれば、大病院が地域にあるのと同じことだと思えます。私もこれがあれば帰れるのに…、と思っています。（50代）
- もし帰還しても、医療や福祉などの面が心配です。現在郡山市に住んでいるので、より実感すると思います。デイサービスなどもないと、高齢の方は不安ではないでしょうか。買い物は近隣の町に出かけるしかないと思いますが、車を持たない人たちのための、巡回バスなどもあればよいと思います。教育についても、整備しなくては若い世代は住めません。浪江創成小・中学校と合併するなどはいかがでしょう。（50代）
- 全ての町内居住者の移動手段の確保策として、コミュニティバス、デマンドタクシー等、公共交通機関の稼働を、避難指示解除と同時に始まるよう条件整備を進めてほしい。（60代）
- 第1に医療関係の整備（医院・病院施設の）。第2に福祉関係の整備（介護施設・特老施設の設置）。第3に商業施設の整備（食品、被服等販売施設の設置）。第4に教育施設（学校）の整備。（70代以上）

〔復興の進め方、復興まちづくり計画について〕

- 家屋を解体して更地にしましたが、その後の行政等の動きが見えてこなく、不安があります。計画や予定があれば、ロードマップを示して欲しい。（30代）
- 現在の状態からの復興はかなり難しいと考える。例えば国をあげての最新の情報ネットワーク整備（5Gとか、自動運転システム特区とか）など。特色ある地域にするのが、最終的な復興につながるのではないかと。（30代）
- 双葉町のシンボリックな物や町の景観等を崩さず、復興を進めていただきたい。（40代）
- 第1次産業を中心とした、人と自然が共生する町。何よりも、双葉町に住んでいた人にとっての双葉町。ゆったりした時間が流れる町。遠くに避難した人が、戻って来たいと思えるような町。人生の大切な時間を過ごしたいと思わせるような町。（50代）
- 町の復興を心より応援しています。復興後の双葉町の様子が、ガラリと変わってしまう！という淋しさなどもありますが、新しく生まれ変わる双葉町が楽しみです。少しでも以前の双葉町を想い出せる町になって欲しいです。（50代）
- 長い目で見て、廃炉後（廃炉中）の仕事場と土地活用方法（公園や〇〇記念センターはやめてほしい）。（50代）
- 持続可能なまちづくりが大切だと思う。帰還する方も移住する方も、生活しやすい町、協働の町づくり。地産地消のまちづくり。食・住・エネルギーなど助け合い精神の中で、投資、分配できる仕組みづくりをする。（60代）
- 町営住宅などを建てる際、入居希望者を抽選などにせず、希望があれば受け入れてほしい（年齢などで区別したりせず）。（60代）

III 調査結果（全項目）

- 子供が帰れない町は将来がない。まず子供が帰れる町づくりを優先する。子供が夢を持てる企業誘致。
（70代以上）
- 町に戻る前提で家も残しているのですが、隣近所は新天地に家を構えたので、戻らないと家も壊したのですが、我家の前方の田畑は除染の対象外とかで、除染していただけませんでした。戻らないと決めている方の周囲は除染して、戻る意志のあるものは除外とは変な話ではありませんか？政策に不公平があってはならないと思います。（70代以上）

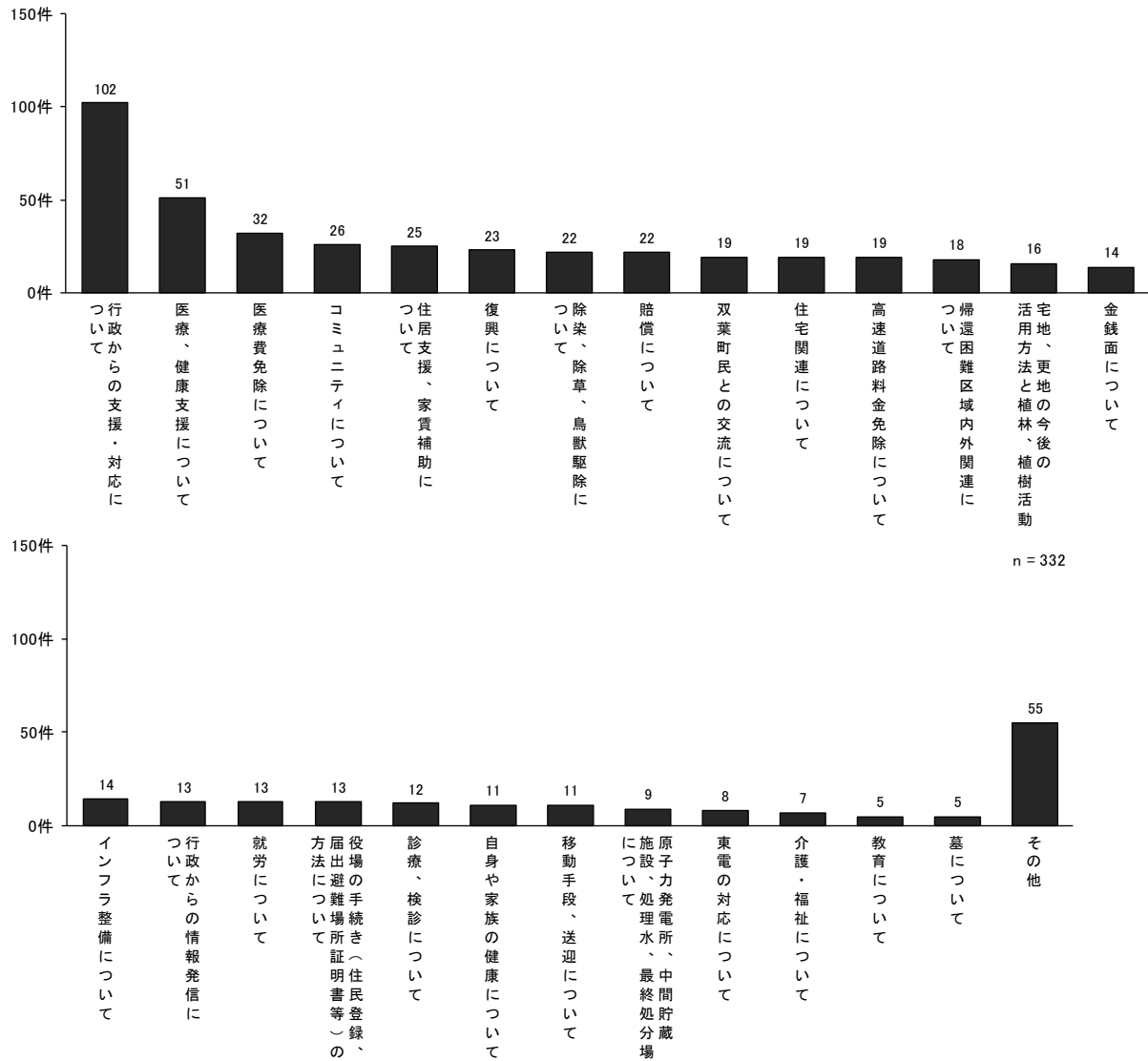
[帰還の条件について]

- 新市街地ゾーン（駅西）に出来る居住の間取りが、若者には向かない。普通に復興住宅の様な造りにしないのが疑問である。若者向けの普通のアパート、マンション、戸建て造りにしないのか？これでは、ファミリー層も嫌がる造りである。帰りたい若者も、これでは帰ってこないと考える。（40代）
- 10年間人が住めなくなった町が、元に戻ることはできません。復興というより、新生双葉町となる取り組みが必要だと思います。（60代）
- 寺松、渋川地区のライフラインは、本当に行なわれるのか気になるところです。いつ頃復旧になるのかはつきりすれば、具体的に進めていけると思っています。（60代）
- 今後、町民の帰還にあたり、復興を進めていくのに、町民が最低でも三割以上が戻らないと、先が見えてこないのかと思います。町の復興にしても、先が見えてこない様な気が致します。（70代以上）
- 他町村の復興内容では、帰還は難しい！双葉町は発想を大胆にし、全く新しい町を創造すべきです。
（70代以上）

3-11-2 避難期間中の生活で困っていること・改善を求めること

問26 避難期間中の生活において困っていることや、改善を求めること等があればお書きください（医療、教育、健康支援、就労、コミュニティなど）。また、その他にも国や福島県、双葉町への要望などをご自由にお書きください。

<図表3-11-2 避難期間中の生活で困っていること・改善を求めること>



III 調査結果（全項目）

上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政からの支援・対応について】

- 経済的な面で支援してもらえると、とても助かります。仮に双葉町に遊びに行くにも、何かとお金は必要となります。ですので、経済的支援を今後も継続していただけることを望みます。（10～20代）
- 国に対して不満や不信感が多い（現在のコロナ禍も影響）。医療面は社保に切り替わったが、放射線の影響が今後出た場合、どう対応してもらえるのか不安。（10～20代）
- 生活面で大事な支援を続けて行くことですね。借上げの継続を続ける事はもちろん、その他の支援もしっかりやることです。帰還困難者は色々と不便等がいまだにあると思いますので。国にはしっかりと捕償をやってほしいと思いますね。（30代）
- 住民票を残した人と移した人との税、サービス等の格差を無くしていただきたい。（40代）
- 子供の手当などについて、双葉町での手続き、避難先での手続きがあってややこしい。帰らないと決めているが、避難先への住所移転の時期を決めかねているので、今後そういう人はどうしたら良いのか？（40代）
- 山形県に避難しているが、コロナ禍において山形県民であれば受けられる優遇などがあるが、それを受けようとすると、色々説明が煩雑である（例えば住居証明や理由などの説明）。山形県民と同様に、容易にサービスが受けられるシステムを構築できないか？例えば「パス」を提示すれば、説明不要でサービスが受けられるようなものを、山形県のみではなく全都道府県を対象に。福島県内に避難の方は、盲点になっているはず。（50代）
- 双葉町民のコミュニティは避難先では大変重要で、特に帰還を考えていない町民にとって必要な場所になります。現在いわき市、郡山市、加須市に交流施設があり利用されています。浪江町では帰還宣言後も現在郡山市内にコスモス会の交流施設が在続されている事例がある。今後も交流施設を存続させてほしい。（60代）
- 原発の処理水の海洋放出は、地元の反対や不安を押し切る政治判断だ。国内外からも許されることではない。本当に唐突な政治判断で残念です。（風評被害）を適切に対応してほしい！（70代以上）
- 農業を再開するには、全地域の除染が必要。立ち入るたびに荒れ果てた様子を見ると心が折れてしまいます。原発事故の責任は国にあります。町や県は国に対してもっと毅然とした態度をとってほしい。（70代以上）

【医療、健康支援について】

- 医療補助。（10～20代）
- 子育ての支援、医療の充実性、雇用の確保。（30代）
- 転出後も子供医療を県民同様にさせていただけると嬉しいです（申請制にして）。（40代）
- 医療の支援を継続して頂きたい。両親の高齢化、今後の健康状態が避難先ですので心配です。（40代）
- 甲状腺の検査をしている場所が、会津地方にはありません。コロナ禍ということもあり、移動するのが怖い。ため、地方（浜通り、会津）ごとに、3つ位に分けて行けると望ましいと思っています。もしくは個人で選んで行ける様にして欲しいです。（50代）
- 定期健診等提示頂いた病院が遠方で、交通手段に時間もお金もかかるため、行っておりません。（50代）
- これからも医療・健康支援をしてほしい。サポート交付金ももらえてよかった。（60代）
- 老いていくばかりで医療費が心配、今のままで続く事を願います。病気の事が心配。（60代）
- コロナワクチン接種は、双葉町独自で実施してほしかった。（70代以上）
- 今後避難指示解除になることが国の施策により決定している現状で、避難中の地域での医療・介護等の個人負担などを継続して頂きたい。原発誘致地の住民だけが苦難にさいなまれないのか？国の責任に於いて救済を求める。（70代以上）

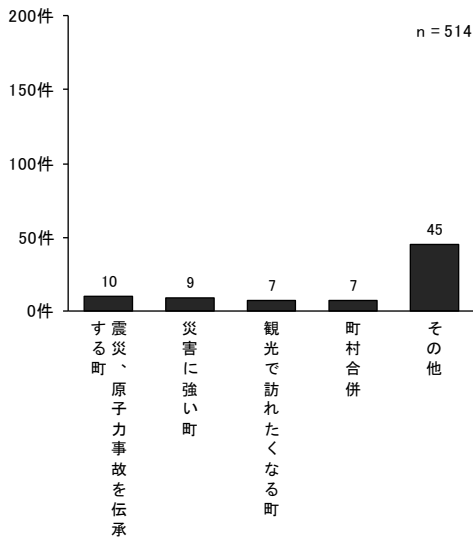
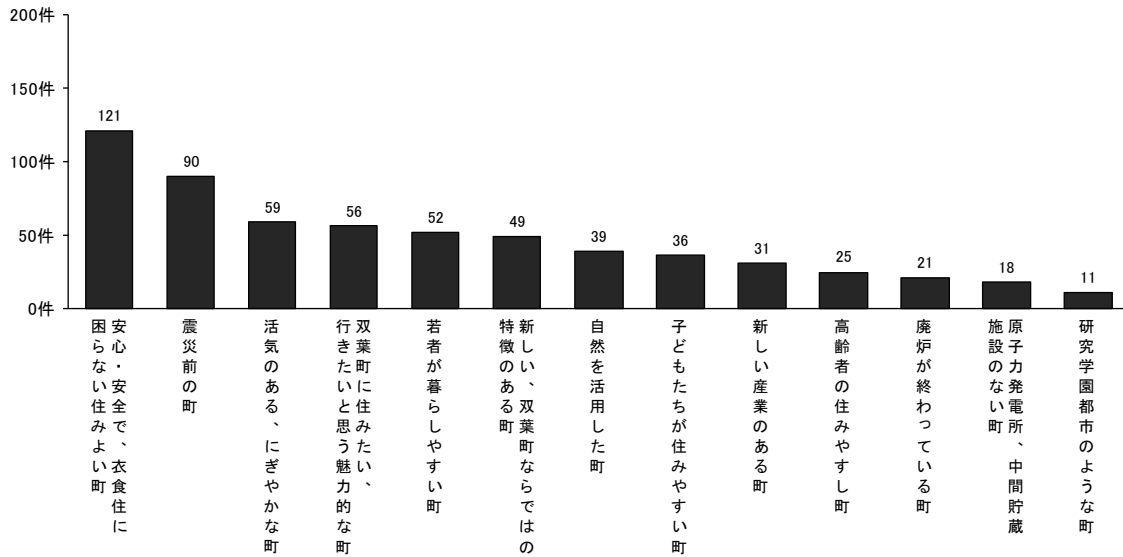
【医療費免除について】

- 甲状腺に問題があり年に1回検査すべきと言われましたが、近くの病院がリストになく有料で受診しています。リスト外での診察代を無料にすることはできないでしょうか？（10～20代）
- 震災後に病院に通院することが多くなりました。一部負担金免除の継続も希望します。（30代）
- 医療費免除の経緯。（40代）
- 医療の免除がいつまで続けてもらえるのか？とても不安です。（50代）
- 結婚した娘。就職した娘。医療費の負担、免除から省かれてしまった。それは、しょうがないのですね。（50代）
- 避難生活によるストレスで体調を崩したりと、病院通いが増えました。今、医療費の一部負担金が免除になっていますが、それがずっと続くようにしてほしいと思います。（60代）
- 医療費の無料継続を、国、福島県、双葉町へ要望する。（70代以上）

3-11-3 将来の双葉町の姿

問27 将来（5年後、10年後、30年後…）の双葉町の姿を想像した際に、どのような双葉町になって欲しいと思うか教えてください。

<図表3-11-3 将来の双葉町の姿>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【安心・安全で、衣食住に困らない住みよい町】

- ・町内で不自由なく過ごせるようになってほしい。以前のように、安心して住民同士が触れ合えるといい。何もなかったけど、その中で自然に囲まれて幼少期を過ごせたのが財産となっています。大型スーパーなど便利（都会）になるのではなく、元の双葉町の良さも残してほしい。（10～20代）
- ・今は戻らないと決めているが、いつか「やっぱり戻ってこようかな」と思えるような（例えばスーパーやコンビニが以前より多いなど）双葉町になって欲しいと思います。（10～20代）
- ・今までの双葉町より商店街やスーパーなどがもっと多くなれば、町全体が活気づいてくれると思う。医療なども、最先端の技術を取り入れてもらえると幸いです。（30代）
- ・住みたい人が、穏やかに、安全に安心して暮らすことができればよいと思う。昔のような田舎で、時間に追われずゆっくり過ごせる環境でよいと思う。（40代）
- ・子供から高齢の方まで、安心・安全に暮らしていける町になってほしい。また、住みたいと思わせる町として、教育や医療体制を整える。（40代）
- ・住み良い町になってほしい。「双葉町」町名は絶対残してほしい！（50代）
- ・帰還困難区域が解除され、町内全域への行き来が自由にできるようになってほしい。（50代）
- ・震災前の様に、生活に必要な商店が元に戻り、医療環境もあり、少しでも皆と関わりながら仕事ができ、皆で力を合わせ生活できる様な町を望みます。（60代）
- ・将来双葉町は、小さな町けど健康寿命日本一の町になってほしい。健康を保つため、住民が安全に散歩できるコースを作ってほしい。外で運動できる広場を作ってほしい。雨の日も運動できる体育館を作ってほしい。老人向けに考えた、ゴムのポールとバトミントンのラケットで球技をすとか、みんなで作詞して、みんなで作曲をして歌を作り世に出すとか、若い人に負けない夢が生まれる双葉町になってほしい。（70代以上）
- ・25才（震災時15才）、小学3年生、小学1年の孫3人が、安心して行ける双葉町になってほしい。（70代以上）

【震災前の町】

- ・昔のようであってほしい。震災復興観光地となるのは嫌だ。平凡で静かな町であること。清戸迫横穴しか観光資源がない、小さな田舎に戻ってほしい。（10～20代）
- ・震災前と同じ姿になってほしい。人が安心して楽しく住める町に戻ってほしい。（30代）
- ・何もなかったのが良かったので、震災前のようなのんびりとした町であってほしいなと思います。若い世代が増えて、子どもの明るさで賑わっているのもいいなと思います。（30代）
- ・震災前と同じく、親類、友達が近くにいる町。（40代）
- ・静かな元の町に戻ってほしい。（50代）
- ・水田や山などの景色が元に戻ってほしい。除染して、双葉町で盆踊りとダルマ市を再開してほしい。避難して10年目で、双葉町の人たちが、身心共に疲れているように感じます。誰でも帰りやすい、元の双葉に近い町になってほしい。（50代）
- ・震災前のように自宅で生活はできないかもしれないが、生まれ育った地域に自由に往来ができ、町で開催される年中行事や伝統芸能に関わる行事などに参加して、震災前同様に町民との交流ができれば、生活拠点は他の地域にあっても、心はいつも双葉町にあることが実感できると思う。皆が集える文化交流施設を作って欲しい。（60代）
- ・今までのように近隣同志でお茶飲みができ、笑顔で話せるようになってほしい。（60代）
- ・長年住み慣れた双葉町に戻ることは不可能でしょうか？かつての面影を残すような建物は、保全してほしいと思います。学校、図書館、資料館等々、取り壊されてしまうことのないように望みます。記憶がたどれるような場所は、残していただきたい！（70代以上）
- ・本当であれば、昔の様に静かで穏やかな双葉町になって欲しいと思いますが、実際には双葉町と言う名の、別の町になる様に思います。スマートシティの様になっていくのが自然なのかなと思います。（70代以上）

【活気のある、にぎやかな町】

- 自然豊かで、イベント等を開催し、少しでも活気のある町に戻ってほしい。帰還を考えていない人でも、遊びに行きたい故郷だなと思える町になって欲しいです。（10～20代）
- 震災前のような、駅前でダルマ市が行われるような活気が戻ってほしい。（10～20代）
- 震災前の人口の半数程が帰還し（できれば全員帰還が望ましいが）、活気あふれる町となっていること。他の町には無いような、新たなパッケージの導入（現時点では考えつきません）、他の市町村で普通にできる事ができる町として復活すること。例えば買い物、学校、病院、職場、住居、インターネット、5G回線等です。（30代）
- 少しずつ住民が戻り、活気も戻り、人と人とのつながりが温かく、穏やかに生活を送っているといいなと思います。（40代）
- どのような町になるのか、期待したいと思います。町全体が、活気あふれる町になって欲しいです。今現在、帰還困難区域ですが、そのような地区にも活気があって欲しいです。（50代）
- 持ち家を除染していただき残しましたが、解体した方がよかったかも…と少し後悔していました。しかし、来年から帰還できるということで希望もでき、老後の楽しみができた気がします。10年前には想像もできなかった姿になりつつあるので、さらに5年、10年後は、公共の施設（小さくてよいので）が整い、店などもでき、若者が増え、活気ある町になってほしいと思います。（50代）
- 10年後30年後は、私達はどうなるかわからないけれど、震災前のような行事（町民盆踊り、町民大会、ダルマ市）で、町民同士が触れ合えればいいと思う。（60代）
- 全ての方が双葉町で暮らして、笑顔があって、思いやりのある人間関係が築けて、喜びを分かち合い、楽しい日々を過せる町になっていることを希望する。（60代）
- 私達の希望は、若い人達が、仕事や子育てを双葉町で楽しく、にぎやかにして欲しいです。私達は高齢で無理かもしれませんが、子どもや孫達が住みたいなと思うような町であればいいなと思います。震災前の隣近所とのコミュニケーション、懐かしく以前に戻りたい。（70代以上）

IV 參考資料

4-1 使用調査票

令和3年度 双葉町住民意向調査

町民の皆様におかれましては、長期にわたる避難生活において、大変なご苦勞をおかけしております。

本調査は、双葉町の復興に係る施策の進捗や今後の見通しについて、皆様に情報提供させていただき、皆様の今後の生活設計や双葉町との関わり方についてのお考えを把握するとともに、ご意見やご要望などをお伺いし、国や県、町における令和4年春頃を目標としている特定復興再生拠点の避難指示解除やその後のまちづくりに向けた施策立案などに活かすことを目的に実施する調査となっております。

双葉町は、復興拠点の避難指示解除を経て、復興や新たなまちづくりを進めていく所存です。本調査で皆様からいただいた貴重なご意見やご要望は、そのような新たなまちづくり推進にあたり、有効的に活かしてまいりたいと考えておりますので、多くの皆様のご協力をお願いいたします。

【調査実施主体】 双葉町・復興庁・福島県

【問い合わせ先】

復興庁
「住民意向調査」
問い合わせセンター

フリーダイヤル 0120-912-958
[設置期間：8月24日（火）～9月6日（月）10時～17時]
土・日・祝を除く

福島県

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号
避難地域復興局 生活拠点課
電話 024-521-8306

双葉町

〒974-8212 福島県いわき市東田町二丁目19番地の4
いわき事務所 復興推進課
電話 0246-84-5203（直通）

記入上の注意

● 調査をお願いする方

- ・震災発生時、双葉町に住民登録をしていた世帯（避難後の転出者を含む）が対象です。
- ・**世帯単位でご回答頂きますようお願いいたします。**
現在、世帯が何箇所かに分かれて避難されている方には、**それぞれの場所に調査票を送付しておりますので、本調査票が送付されたお住まい単位でのご回答をお願いいたします。**

● ご回答方法

- ・ご回答は、令和3年8月1日時点ではまる番号を選び、その番号に○をつけてください。
- ・「その他」に○をされた場合は、()内に具体的な内容もご記入ください。
- ・の中に具体的な内容の記入をお願いしている間には、地名、数などできる限り具体的にご記入ください。

● 個人情報について

- ・調査票に記載いただいた個人情報は、双葉町、福島県および復興庁において適切に管理するとともに、各種施策の検討目的以外には使用いたしません。
- ・結果の公表の際に、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

● ご提出方法

ご記入済みの調査票は、**9月6日(月)まで**に、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください（切手は不要です）。

皆様のご意向やご意見に丁寧に対応することができるよう、敢えて記名式とさせていただきます。
大変お手数ではありますが、氏名、ご連絡先のご記入をお願いします。

あなたの氏名を教えてください。

あなたの連絡先(電話番号)を
教えてください。

ご記入いただくあなたご自身のことについて教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 1 現在のあなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1. ~19歳 | 6. 40~44歳 | 11. 65~69歳 |
| 2. 20~24歳 | 7. 45~49歳 | 12. 70~74歳 |
| 3. 25~29歳 | 8. 50~54歳 | 13. 75~79歳 |
| 4. 30~34歳 | 9. 55~59歳 | 14. 80歳以上 |
| 5. 35~39歳 | 10. 60~64歳 | |

東日本大震災発生時のあなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 2-1 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|-------|---------|--|
| 1. 新山 | 8. 長塚一 | 15. 中田 |
| 2. 下条 | 9. 長塚二 | 16. 両竹 |
| 3. 郡山 | 10. 下長塚 | 17. 浜野 |
| 4. 細谷 | 11. 羽鳥 | 18. その他 |
| 5. 三字 | 12. 寺松 | } ⇒ <u>問3へ</u>
〔わからない場合は、住所を記載してください〕 |
| 6. 山田 | 13. 渋川 | |
| 7. 石熊 | 14. 鴻草 | |

【問 2-1 で「16. 両竹」「17. 浜野」以外を回答した方に伺います。】

問 2-2 震災発生当時のお住まいが、現在、以下の各区域のどこに該当するかを教えてください。(○は1つ)

1. 特定復興再生拠点区域
2. 特定復興再生拠点区域外の帰還困難区域(中間貯蔵施設予定地)
3. 特定復興再生拠点区域外の帰還困難区域(中間貯蔵施設予定地以外)
4. わからない

【すべての方にうかがいます。】

問 3 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 持ち家(一戸建) | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 持ち家(集合住宅) | 8. 親戚・知人宅 |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建) | 9. その他 |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅) | 〔具体的に:〕 |
| 5. 公営住宅 | |
| 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) | |

現在のあなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 4 あなたが現在避難されている自治体を教えてください。(○は1つ)

<p>【 浜 通 り 】</p> <p>1. いわき市 2. 相馬市 3. 南相馬市 4. 広野町 5. 楡葉町 6. 富岡町 7. 川内村 8. 浪江町 9. 葛尾村 10. 大熊町 11. 新地町 12. 飯舘村</p>	<p>【 中 通 り 】</p> <p>13. 福島市 14. 郡山市 15. 白河市 16. 須賀川市 17. 二本松市 18. 川俣町 19. 田村市 20. 伊達市 21. 本宮市 22. 鏡石町 23. 西郷村 24. 矢吹町 25. 棚倉町 26. 三春町</p>	<p>【 会 津 】</p> <p>27. 会津若松市 28. 喜多方市 29. 会津坂下町</p> <p>【 そ の 他 】</p> <p>30. 1～29 以外の福島県内市町村 →具体的にご記入ください</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 25px; margin: 5px auto;"></div> (市・町・村)
<p>【 福島県外 】</p> <p>31. 福島県外 →具体的にご記入ください</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 25px;"></div> (都・道・府・県) <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 25px;"></div> (市・区・町・村)</div>		

【すべての方にうかがいます。】

問 5 震災発生当時と現在の世帯構成についてうかがいます。

(1)「震災発生当時」に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、「当時の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア)未就学児(小学校入学前)	人	エ)15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	人
イ)小学生	人	オ)18歳以上65歳未満	人
ウ)中学生	人	カ)65歳以上の方	人

(2)「現在」、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア)未就学児(小学校入学前)	人	エ)15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	人
イ)小学生	人	オ)18歳以上65歳未満	人
ウ)中学生	人	カ)65歳以上の方	人

【すべての方にうかがいます。】

問 6 現在のあなたの職業を教えてください。

仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

(1) 職業(就業形態)(○は1つ)

1. 自営業・会社経営者(継続中もしくは再開済)	8. 学生	} ⇒ <u>問7へ</u>
2. 自営業・会社経営者(休業中)	9. 無職(職を探していない)	
3. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務)	10. 無職(職を探している)	} ⇒ <u>問7へ</u>
4. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務)	11. その他	
5. 団体職員	【具体的に:	
6. 公務員		
7. パート・アルバイト	】	

【仕事に就いている方(問6(1)で1~7、11のいずれかに回答した方)にうかがいます。】

(2) 業種(○は1つ)

1. 農・林・漁・畜産業	7. 金融・保険業
2. 建設業	8. 医療・福祉
3. 製造業	9. 教育
4. 電気・ガス・水道業	10. 公務
5. 運輸業	11. その他
6. 卸・小売・飲食、サービス業	【具体的に:
	】

【すべての方にうかがいます。】

問 7 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(○は1つ)

1. 応急仮設住宅(プレハブ型。無償)	7. 家族のどなたかのお住まい・実家
2. 応急仮設住宅(民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償)	8. 親戚・知人宅
3. 福島県営などの復興公営住宅(2は除く。有償)	9. 持ち家(ご本人またはご家族所有)
4. その他の公営住宅(3は除く。有償)	10. その他
5. 民間賃貸住宅(有償)	【具体的に:
6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など)	】

【すべての方にうかがいます。】

問 8-1 あなたは町からの情報を主にどのような方法で入手していますか。(○は3つまで)

1. 広報ふたば	6. ニュースふたば(動画)
2. つなげようつながろう「ふたばのわ」	7. メールマガジン
3. 広報ふたばダイジェスト(動画)	8. マスメディア(テレビ、ラジオ、新聞など)
4. ICTきずな支援システム(町配付タブレット端末)	9. 行政区の総会、自治会や婦人会などの交流会等
5. 町公式ホームページ(パソコンなど)	10. その他
	【具体的に:
	】

IV 参考資料

【すべての方にうかがいます。】

問 8-2 あなたは町が配布している「ICT きずな支援システム(タブレット端末)」の他にどのような情報端末機器をお持ちですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. スマートフォン | 5. 持っていない |
| 2. 携帯電話(スマートフォン以外) | 6. その他 { 具体的に: |
| 3. パソコン | } |
| 4. タブレット端末 | |

【すべての方にうかがいます。】

問 9 あなたが特に知りたい、関心がある情報は何ですか。(〇は3つまで)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 住宅・暮らしの情報 | 7. 原子力損害賠償関連情報 |
| 2. 健康・医療・福祉関連情報 | 8. 原子力発電所廃炉関連情報 |
| 3. 子育て・教育関連情報 | 9. 中間貯蔵施設関連情報 |
| 4. 雇用・就労・就農関連情報 | 10. イベント・交流会に関する情報 |
| 5. 復興まちづくり関連情報 | 11. その他 { 具体的に: |
| 6. 放射線量・除染情報 | } |

将来に関するご意向についてお聞かせください。

町の現状と将来について

双葉町は、帰還困難区域を含む町内全域に関し、帰還し生活を営むことができる環境を目指して各種施策に取り組んでおります。

昨年3月4日に町内で初めての避難指示解除を実現し、3月7日には常磐道常磐双葉ICの開通、3月14日にはJR常磐線が全線運転再開するなど、町内へのアクセスも改善されたところです。

さらに、浜野地区においては、なりわいの再生を図るべく「中野地区復興産業拠点」を整備し、事業者の皆さまの事業再開や新たな企業の誘致を進めているほか、両竹地区、上羽鳥地区、下羽鳥・長塚地区、三字地区、下長塚地区、中田地区においては、関係者の多大なご尽力により農地の保全管理活動が進められ、営農再開に向けた一歩を踏み出しています。

また、浜野・両竹地区は、震災の記憶をつなぎ復興を祈念していく発信拠点でもあり、県により東日本大震災・原子力災害伝承館や復興祈念公園の整備が進められ、昨年9月20日に東日本大震災・原子力災害伝承館が開館しました。そして、この拠点の中核的施設として、飲食店や事業所等が入居する双葉町産業交流センターを、昨年10月1日に開所したところです。

一方、JR双葉駅を中心とする特定復興再生拠点区域の約555haについては、令和4年春頃の避難指示解除を目指しています。JR双葉駅の西側においては、皆様のご協力をいただきながら新たなまちづくりを進めており（新市街地ゾーン）、「なりわい居住」をテーマに公営住宅を核とした、健康で楽しいまちづくりを目指し整備を進めています。

【すべての方にうかがいます。】

問 10 今後、特定復興再生拠点区域の避難指示が解除された場合の双葉町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。(〇は1つ)

1. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む) ⇒ [問 11-1\(6 ページ\)へ](#)
2. まだ判断がつかない ⇒ [問 12-1\(7 ページ\)へ](#)
3. 戻らないと決めている ⇒ [問 13-1\(9 ページ\)へ](#)

問 11-1 からは、
問 10 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます

【問 10 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

問 11-1 特定再生復興拠点区域内の避難指示が解除されたときから、何年以内に戻りたいと考えていますか。(○は1つ)

- | | |
|--|--|
| 1. 1年以内
2. 3年以内
3. 5年以内
4. しばらく様子を見たい | 5. 特定復興再生拠点区域の外にある自宅に帰れるまで待ちたい
6. その他 { 具体的に: |
|--|--|

【問 10 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

問 11-2 戻る場合に家族の全員なのか、又は一部なのかについて教えてください。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. 家族全員での帰還を考えている | ⇒ <u>問 12-1(7 ページ)へ</u> |
| 2. 家族一部での帰還を考えている | ⇒ <u>問 11-3 へ</u> |
| 3. 現在検討しているところ | } ⇒ <u>問 12-1(7 ページ)へ</u> |
| 4. まだわからない | |

【問 11-2 で「2. 家族一部での帰還を考えている」と回答した方にうかがいます。】

問 11-3 帰還した場合にはどのような家族構成になると考えていますか。あなた自身を含めて、「現在の」年齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 18歳未満	人	ウ) 65歳以上の方	人
イ) 18歳以上65歳未満	人		

問 12-1 からは、問 10 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」
「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。

【問 10 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 12-1 双葉町へ帰還することを判断するためにどのような支援や情報が必要と考えますか。重視したいものから順に選択肢番号欄に3つまで選び、具体的な内容欄に必要と考える支援や情報内容をご記入ください。

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 除染・解体に関する情報 2. 住宅の清掃費補助などの支援 3. JR双葉駅西側に整備する新たな公営住宅に関する情報 4. 商業施設の再開や新設 5. 医療・介護福祉施設の再開や新設 6. 学校や教育施設の再開や新設 7. 公共交通機関の充実 8. なりわいの確保・就業支援 9. 携帯電話やインターネットなど通信環境の改善 | <ol style="list-style-type: none"> 10. 上下水道等ライフラインの整備状況に関する情報 11. 地域のきずな維持やコミュニティの支援 12. 原子力発電所の廃炉に関する情報 13. 放射線による健康への影響に関する情報 14. 中間貯蔵施設に関する情報 15. 避難指示解除となる時期の目安に関する情報 16. 原子力損害賠償に関する情報 17. どの程度の住民が戻るのかどうかの情報 18. 双葉町の今後の姿 19. その他 20. 特にない |
|--|---|

優先順位	選択肢番号	具体的な内容
(例) 1番目	(例) 5	(例) ○○病院の再開
1番目		
2番目		
3番目		

【問 10 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 12-2 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。(○は1つ)

1. 元の持ち家(自宅)(建て替える場合を含む)
2. 自宅とは別の場所に新たに一戸建の持ち家を建てたい
3. 自宅とは別の場所に集合住宅を購入したい
4. 民間賃貸住宅(一戸建)
5. 民間賃貸住宅(集合住宅)
6. 双葉町がJR双葉駅西側に整備する新たな公営住宅
7. 給与住宅(社宅など)
8. 家族のどなたかのお住まい・実家
9. 親戚・知人宅
10. その他(具体的に:)
11. 現時点では判断できない

IV 参考資料

【問 10 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 12-3 現在、JR 双葉駅西側において、令和4年春頃の解除目標に向けた新たなまちづくりを進めている（新市街地ゾーン（JR双葉駅西側地区））ほか、従来の中心市街地も「まちなか再生ゾーン（JR双葉駅東側地区）」と位置づけ、賑わいの再生を図っていくことを目標としています。「新市街地ゾーン（JR双葉駅西側地区）」や「まちなか再生ゾーン（JR双葉駅東側地区）」への居住に関する意向について、もっとも近いものはどれですか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| 1. 新市街地ゾーン（JR双葉駅西側地区）に居住したい | ⇒ <u>問 12-4</u> へ |
| 2. まちなか再生ゾーン（JR双葉駅東側地区）に居住したい | } ⇒ <u>問 12-5</u> へ |
| 3. 「1」「2」以外に居住したい | |
| 4. 判断ができない | |

【問 12-3 で「1. 新市街地ゾーン（JR双葉駅西側地区）に居住したい」と回答した方にうかがいます。】

問 12-4 町により、JR 双葉駅の西側に住宅地が整備された場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 新たな公営住宅（一戸建） | 4. その他 { 具体的に: |
| 2. 新たな公営住宅（集合住宅） | } |
| 3. 町から宅地の分譲を受け、自宅を建築したい | |

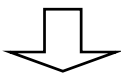
【問 10 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 12-5 「新市街地ゾーン（JR双葉駅西側地区）」及び「まちなか再生ゾーン（JR双葉駅東側地区）」に、特に必要と考える、生活関連施設を教えてください。（○は3つまで）

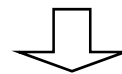
- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. コミュニティ施設（集会所・公民館・公園等） | 7. 教育施設（小中学校、高校、大学など） |
| 2. 商業施設・コンビニエンスストアなど | 8. 金融機関 |
| 3. 食堂・飲食店など | 9. 避難している家族が一時宿泊できる施設 |
| 4. 医療施設（病院、診療所など） | 10. その他 { 具体的に: |
| 5. 保健施設（ヘルスケアふたばのような施設） | } |
| 6. 介護施設（デイケアや障がい者施設など） | |

問 12-6 「新市街地ゾーン（JR双葉駅西側地区）」及び「まちなか再生ゾーン（JR双葉駅東側地区）」に、特に必要と考える、生活関連サービスを教えてください。（○は3つまで）

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 安否確認・見守りサービス | 6. 公共交通サービス |
| 2. 健康相談・生活相談サービス（無料相談など） | 7. 教育関連サービス |
| 3. 健康増進・介護予防サービス（体操教室など） | 8. その他 { 具体的に: |
| 4. 配食サービス | } |
| 5. 移動販売サービス | |



問 10 で「1. 戻りたいと考えている
（将来的な希望も含む）」を選んだ方は
問 15-1（11 ページ） へ



問 10 で「2. まだ判断がつかない」を
選んだ方は問 13-1（9 ページ） へ

問 13-1 からは、問 10 で「2. まだ判断がつかない」
「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。

【問 10 で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 13-1 双葉町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|-----------|----------|
| 1. そう思う | 2. そう思わない | 3. わからない |
|---------|-----------|----------|

【問 10 で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

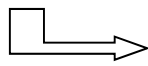
問 13-2 双葉町をどのくらいの頻度で訪れたいと思いますか。(○は1つ)

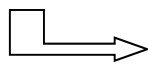
- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 1か月に1回程度 | 5. 2～3年に1回程度 |
| 2. 2～3か月に1回程度 | 6. 訪れるつもりはない |
| 3. 半年に1回程度 | 7. その他 { 具体的に: |
| 4. 年に1回程度 | } |

【問 10 で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 13-3 どのような取り組みや行事、イベントなどがあれば、双葉町を訪れたいと思いますか。
(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1. 有志によるサークル活動 | 7. セミナーへの参加や資格の取得などの
学習活動 |
| 2. 趣味・料理・ものづくり教室などの文化活動 | 8. 仕事や労働などの職業活動 |
| 3. 運動・スポーツなどの健康づくり活動 | 9. 農地や環境の保全活動 |
| 4. お祭り・イベントなどの地域行事 | 10. その他 { 具体的に: |
| 5. 世代間交流・ボランティア活動 | } |
| 6. 防災・防犯などの地域活動 | |

 問 10 で「2.まだ判断がつかない」を選んだ方は問 15-1(11 ページ)へ

 問 10 で「3.戻らないと決めている」を選んだ方は問 14-1(10 ページ)へ

問 14-1 からは、問 10 で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。

【問 10 で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 14-1 現時点で戻らないと決めている理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

【帰還の前提・健康に関わるもの】

1. 放射線量が低下せず不安があるから
2. 原子力発電所の安全性に不安があるから
3. 中間貯蔵施設の安全性に不安があるから
4. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

【双葉町内の復旧状況に関わるもの】

5. 双葉町に戻っても仕事がなさそうだから
6. 双葉町での事業の再開が難しいから
7. 営農などができそうにないから
8. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
9. 鳥獣による被害があるから
10. 双葉町外への移動交通が不便だから
11. 道路、バス等の交通インフラに不安があるから
12. 医療環境に不安があるから
13. 介護・福祉サービスに不安があるから
14. 教育環境に不安があるから
15. 生活に必要な商店などが元に戻りそうにないから

【今後の生活に関わるもの】

16. 避難先で自宅を購入または建築し、将来も継続的に居住する予定だから
17. 避難先の住居(持ち家以外)を生活拠点とし、将来も継続的に居住する予定だから
18. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
19. 他の住民も戻りそうにないから
20. 今後も津波被害を受ける可能性があるから
21. 特定復興再生拠点区域外の避難指示解除が見通せないから
22. 避難先で仕事を見つけているから
23. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
24. 避難先の方が、生活利便性が高いから
25. その他

（具体的に：

【問 10 で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 14-2 帰還しない場合に、今後の生活においてどのような支援を求めますか。(○はいくつでも)

1. 継続的な健康管理の支援
2. 雇用確保の支援
3. 借り上げ住宅の継続的利用
4. 役場からの継続的な情報提供

5. 一時帰宅支援

6. その他

（具体的に：

双葉町内での事業の実施についてお聞かせください。

現在、双葉町では、皆様のなりわいの再生を後押しするべく「中野地区復興産業拠点」の整備を進めています。また、両竹地区、上羽鳥地区、下羽鳥・長塚地区、三字地区、下長塚地区、中田地区においては、関係者の多大なご尽力により、農地の保全管理活動が進められ、営農再開に向けた一歩を踏み出しています。

また、「新市街地ゾーン」において進めている新たなまちづくりにおいては、「なりわい居住」を主要なテーマとし、居住される方が新たなチャレンジに取り組みやすい環境づくりを目指しています。

問 15-1 からはすべての方にかがいます。

問 15-1 あなたは震災発生当時、双葉町内で事業(問 15-2 で挙げられているような事業など)を営んでいましたか。(○は1つ)

1. 営んでいた ⇒ [問 15-2 へ](#) 2. 営んでいない ⇒ [問 15-5\(12 ページ\)へ](#)

【問 15-1 で「1. 営んでいた」と回答した方にかがいます。】

問 15-2 双葉町内で営んでいた事業の業種を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 農・林・漁・畜産業 | 6. 金融・保険業 |
| 2. 建設業 | 7. 医療・福祉 |
| 3. 製造業 | 8. 教育 |
| 4. 運輸業 | 9. その他 { 具体的に: |
| 5. 卸・小売・飲食、サービス業 | } |

【問 15-1 で「1. 営んでいた」と回答した方にかがいます。】

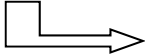
問 15-3 今後、特定再生復興拠点区域の避難指示が解除された場合の双葉町内での事業再開や、新事業へのチャレンジについて、どのようにお考えですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する | ⇒ 問 15-4 へ |
| 2. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望しない | } ⇒ 問 16-1(13 ページ)へ |
| 3. まだ判断がつかない | |

【問 15-3 で「1. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する」と回答した方にかがいます。】

問 15-4 双葉町内で事業を再開する希望時期はいつですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 特定復興再生拠点区域の避難指示解除前 |) |
| 2. 特定復興再生拠点区域の避難指示解除と同時 | |
| 3. 特定復興再生拠点区域の避難指示解除後1年以内 | |
| 4. 特定復興再生拠点区域の避難指示解除後3年以内 | |
| 5. まだ決めていない | |
| 6. その他(具体的に: | |

 [問 15-6\(13 ページ\)へ](#)

双葉町内での就業意向についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 16-1 中野地区復興産業拠点において、地元を含む多くの企業の立地が決定し、すでに操業している企業もあります。また、双葉町産業交流センターには貸事務所もあり、多くの企業が入居しています。このように、双葉町内で働く環境が整ってきておりますが、今後、双葉町内で働くことに興味はありますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|---|-------------------------|
| 1. 興味がある | ⇒ | <u>問 16-2 へ</u> |
| 2. 興味がない | } | ⇒ <u>問 17(14 ページ) へ</u> |
| 3. わからない | | |

【問 16-1 で「1. 興味がある」と回答した方にうかがいます。】

問 16-2 希望する業種は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-----------|
| 1. 農・林・漁・畜産業 | 7. 金融・保険業 |
| 2. 建設業 | 8. 医療・福祉 |
| 3. 製造業 | 9. 教育 |
| 4. 電気・ガス・水道業 | 10. 公務 |
| 5. 運輸業 | 11. その他 |
| 6. 卸・小売・飲食、サービス業 | 【具体的に: |

【問 16-1 で「1. 興味がある」と回答した方にうかがいます。】

問 16-3 希望する雇用形態は何ですか。(○は1つ)

- | | | | |
|--------|---------|----------|------------|
| 1. 正社員 | 2. 契約社員 | 3. アルバイト | 4. パートタイマー |
|--------|---------|----------|------------|

不動産（土地・家屋）の取り扱い意向についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 17 町内に保有している家屋の利用意向についてうかがいます。

現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（○は1つ）

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 解体して建替えたい | 7. 世帯で保有している家屋はない |
| 2. 解体して更地にしたい | 8. 保有している家屋を既に解体した |
| 3. 建物除染後、修繕して自ら使いたい | 9. 保有している家屋の解体申請中 |
| 4. 建物除染後、親戚・親族・友人に使ってもらいたい | 10. 特定復興再生拠点区域外の帰還困難区域のため決められない |
| 5. 建物除染後、行政や事業者に使ってもらいたい(売却・賃貸を含む) | 11. その他 [具体的に:] |
| 6. 被災状況を確認してから決めたい | |

※特定復興再生拠点区域においては、既定の書類を揃えてお申し込みいただければ環境省が家屋の解体を順次実施しています。

解体をご希望の方は、環境省が設置している「被災家屋等の解体申請受付窓口(双葉町役場いわき事務所内または下記電話番号)」へご相談ください。

電話番号:0120-773-275

【すべての方にうかがいます。】

問 18 町内に保有している宅地の利用意向についてうかがいます。

現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（○は1つ）

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| 1. 宅地除染後、自ら使いたい | 5. 既に土地を町などに売った |
| 2. 宅地除染後、親戚・親族・友人に使ってもらいたい | 6. 世帯で保有している宅地はない |
| 3. 宅地除染後、行政や事業者に使ってもらいたい | 7. 特定復興再生拠点区域外の帰還困難区域のため決められない |
| 4. 宅地除染実施後に判断したい | 8. その他 [具体的に:] |

【すべての方にうかがいます。】

問 19 町内に保有している宅地・家屋の利用意向についてうかがいます。

町では現在、双葉町での生活再建に向けて空き地・空き家を有効活用するため、不動産を貸したい方・売りたい方に物件情報を登録いただき、空き地・空き家の情報を紹介する「空き地・空き家バンク」の運用を検討しています。

今後、空き地・空き家バンクが出来たら、町内に保有している宅地・家屋の登録を希望しますか。（○は1つ）

- | | |
|----------|------------------|
| 1. 希望する | 4. その他 [具体的に:] |
| 2. 希望しない | |
| 3. わからない | |

【すべての方にかがいます。】

問 20-1 双葉町が実施している、ご自宅などの被害状況の調査はお済ですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 済んでいる | 3. 調査物件を所有していない |
| 2. 済んでいない ⇒ <u>問 20-2</u> へ | 4. わからない |

 問 20-1 で「2」以外を選んだ方は問 21-1 へ

【問 20-1 で「2. 済んでいない」と回答した方にかがいます。】

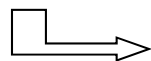
問 20-2 ご自宅などの被害状況の調査がお済みでない理由を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 現在申請中もしくは申請準備中 | 5. 家屋の損耗が少なく、調査の必要がない |
| 2. 申請の方法がわからない | 6. わからない |
| 3. 建物の所有者等と連絡がつかない等の理由で申請できない | 7. その他 { 具体的に: |
| 4. 建物の所有者が調査に同意しない | } |

【すべての方にかがいます。】

問 21-1 所有している農地を今後どのように利用されますか。現時点でのお考えをお聞かせください。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1. 保全管理したい ⇒ <u>問 21-2</u> へ | 5. 世帯で保有している農地はない |
| 2. 営農を再開したい | 6. その他 { 具体的に: |
| 3. 売却または賃貸したい | } |
| 4. なにもしない | |

 問 21-1 で「1」以外を選んだ方は問 22-1 (16 ページ) へ

【問 21-1 で「1. 保全管理したい」と回答した方にかがいます。】

問 21-2 町では、両竹地区、上羽鳥地区、下羽鳥・長塚地区、三字地区、下長塚地区、中田地区において農地保全管理組合を立ち上げ、除染後の農地の保全を行っています。今後、農地除染が進む地区においても組合等組織により保全管理を行う予定です。このような組合への加入について、現時点でのお考えをお聞かせください。(○は1つ)

- | |
|---------------------------|
| 1. すでに組合に加入している |
| 2. 組合に加入して、保全管理に参加したい |
| 3. 組合に加入しないが、保全管理は組合に任せたい |
| 4. 組合に加入しないが、自ら保全管理したい |
| 5. わからない |

町の交通アクセスの向上及び立入規制の緩和に伴う状況の変化についてお聞かせください。

双葉町では、昨年3月に一部区域で避難指示が解除されました。また、常磐自動車道の常磐双葉インターチェンジの供用開始、JR常磐線の全線開通およびJR双葉駅の再開など、双葉町内へのアクセスが格段に向上しました。さらに、JR双葉駅周辺を中心とする特定復興再生拠点区域内については、バリケードを撤去し、事前の立ち入り手続きが不要となりました。このことに伴う皆さまの状況の変化についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 22-1 昨年3月以降に双葉町内に訪れたことはありますか。(○は1つ)

1. 訪れたことがある ⇒ [問 22-2](#) へ 2. 訪れたことがない ⇒ [問 22-5](#) へ

【問 22-1 で「1. 訪れたことがある」と回答した方にうかがいます。】

問 22-2 1年間で双葉町を訪れる頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

1. 1回 2. 2回以上12回未満 3. 12回以上

【問 22-1 で「1. 訪れたことがある」と回答した方にうかがいます。】

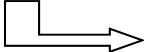
問 22-3 双葉町を訪れる主な目的は何ですか。(○は1つ)

1. 家屋等の維持管理 4. その他 (具体的に: _____)
 2. 墓参り
 3. 農地保全管理

【問 22-1 で「1. 訪れたことがある」と回答した方にうかがいます。】

問 22-4 実際に双葉町内を訪れて、必要だと思ったものはありますか。また、ある場合、それはどのようなもので、必要と思った理由は何ですか。(○は1つ)

1. ある (<具体的に書きください> _____)
 2. ない

 [問 23-1 \(17 ページ\) へ](#)

【問 22-1 で「2. 訪れたことがない」と回答した方にうかがいます。】

問 22-5 双葉町町内を訪れたことがない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 訪れたいが時間がなかった
 2. 昨年3月以降に双葉町を訪れる予定がなかった
 3. そもそも双葉町を訪れるつもりがない
 4. 今生活しているところからの交通手段が不便
 5. 放射線による健康への影響等の懸念
 6. 新型コロナウイルス感染拡大による不要不急の外出の自粛
 7. その他(具体的に: _____)

復興公営住宅についてお聞かせください。

【すべての方にかがいます。】

問 24-1 福島県営の復興公営住宅への入居意向について教えてください。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. すでに入居している・入居の申込み中である | 3. 入居を希望しない |
| 2. 今後、入居の申込みをしたい | 4. 判断できない |
| ⇒ <u>問 24-2</u> へ | 【判断できない理由: _____】 |



問 24-1 で「2」以外を選んだ方は問 25(19 ページ)へ

【問 24-1 で「2. 今後、入居の申込みをしたい」と回答した方にかがいます。】

問 24-2 入居を希望する市町村について教えてください。(○は1つ)

- | | |
|----------|-------------------|
| 1. 福島市 | 7. 田村市 |
| 2. 会津若松市 | 8. 南相馬市 |
| 3. 郡山市 | 9. 本宮市 |
| 4. いわき市 | 10. その他 |
| 5. 白河市 | 【希望する市町村名: _____】 |
| 6. 二本松市 | |

※この質問への回答により、入居の申込み等に影響があるものではありません

国や福島県、双葉町へのご意見などについてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 25 今後、町が町内の復興を進めていくにあたり、帰還後に必要なもの、取り組んでほしいことなど、あなたのご意見・ご感想をご自由にお書きください。

【すべての方にうかがいます。】

問 26 避難期間中の生活において困っていることや、改善を求めること等があればお書きください（医療、教育、健康支援、就労、コミュニティなど）。また、その他にも国や福島県、双葉町への要望などをご自由にお書きください。

【すべての方にうかがいます。】

問 27 将来（5年後、10年後、30年後…）の双葉町の姿を想像した際に、どのような双葉町になって欲しいと思うか教えてください。

以上でご回答いただく内容は終わりです。
ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にご記入済み調査票を入れて、
9月6日（月）までに郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。

**双葉町 住民意向調査
報告書**

令和4年3月

復興庁 福島県 双葉町

調査機関:株式会社サーベイリサーチセンター

